感染症発生動向調查事業報告書

平成24年(2012年)



感染症発生動向調査事業は、感染症の発生状況を把握・分析し、情報提供することにより、感染症の発生及びまん延を防止することを目的として行われている事業で、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)」に基づく事前対応型感染症対策として位置づけられています。

東京都健康安全研究センターでは、一類感染症から五類感染症、新型インフルエンザなど、全症例の届出が義務付けられている疾患、定点医療機関からの届出対象となる五類感染症等について、発生状況や病原体の検出状況等を迅速に把握し、解析・評価を行ったうえで都民や医療機関等に情報提供を行っております。

国においては、麻しんに関する特定感染症予防指針を改正し、平成27年度までに麻しんを排除することを目標として掲げています。

都でも、東京都麻しん対策会議で検討を行い、多くの関係者の協力を得ながら麻しん排除に向けて様々な取組を進めております。その結果、麻しん患者数は徐々に減少してきており、平成 24 年の都内の麻しん患者の報告数は 84 人と、前年の 178 人から大幅に減少しました。

一方で、平成24年6月から風しん患者数が急増し、過去最大の流行を記録しました。今後、麻しん対策に加え、風しんについても対策を進めていく必要があるものと考えられます。

本報告書は、東京都感染症予防検討委員会において行われた、平成 24 年の感染症発生情報の評価や、 予防策の検討の結果をまとめたものです。各疾患の動向については、「小児科・内科疾患(インフルエンザ)」と「基幹定点における疾患」は長岡常雄委員長に、「眼科疾患」は井上賢治委員に執筆をお願いし、「一、二、三、四、五類感染症(全数届出)」、「性感染症」及び「病原体情報」につきましては当センターの担当者が執筆いたしました。

末筆になりましたが、感染症発生動向調査事業にご協力いただいた東京都医師会、定点医療機関、 保健所等の関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

関係各位におかれましては、本書を広くご活用いただき、感染症対策の一助としていただくようお 願い申し上げます。

平成 25 年 7 月

東京都健康安全研究センター所長 住友 真佐美

目 次

第1章 東京都感染症発生動向調査事業における患者情報	
東京都感染症発生動向調査事業報告	3
1 発生動向調査の概略	
(1) 調査対象疾病・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
(2) 定点医療機関・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
表 1 東京都感染症発生動向調査事業定点数	4
(3) 運営方法 ·····	4
(4) 情報発信	5
2 本年(2012年)の概況	
(1) 一類、二類、三類、四類、五類感染症(全数把握対象)	5
(2) 五類感染症 (定点把握対象)	7
(3) 疑似症(法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
表 2-1-(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(一、二、三、四、五類全数)・・・・・・	10
表 2-1-(2) 東京都感染症発生動向調査年別患畜報告数(全数動物)	11
表 2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(インフルエンザ定点・小児科定点)・・	12
表 2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(眼科定点)	13
表 2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(基幹定点週報告分)	13
表 2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(基幹定点月報告分)	14
表 2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(性感染症定点)	14
表 2-7 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(疑似症定点)	14
3 各疾患の動向	
(1) 一類、二類、三類、四類、五類感染症(全数把握対象)	15
ア 一類感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
イ 二類感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
ウ 三類感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
エ 四類感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
才 五類感染症 (全数把握対象) ······	34
表 3-1 一、二、三、四、五類(全数把握)感染症週別患者報告数	56
表 3-2 一、二、三、四、五類(全数把握)感染症保健所別患者報告数	59
表 3-3 一、二、三、四、五類(全数把握)感染症年齢階級別患者報告数	62
(2) 小児科・内科疾患	
ア インフルエンザ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	65
イ RSウイルス感染症 ······	66

ウ	咽頭結膜熱 ····································	67
工	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ······	68
オ	感染性胃腸炎	69
力	水痘	70
キ	手足口病	71
ク	伝染性紅斑 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	72
ケ	突発性発しん ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	73
コ	百日咳	74
サ	ヘルパンギーナ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	75
シ		76
ス	不明発しん症	77
セ	川崎病 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	78
(3)	眼科疾患	
ア	急性出血性結膜炎	79
イ	流行性角結膜炎	80
(4)	基幹定点における週報告疾患	
ア	細菌性髄膜炎	81
イ	無菌性髄膜炎	82
ウ	マイコプラズマ肺炎 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	83
工	クラミジア肺炎(オウム病を除く) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	84
才	インフルエンザ入院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	85
(5)	基幹定点における月報告疾患	
ア	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	86
イ	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	87
ウ	薬剤耐性緑膿菌感染症	88
工	薬剤耐性アシネトバクター感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	89
(6)	性感染症(STI)	
ア	性器クラミジア感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	90
イ	性器ヘルペスウイルス感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91
ウ	尖圭コンジローマ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	92
工	淋菌感染症 ·····	93
オ	膣トリコモナス症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	94
力	梅毒様疾患	95
表 4	4-1 週別患者報告数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	96
丰 4	-2 週別完占当たり串考却生粉	98

表 5-1	保健所別患者報告数	100
表 5-2	保健所別定点当たり患者報告数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	102
表6-1	年齢階級別患者報告数(インフルエンザ・小児科) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	104
表6-2	年齢階級別患者報告数(小児科・眼科・基幹)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	105
表7-1	二次医療圈別患者報告数	106
表7-2	二次医療圏別定点当たり患者報告数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	107
表8-1	月別患者報告数(基幹)	108
表8-2	月別定点当たり患者報告数(基幹) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	108
表8-3	月別・性別患者報告数(基幹) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	108
表8-4	年齢階級別患者報告数(基幹) ·····	109
表 9-1	月別患者報告数 (STI) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	109
表 9-2	月別定点当たり患者報告数(STI)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	109
表 9-3	月別・性別患者報告数 (STI) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	110
表 9-4	月別・性別定点当たり患者報告数(STI) ······	110
表 9-5	保健所別、二次医療圈別患者報告数 (STI) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	111
表 9-6	保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数(STI)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	112
表 9-7	年齢階級別患者報告数 (STI) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	113
表 1 0	検査結果別報告数(基幹) ·····	113
表11	疑似症サーベイランス報告数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	114
第2章 東京	(都感染症発生動向調査事業における病原体情報	
1 ウイル	ス検査結果	
(1) 小児	科・基幹病原体定点から搬入された検体の検査結果	
ア臨床	受診断名別にみた検体搬入状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	117
イ 臨床		118
ウニ臨床		119
工 臨床		121
才 臨床	R診断名別にみた血中抗体検査状況 ·····	125
カ 臨床	芸診断名別にみたリケッチア及び関連感染症の検査状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	125
(2) 内科	病原体定点から搬入された検体の検査結果	
ア 201	1年/2012年シーズンのウイルス検出状況(追加分) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	125
	2年/2013年シーズンのウイルス検出状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	126
ウ イン	マフルエンザウイルスの抗原解析 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	126
2 細菌検	查結果	
(1) 二類	感染症の病原体検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	131

(2) 三類感染症の病原体検索・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	131
(3) 四類感染症の病原体検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	131
(4) 五類感染症(全数把握対象)の病原体検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	131
(5) 五類感染症(定点把握対象)の病原体検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	131
3 性感染症(STI)病原体定点から搬入された検体の検査結果	
(1) クラミジア、淋菌遺伝子検査及び細菌分離・同定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(2) ヒトパピローマウイルス(HPV)の遺伝子検査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	136
(3) 単純ヘルペスウイルス (HSV: HSV-1 型及び HSV-2 型) の遺伝子検査 ·····	136
(4) 膣トリコモナス検査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	136
第3章 資料	
1 東京都感染症発生動向調査定点名簿	
2 東京都感染症予防検討委員会委員名簿 ······	
3 感染症発生動向調査事業の流れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	156
4 東京都感染症発生動向調査事業実施要綱 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	157
別表 1 感染症法に基づく感染症の分類	
1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び指定感染症 ・・・・・	164
2 五類感染症 (全数把握) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
3 新型インフルエンザ等感染症 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	166
4 五類感染症 (定点把握) ************************************	166
5 疑似症 ······	166
別表 2 五類感染症(定点把握)の調査単位と報告時期 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	167
別表3 疑似症の調査単位と報告時期 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	167
別記様式一覧表	168
別記様式 1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	169
別記様式 2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	170
別記様式 3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	171
別記様式 4 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	172
別記様式 5 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	173
別記様式 6 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	174
別記様式 7 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	176
別記様式 8 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	177
別記様式 9	178
別記様式 10 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	180

第 1 章

東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

東京都感染症発生動向調査事業報告

(2012年)

(2012年1月2日~2012年12月30日)

2009 年 4 月にメキシコで新たに確認されたインフルエンザ AH1pdm09 亜型の流行状況は、2012 年には大きく変わりました。前年 2011 年に東京都健康安全研究センターで検出されたウイルスの型別では、流行初期の 2~5 週(1 月 10 日~2 月 6 日)で AH1pdm09 亜型が 69%、AH3 亜型(A 香港)24%、B 型 7%であったものが、6~9 週(2 月 7 日~3 月 6 日)には AH1pdm09 亜型 36%、AH3 亜型 52%、B 型 12%、後期の 10~13 週(3 月 7 日~4 月 3 日)では AH1pdm09 亜型 3%、AH3 亜型 51%、B 型 46%となり、AH1pdm09 亜型は流行の後期になるにつれて AH3 亜型や B 型に取って変わられる形となりました。一方、2012 年の 1 週(1 月 2 日~1 月 8 日)より 20 週(5 月 14 日~5 月 20 日)の間に検出されたウイルスは 337 件でしたが、AH3 亜型が 201 件(59.6%)、B 型が 135 件(40.1%)であったのに対し、AH1pdm09 亜型は 1 週(1 月 2 日~1 月 8 日)に検出された 1 件(0.03%)にすぎませんでした。流行の前半は AH3 型優性、後半は B 型優性という従来の流行パターンに戻っています。今後の動向を見守りたいと思います。

2012年の小児科定点からの報告ですと、RS ウイルス感染症の定点当たり報告数がここ 10年で最多となっています。感染性胃腸炎も報告数の変動は少ないのですが、ここ 10年で最多となっています。全数把握対象疾患では、風しんが 2012年6月以降報告数が大きく増加しています。20歳代、30歳代の男性を中心に大きな流行になっており、流行の長期化が懸念されています。

また、平成25年3月4日より新たに重症熱性血小板減少症候群が四類感染症に、4月1日より侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症及び侵襲性髄膜炎菌感染症が五類感染症に指定されました。発生動向調査事業も年々充実してきています。

本事業報告にあたり、定点医療機関の方々、ご指導いただいた東京都医師会の角田徹理事、副委員長の岡部信彦、沼口俊介の両先生及び委員の各先生方、事務局の皆様に感謝申し上げます。

平成 25 年 7 月

東京都感染症予防検討委員会 委員長 長岡 常雄

1 発生動向調査の概略

(1)調査対象疾患

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「感染症発生動向調査事業実施要綱」に定められている全数把握対象疾患及び定点把握対象疾患を調査対象とし、これに加え、厚生労働省令で定める二つの疑似症を疑似症サーベイランスの調査対象としている。また、都独自に不明発しん症と川崎病並びに性感染症として膣トリコモナス症と梅毒様疾患を調査対象に加えている。(第3章別表1参照)

(2) 定点医療機関

患者定点となる医療機関数は、小児科定点 264、内科定点 155、眼科定点 39、基幹定点 25、性感染症定点 55、疑似症単独定点 24 が設定され、このうち 69 医療機関が病原体定点を兼ねている。なお、小児科定点と内科定点は、インフルエンザ定点及び疑似症定点としての機能も果たしている。

定 点 種 別(疾患数) 患者定点数 病原体定点数 小 児 科 定 点 264 26 (14)内 科 定 点 (1)155 15 眼 科 点 (2)定 39 4 基 幹 定 点 (9)25 20 性感染症定点 4 (6)55 疑 似 症 単 独 定 点 (2)24

表 1 東京都感染症発生動向調査事業定点数

(2012年12月31日現在)

(3) 運営方法

全数把握対象疾患は、診断後直ちに(五類感染症は7日以内)保健所に届出が行われるほか、小児科定点、内科定点、眼科定点及び基幹定点からの報告は週単位で、性感染症(STI)定点からの報告は月単位でなされる。ただし、基幹定点から報告される一部の疾患(薬剤耐性菌による感染症)については月単位となっている。

週単位で報告される疾患については、毎週月曜日から日曜日までに診断された患者を、小児科、内 科、眼科の各定点医療機関においては年齢別の患者数を、基幹定点医療機関においては年齢、検出病 原体名を所定の調査票に記入し、保健所に送付する。

月単位で報告される疾患については、性感染症定点医療機関が当該月の年齢別患者数を、基幹定点 医療機関が当該月の患者の年齢、検体採取部位を所定の調査票に記入し、保健所に送付する。

疑似症サーベイランスについては、報告基準を満たす患者が発生した場合には、症例分類、年齢、性別を、所定の調査票に記入し直ちに保健所に FAX で送付する(疑似症単独定点は、疑似症サーベイランスシステムへ直接入力する)。なお、発生がない場合であってもその旨週単位で報告する。

医療機関から届いた情報は、保健所が発生動向調査システム及び疑似症サーベイランスシステムに 入力する。東京都健康安全研究センター疫学情報係(基幹地方感染症情報センター)は、保健所から の情報を確認後、国へ送信する。

(4)情報発信

患者情報は、全国の情報及び病原体定点で採取された検体からの病原体検出結果と共に、「感染症週報」として東京都感染症情報センターホームページ(http://idsc.tokyo-eiken.go.jp)で公開され、広く都民に情報還元が図られている。

また、隔月第4木曜日を目途に開催される東京都感染症予防検討委員会において直近2か月分の情報について討議し、その情報は東京都医師会雑誌に「感染症だより」として掲載されている。さらに都医ニュースに特定の感染症を取り上げ「感染症豆知識」として掲載している。

2 本年(2012年)の概況

(1) 一類、二類、三類、四類、五類感染症(全数把握対象)

ア 一類感染症

一類感染症(エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブル グ病、ラッサ熱)の届出はなかった。

イ 二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、鳥インフルエンザ (H5N1) の届出はなかった。 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

ウ 三類感染症

三類感染症は総計357人の届出があった。

細菌性赤痢は75人届出があり、内訳はソンネ菌47件、フレキシネル菌26件、ディセンテリ菌1件、ボイド菌1件であった。推定感染地は国内19人、国外56人であった。

腸管出血性大腸菌感染症は 258 人届出があった。血清型別の内訳では、O157 が 174 件、O26 が 44 件、O103 と O145 が各 7 件、O111 が 6 件、O91 と O165 が各 3 件、その他が 14 件であった。症状別では、患者 188 人(うち HUS 14 人、死亡 1 人)、無症状病原体保有者 70 人であった。

腸チフスは13人届出があり、推定感染地は国内1人、国外12人であった。

パラチフスは11人届出があった。推定感染地は国内1人、国外10人であった。

三類感染症のうちコレラの届出はなかった。

工 四類感染症

四類感染症は総計227人の届出があった。

E型肝炎は21人届出があり、推定感染地は国内20人、国外1人であった。

A型肝炎は35人届出があり、推定感染地は国内22人、国外13人であった。

エキノコックス症は1人届出があった。原因寄生虫は単包条虫で、推定感染地は国外であった。

回帰熱は1人届出があり、推定感染地は国外であった。

コクシジオイデス症は1人届出があり、推定感染地は国外であった。

チクングニア熱は3人届出があり、推定感染地はすべて国外であった。

つつが虫病は19人届出があり、推定感染地は国内18人、国外1人であった。

デング熱は 56 人届出があり、その中でデング出血熱の届出は 1 人であった。推定感染地はすべて国外であった。

マラリアは 24 人届出があり、内訳は三日熱マラリア 5 件、熱帯熱マラリア 13 件、卵形マラリア 4 件、その他 1 件、型別不明 1 件であった。推定感染地はすべて国外であった。

レジオネラ症は 60 人届出があり、すべて肺炎型であった。推定感染地は国内 56 人、国外 4 人であった。

レプトスピラ症は6人届出があった。推定感染地は国内4人、国外2人であった。

四類感染症のうち、ウエストナイル熱、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、サル痘、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(H5N1を除く)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、野兎病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、ロッキー山紅斑熱の届出はなかった。

才 五類感染症 (全数把握対象)

五類感染症は総計1,879人の届出があった。

アメーバ赤痢は 198 人届出があり、腸管アメーバ症 163 人、腸管外アメーバ症 23 人、腸管及び腸管外アメーバ症 12 人であった。推定感染地は国内 169 人、国外 25 人、国内又は国外 4 人であった。

ウイルス性肝炎は 60 人届出があり、B 型肝炎 44 人、C 型肝炎 13 人、サイトメガロウイルス肝炎 2 人、EB ウイルス肝炎 1 人であった。推定感染地は国内 55 人、国外 5 人であった。

急性脳炎は 33 人届出があった。病原体はヒトヘルペスウイルス 9 件、インフルエンザウイルス 4 件、ロタウイルス 2 件、ムンプスウイルス 1 件、RS ウイルス 1 件、エンテロウイルス 1 件、トキソプラズマ 1 件、水痘帯状疱しんウイルス疑い 1 件、不明 13 件であり、推定感染地はすべて国内であった。

クリプトスポリジウム症は2人届出があり、いずれも推定感染地は国外であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病は18人届出があり、すべて孤発性プリオン病・古典型CJDであった。 劇症型溶血性レンサ球菌感染症は23人届出があり、死亡は9人報告された。血清群はA群15件、B群1件、G群6件、不明1件であり、推定感染地は国内22人、国外1人であった。

後天性免疫不全症候群は 461 人届出があり、AIDS 患者 92 人、HIV 感染者 309 人、その他 60 人であった。推定感染地は国内 384 人、国外 18 人、国内又は国外 2 人、不明 57 人で、推定感染経路は性的接触 412 人、その他 11 人、2 経路以上 3 人、不明 35 人であった。

ジアルジア症は 16 人届出があり、推定感染地は国内 10 人、国外 5 人、国内又は国外 1 人であった。 梅毒は 297 人届出があり、早期顕症梅毒 I 期 52 人、早期顕症梅毒 II 期 127 人、晩期顕症梅毒 6 人、 先天梅毒 3 人、無症候 109 人であった。推定感染地は国内 289 人、国外 5 人、国内又は国外 3 人であった。

破傷風は5人届出があり、推定感染地はすべて国内であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症は 10 人届出があった。耐性遺伝子型は vanA 2 件、vanB 1 件、vanC 4 件、不明 3 件であった。

風しんは 672 人届出があり、検査診断例 528 人、臨床診断例 144 人であった。推定感染地は国内 661 人、国外 7 人、国内又は国外 4 人であった。

麻しんは84人届出があり、検査診断例33人、臨床診断例29人、修飾麻しん22人であった。推定 感染地は国内77人、国外5人、国内又は国外2人であった。 五類感染症のうち髄膜炎菌性髄膜炎、先天性風しん症候群、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症の届出はなかった。

(2) 五類感染症(定点把握対象)

ア 小児科・内科疾患

2011 年と比較して、定点当たり報告数が減少した疾患は、水痘、手足口病、伝染性紅斑、百日咳、流行性耳下腺炎、川崎病の6疾患であった。前年並みであった疾患は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、ヘルパンギーナ、不明発しん症の4疾患であった。前年に比べ増加した疾患は、インフルエンザ、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎の4疾患であった。

[前年比減少疾患]

水痘: 2012 年は 12,995 人、定点当たり 49.75 人の報告があり、定点当たりの当年/前年比は 0.83 であった。

手足口病: 2012 年は 5,411 人、定点当たり 20.90 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 0.22 で、過去 10 年で 2 番目に少ない定点当たり報告数であった。

伝染性紅斑: 2012 年は 1,626 人、定点当たり 6.23 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 0.26 で、過去 10 年で最も少ない定点当たり報告数であった。

百日咳: 2012 年は 286 人、定点当たり 1.10 人の報告があり、定点当たりの当年/前年比は 0.64 であった。

流行性耳下腺炎: 2012 年は 3,089 人、定点当たり 11.88 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 0.69 で、過去 10 年で 2 番目に少ない定点当たり報告数であった。

川崎病: 2012 年は 177 人、定点当たり 0.68 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 0.82 であった。

[前年比横這いであった疾患]

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 2012 年は 25,224 人、定点当たり 96.60 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 0.99 で、過去 10 年で 2 番目に多い定点当たり報告数であった。

突発性発しん: 2012 年は 8,547 人、定点当たり 32.85 人の報告があった。定点当たりの当年/前年 比は 1.01 で、過去 10 年で 2 番目に多い定点当たり報告数であった。

ヘルパンギーナ: 2012 年は 13,548 人、定点当たり 52.28 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 0.94 で、過去 10 年で 3 番目に多い定点当たり報告数であった。

不明発しん症: 2012年は1,400人、定点当たり5.40人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は0.93で、過去10年で3番目に多い定点当たり報告数であった。

[前年比增加疾患]

インフルエンザ: 2012 年は 135,064 人、定点当たり 323.29 人の報告があった。定点当たりの当年/ 前年比は 1.35 で、過去 10 年で 2 番目に多い定点当たり報告数であった。

RS ウイルス感染症: 2012 年は 6,349 人、定点当たり 24.51 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 1.76 で、定点当たり報告数では過去 10 年で最多であった。

咽頭結膜熱: 2012 年は 5,510 人、定点当たり 21.20 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 1.12 で、過去 10 年で 2 番目に多い定点当たり報告数であった。

感染性胃腸炎: 2012 年は 118,967 人、定点当たり 455.28 人の報告があった。定点当たりの当年/前年比は 1.24 で、過去 10 年で最多の定点当たり報告数であった。

イ 眼科疾患

急性出血性結膜炎: 2012 年は 19 人、定点当たり 0.50 人の報告があった。2005 年と並び過去 10 年で 2 番目に少ない定点当たり報告数であった。

流行性角結膜炎: 2012 年は 1,140 人、定点当たり 30.01 人の報告があった。最近 4 年間減少していたが、2007 年の水準に戻った。

ウ 基幹定点における週報告疾患

細菌性髄膜炎: 2012 年は 42 人、定点当たり 1.68 人の報告があり、過去 10 年で 2 番目に多い定点 当たり報告数であった。

無菌性髄膜炎: 2012 年は 121 人、定点当たり 4.86 人の報告があった。過去 10 年で最多の定点当たり報告数であった。

マイコプラズマ肺炎: 2012 年は 1,067 人、定点当たり 42.84 人の報告があった。過去 10 年で 2 番目 に多い定点当たり報告数であった。

クラミジア肺炎: 2012 年は 14 人、定点当たり 0.56 人の報告があった。

インフルエンザ入院: 2012 年は 610 人、定点当たり 24.40 人の報告があった。

エ 基幹定点における月報告疾患

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症: 2012 年は 1,074 人、定点当たり 43.25 人の報告があった。 過去 10 年で最も少ない定点当たり報告数であった。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症: 2012 年は 440 人、定点当たり 17.72 人の報告があった。過去 10 年で最も少ない定点当たり報告数であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症: 2012 年は 24 人、定点当たり 0.97 人の報告があった。過去 10 年で 2 番目に少ない定点当たり報告数であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症:2012年は報告がなかった。

才 性感染症(STI)

性器クラミジア感染症: 2012 年は 2,315 人、定点当たり 42.64 人の報告があり、過去 10 年で 2 番目 に少ない定点当たり報告数であった。

性器へルペスウイルス感染症: 2012 年は 1,311 人、定点当たり 24.17 人の報告があった。過去 10 年で最多の定点当たり報告数であった。

尖圭コンジローマ: 2012 年は 877 人、定点当たり 16.17 人の報告があった。過去 10 年で 2 番目に 多い定点当たり報告数であった。

淋菌感染症: 2012年は1,035人、定点当たり19.09人の報告があった。過去10年で2番目に少ない 定点当たり報告数であった。 **膣トリコモナス症**: 2012 年は 129 人、定点当たり 2.38 人の報告があった。過去 10 年で最も少ない 定点当たり報告数であった。

梅毒様疾患: 2012 年は 120 人、定点当たり 2.21 人の報告があった。過去 10 年で最多の定点当たり 報告数であった。

(3) 疑似症(法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症)

摂氏 38℃以上の発熱及び呼吸器症状 (明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。) は 10人、発熱及び発しん又は水疱は 15人の報告があった。

表2-1(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(一、二、三、四、五類全数)

分類	疾 病 名	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
	エボラ出血熱	_	-	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	_	-	_
_	痘そう *1	-	-	_	-	-	_	_
	南米出血熱 *2			-	-	-	-	_
類	ペスト	_	_	_	-	-	-	_
	マールブルグ病	_	-	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	_	_	_	_	-	-	_
	急性灰白髄炎	_	-	_	_	-	1	_
	結核 *2 (2013年5月1日現在の報告数)	_	3,305	3,228	3,219	3,045	3,022	4,536
	ジフテリア	_	-	_	-	-	_	_
類	重症急性呼吸器症候群 *3	_	-	-	-	-	-	_
	鳥インフルエンザ(H5N1) *4				-	-	-	_
	コレラ *5	8	3	6	3	2	3	_
三	細菌性赤痢 *5	67	86	64	48	86	86	75
	腸管出血性大腸菌感染症	268	476	409	317	339	257	258
類	腸チフス *5	19	11	13	11	12	6	13
	パラチフス *5	12	7	7	12	5	9	11
	E型肝炎 *1	4	3	7	6	9	9	21
	ウエストナイル熱 *6	_	-	-	_	-	_	_
	A型肝炎 *1	28	19	31	24	45	27	35
	エキノコックス症	1	3	-	1	1	2	1
	黄熱	_	-	-	-	-	-	_
	オウム病	4	1	-	1	-	3	_
	オムスク出血熱 *2			_	_	_	_	-
	回帰熱	-	-	-	-	-	-	1
	キャサヌル森林病 *2			-	-	-	-	_
	Q熱	_	2	1	1	-	_	_
	狂犬病	_	-	-	-	-	-	_
	コクシジオイデス症	1	2	-	1	1	2	1
	サル痘 *1	-	-	-	-	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎 *2			-	-	-	-	-
兀	ダニ媒介脳炎 *2			-	-	-	-	-
	炭疽	_	-	-	-	-	-	_
類	チクングニア熱 *7						_	3
	つつが虫病	1	15	18	14	14	13	19
	デング熱	18	23	32	32	70	27	56
	東部ウマ脳炎 *2			_	_	_	_	_
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く) *8	_	_	-	_	_	_	_
	ニパウイルス感染症 *1	_	-	_	-	_	_	_
	日本紅斑熱	_	_	_	_	1	1	_
	日本脳炎	_	_	_	-	_	1	_
	ハンタウイルス肺症候群	_	-	_	-	-	_	_
	Bウイルス病		_	_	_	_	_	_
	鼻疽 *2			-	-	_	_	_
	ブルセラ症	1	-	-	1	_	_	_
	ベネズエラウマ脳炎 *2			_	_	_	_	_
	ヘンドラウイルス感染症 *2			_	-	_	_	_
	発しんチフス	_	-	-	-	-	_	_
	ボツリヌス症 *9	_	_	_	_	_	_	_

分類	疾 病 名	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
	マラリア	16	23	23	26	27	27	24
	野兎病 *1	_	ı	ı	ı	ı	_	_
	ライム病	2	3	-	1	1	3	_
四	リッサウイルス感染症 *1	_	-	_	-	_	_	_
	リフトバレー熱 *2			_	_	_	_	_
類	類鼻疽 *2			_	_	1	_	_
	レジオネラ症	62	53	80	53	55	72	60
	レプトスピラ症 *1	4	4	4	ı	2	5	6
	ロッキー山紅斑熱 *2			ı	ı	ı	_	_
	アメーバ赤痢 *10	181	166	189	140	180	178	198
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)*10	34	40	30	35	48	40	60
	急性脳炎 *1	6	20	11	45	14	19	33
	クリプトスポリジウム症 *10	5	1	4	4	3	2	2
五.	クロイツフェルト・ヤコブ病 *10	22	16	15	19	15	13	18
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 *10	14	6	19	10	19	30	23
類	後天性免疫不全症候群 *10	453	515	545	471	509	409	461
全	ジアルジア症 *10	28	19	20	24	13	13	16
数	髄膜炎菌性髄膜炎 *10	1	3	2	1	-	2	_
届	先天性風しん症候群 *10	_	_	_	_	-	_	_
出	梅毒 *10	132	162	205	196	173	248	297
)	破傷風 *10	8	1	5	7	5	8	5
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 *1	_	_		_	-	_	_
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 *10	20	17	15	15	17	6	10
	風しん *11			46	19	15	32	672
	麻しん *11			1,174	110	76	178	84
新型	新型インフルエンザ *12				1,160			

- *1 2003年11月5日より新たに追加指定された。
- *2 2007年4月1日より新たに追加指定された。
- *3 2003年11月5日より新たに追加指定された。2007年4月1日に一類から二類に分類が変更になった。
- *4 2008年5月12日より新たに追加指定された。
- *5 2007年4月1日に二類から三類に分類が変更になった。
- *6 2002年11月1日より四類感染症に追加され、急性脳炎に含まれなくなった。
- *7 2011年2月1日より新たに追加指定された。
- *8 2003年11月5日より「高病原性鳥インフルエンザ」として新たに追加指定、2007年4月1日より「鳥インフルエンザ」に変更。
- *9 2003年11月5日より新たに追加指定された。11/4までは「乳児ボツリヌス症」を含む。
- *10 2003年11月5日より「四類(全数届出)」から「五類(全数届出)」に分類が変更になった。
- *11 2008年1月1日より五類(定点届出)から五類(全数届出)に分類が変更になった。
- *12 2009年4月28日に新型インフルエンザ等感染症に指定された。全数届け出は2009年7月23日まで。

表2-1(2) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数 (全数動物)

疾 病 名	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
エボラ出血熱のサル	-	-	_	-	_	-	-
マールブルグ病のサル	-	-	_	-	-	_	-
ペストのプレーリードッグ	_	-	_	1	-	-	_
重症急性呼吸器症候群のイタチアナグマ	-	-	-	_	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のタヌキ	_	-	_	1	-	-	_
重症急性呼吸器症候群のハクビシン	-	-	-	-	-	-	-
結核のサル		-	_	-	-	-	_
鳥インフルエンザ (H5N1)の鳥類	_	-	_	1*	-	_	_
細菌性赤痢のサル	1	-	_	_	-	_	-
ウエストナイル熱の鳥類	-	_	_	-	_	_	_
エキノコックス症の犬	_	_	_	_	_	_	_

^{* 2009}年の報告は動物実験による感染

表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数 (インフルエンザ定点・小児科定点)

上段:年間報告数 下段:定点当たり

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
小児科定点数 *1	142	142	142	142	150	150	150	150	264	264
インフルエンザ定点数 *2	178	178	178	178	290	290	290	290	419	419
インフルエンザ	27,007	18,958	43,336	23,953	53,927	23,059	142,140	12,614	99,940	135,064
	151.72	106.51	243.46	134.57	191.41	80.47	495.53	43.97	240.03	323.29
RSウイルス感染症 *3	68	432	848	818	1,403	1,722	845	2,153	3,628	6,349
	0.48	3.04	5.97	5.76	9.57	11.71	5.73	14.52	13.94	24.51
咽頭結膜熱	1,353	2,123	2,468	3,929	2,793	2,927	1,339	1,979	4,936	5,510
	9.53	14.95	17.38	27.67	18.96	19.86	9.07	13.37	18.95	21.20
A群溶血性レンサ球菌	4,261	5,842	7,564	11,213	11,913	13,925	10,058	11,231	25,487	25,224
咽頭炎	30.01	41.14	53.27	78.96	81.32	93.97	68.03	75.80	97.66	96.60
感染性胃腸炎	35,718	39,464	42,578	51,945	46,783	58,681	37,599	63,372	95,910	118,967
	251.54	277.92	299.85	365.81	318.41	395.92	254.50	427.41	367.56	455.28
水痘	6,439	6,845	7,565	8,345	8,874	8,682	7,079	9,472	15,679	12,995
	45.35	48.20	53.27	58.77	60.77	58.68	47.94	63.93	60.11	49.75
手足口病	6,872	3,585	3,296	2,885	4,382	4,487	3,426	6,257	24,786	5,411
	48.39	25.25	23.21	20.32	29.73	30.60	23.36	42.52	95.84	20.90
伝染性紅斑	1,471	2,771	2,035	3,109	2,879	1,168	1,558	2,929	6,317	1,626
	10.36	19.51	14.33	21.89	19.73	7.90	10.54	19.79	24.23	6.23
突発性発しん	3,777	4,043	4,048	4,119	4,691	4,944	4,463	4,397	8,447	8,547
	26.60	28.47	28.51	29.01	31.95	33.49	30.24	29.74	32.44	32.85
百日咳	34	47	28	23	151	278	225	506	450	286
	0.24	0.33	0.20	0.16	1.02	1.88	1.53	3.42	1.73	1.10
風しん *4	143 1.01	234 1.65	40 0.28	21 0.15	35 0.24					
ヘルパンギーナ	5,064	5,275	6,909	5,900	6,804	6,470	2,574	8,400	14,431	13,548
	35.66	37.15	48.65	41.55	46.10	44.08	17.63	57.06	55.78	52.28
麻しん *4	376 2.65	78 0.55	49 0.35	25 0.18	303 2.05					
流行性耳下腺炎	1,290	3,250	7,321	4,481	1,940	3,662	5,175	5,154	4,488	3,089
	9.08	22.89	51.56	31.56	13.24	24.83	35.05	34.87	17.23	11.88
不明発しん症 *5	579	540	461	966	665	734	657	622	1,506	1,400
	4.08	3.80	3.25	6.80	4.52	4.98	4.48	4.21	5.78	5.40
川崎病 *5	66	69	56	101	110	109	71	89	217	177
	0.46	0.49	0.39	0.71	0.75	0.73	0.48	0.60	0.83	0.68

^{*1 2007}年は、12月末時点の定点数

^{*2 2007}年は、12月末時点の定点数

^{*3 2003}年45週より実施

^{*4 2008}年1月1日から五類全数把握対象疾患に変更

^{*5} 東京都独自疾患

表2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数 (眼科定点)

上段:年間報告数 下段:定点当たり

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
定点数*	14	14	14	14	39	39	39	39	39	39
急性出血性結膜炎	18	6	7	8	82	64	53	74	31	19
	1.29	0.43	0.50	0.57	2.15	1.66	1.37	1.91	0.84	0.50
流行性角結膜炎	880	719	567	535	968	865	703	951	842	1,140
	62.86	51.36	40.50	38.21	32.04	22.41	18.28	24.60	22.73	30.01

^{* 2007}年は、12月末時点の定点数

表2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数 (基幹定点週報告分)

上段:年間報告数 下段:定点当たり

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
定点数	25	25	25	25	25	24	24	25	25	25
細菌性髄膜炎	18 0.72	25 1.00	17 0.68	15 0.60	28 1.14	24 1.01	24 1.02	18 0.76	52 2.14	42 1.68
無菌性髄膜炎	66 2.64	27 1.08	28 1.12	40 1.60	50 2.03	34 1.42	28 1.17	38 1.61	96 3.91	121 4.86
マイコプラズマ肺炎	173 6.92	184 7.36	164 6.56	218 8.72	247 10.11	298 12.53	305 12.93	416 17.76	1,143 46.78	1,067 42.84
クラミジア肺炎	3 0.12	0.16	9 0.36	13 0.52	20 0.81	25 1.05	46 1.96	20 0.85	18 0.74	14 0.56
インフルエンザ入院 *1									12 0.48	610 24.40
成人麻しん *2	144 5.76	16 0.64	0.04	3 0.12	262 10.70					

^{*1 2011}年36週より実施

^{*2 2008}年1月1日から五類全数把握対象疾患に変更

表2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数 (基幹定点月報告分)

上段:年間報告数 下段:定点当たり

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
定点数	25	25	25	25	25	24	24	25	25	25
メチシリン耐性黄色	1,761	1,552	1,539	1,536	1,758	1,606	1,290	1,312	1,136	1,074
ブドウ球菌感染症	70.44	62.08	61.56	61.44	70.53	66.92	54.44	55.36	46.67	43.25
ペニシリン耐性	617	444	534	579	624	554	552	635	596	440
肺炎球菌感染症	24.68	17.76	21.36	23.16	25.08	23.08	23.30	26.77	24.55	17.72
薬剤耐性	61	39	35	41	48	26	22	26	37	24
緑膿菌感染症	2.44	1.56	1.40	1.64	1.93	1.08	0.93	1.10	1.52	0.97
薬剤耐性アシネト* バクター感染症									0.00	0.00

^{* 2011}年2月より実施

表2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数 (性感染症定点)

上段:年間報告数 下段:定点当たり

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
定点数 *1	41	41	41	41	55	55	55	55	55	55
性器クラミジア	2,422	2,476	2,132	2,133	2,485	2,605	2,295	2,376	2,426	2,315
感染症	59.07	60.39	52.00	52.02	48.08	47.51	42.51	44.07	44.37	42.64
性器ヘルペス	865	982	923	963	989	946	954	1,194	1,236	1,311
ウイルス感染症	21.10	23.95	22.51	23.49	19.40	17.25	17.69	22.15	22.60	24.17
尖圭コンジローマ	518	627	555	646	801	926	727	842	837	877
	12.63	15.29	13.54	15.76	15.39	16.88	13.47	15.62	15.31	16.17
淋菌感染症	1,298	1,171	1,006	868	1,013	1,096	950	1,067	1,212	1,035
	31.66	28.56	24.54	21.17	19.63	19.99	17.61	19.81	22.15	19.09
膣トリコモナス症 *2	343	298	212	233	233	169	138	150	136	129
	8.37	7.27	5.17	5.68	4.69	3.08	2.55	2.78	2.49	2.38
梅毒様疾患 *2	68	42	43	74	103	82	94	83	117	120
	1.66	1.02	1.05	1.80	1.99	1.50	1.74	1.54	2.14	2.21

^{*1 2007}年は、12月末時点の定点数

表2-7 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数 (疑似症定点)

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
定点数						315	315	315	443	443
発熱及び呼吸器症状*						11	147	20	9	10
発熱及び発しん・水疱*						8	6	9	4	15

^{* 2008}年7月より実施

^{*2} 東京都独自疾患

3 各疾患の動向

(1) 一類、二類、三類、四類、五類感染症(全数把握対象)

ア 一類感染症

一類感染症(以下の疾患)は、すべて届出がなかった。

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱

イ 二類感染症

① 結核

結核の発生動向は、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

以下の疾患は届出がなかった。

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、鳥インフルエンザ (H5N1)

ウ 三類感染症

① 細菌性赤痢

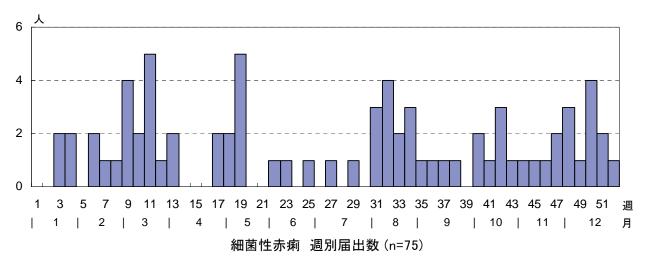
細菌性赤痢は 75 人届出があり、菌型はソンネ菌 47 件、フレキシネル菌 26 件、ディセンテリー菌 1 件、ボイド菌 1 件であった。

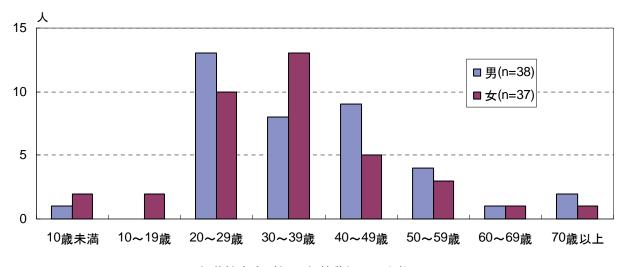
性別は男性 38 人、女性 37 人で、年齢は 10 歳未満 3 人 (うち、5 歳未満 1 人)、10 歳代 2 人、20 歳代 23 人、30 歳代 21 人、40 歳代 14 人、50 歳代 7 人、60 歳代 2 人、70 歳以上 3 人であった。

推定感染地は国内 19 人、国外 56 人であり、国外感染例 56 人の推定感染地域は、東南アジア 32 人、南アジア 12 人、アフリカ 5 人、アメリカ 3 人、西アジア 2 人、ヨーロッパ 1 人、2 地域以上 1 人であった。推定感染国別では、インドネシア 18 人、インド 9 人、フィリピン 6 人、カンボジア 5 人、トルコ 2 人、バングラデシュ 2 人、メキシコ 2 人、モロッコ 2 人が多かった。

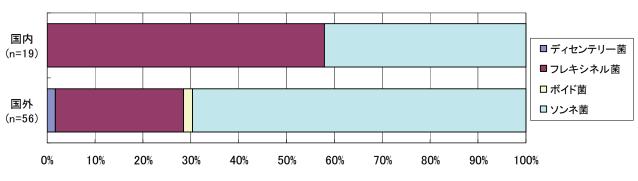
国内感染が疑われる 19 人の年齢の内訳は 10 歳未満 2 人 (うち 5 歳未満 1 人)、20 歳代 3 人、30 歳代 5 人、40 歳代 4 人、50 歳代 2 人、60 歳代 1 人、70 歳以上 2 人であった。

症例の集積は、 $3\sim4$ 週に生春巻きの喫食によると推定されたものが2人(フレキシネル)、 $36\sim37$ 週にはトルコツアーに関連した症例が2人(ソンネ)認められた。性的接触(糞口感染)によると推定される感染例は報告されなかった。

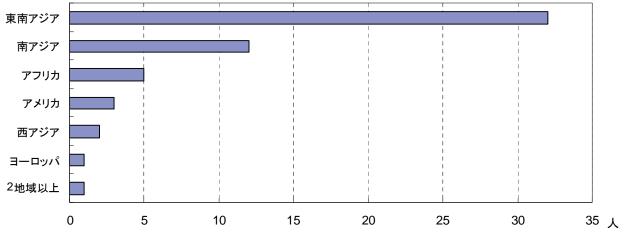




細菌性赤痢 性別·年齢階級別届出数 (n=75)



細菌性赤痢 菌型別·推定感染地別構成割合(n=75)



細菌性赤痢 国外感染例の推定感染地域別届出数 (n=56)

細菌性赤痢 国外感染例 (n=56)

推定感染地域	人数	推定感染国	人数
東南アジア	32	インドネシア	18
		カンボジア	5
		タイ	1
		フィリピン	6
		ミャンマー	1
		タイ/ベトナム	1
南アジア	12	インド	9
		ネパール	1
		バングラデシュ	2
アフリカ	5	ギニアビサウ	1
		スーダン	1
		モロッコ	2
		南スーダン	1
アメリカ	3	グアテマラ	1
		メキシコ	2
西アジア	2	トルコ	2
ヨーロッパ	1	スペイン	1
2 地域以上	1	ミャンマー/マレーシア/インド	1
合 計	56		56

細菌性赤痢 国内感染例 (n=19)

受理日	受理週	性別	年齢	菌種	症状	推定感染地	備考
1/16	3	女	4	フレキシネル	有	東京都	
1/20	3	男	9	フレキシネル	有	東京都	
1/23	4	女	52	フレキシネル	有	東京都	生春巻きの喫食
1/24	4	女	33	フレキシネル	有	東京都	生春巻きの喫食
2/9	6	男	47	ソンネ	有	東京都	
2/17	7	女	40	フレキシネル	有	不明	
2/20	8	男	21	ソンネ	無	不明	
3/14	11	男	44	ソンネ	有	東京都	
3/27	13	男	30	ソンネ	有	東京都	
4/24	17	女	28	フレキシネル	有	不明	
5/2	18	男	83	フレキシネル	有	東京都	川釣りのハゼ自己調理
5/4	18	女	75	フレキシネル	有	静岡県	
5/31	22	男	48	フレキシネル	有	東京都	
6/21	25	男	38	ソンネ	有	不明	
8/8	32	男	21	ソンネ	有	東京都	バーベキュー、焼き肉
10/5	40	男	59	フレキシネル	有	東京都	
10/12	41	男	32	ソンネ	——— 有	東京都	
10/19	42	男	33	ソンネ	——— 有	東京都	
11/20	47	女	64	フレキシネル	有	東京都	生魚の喫食

② 腸管出血性大腸菌感染症

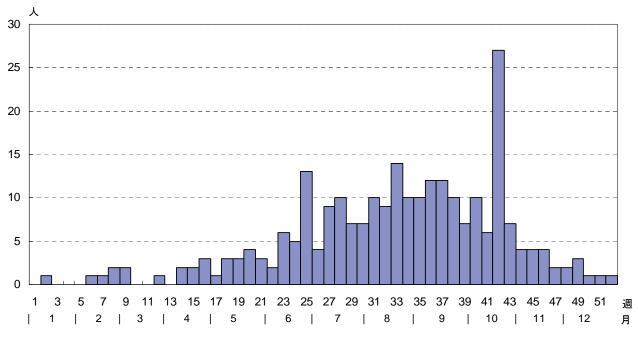
腸管出血性大腸菌感染症は 258 人届出があった。性別は男性 116 人、女性 142 人で、年齢は 10 歳未満 65 人(うち 5 歳未満 36 人)、10 歳代 44 人、20 歳代 54 人、30 歳代 26 人、40 歳代 20 人、50 歳代 9 人、60 歳代 27 人、70 歳以上 13 人であった。

菌型は O157VT1 が 6 件、O157VT2 が 63 件、O157VT1・VT2 が 103 件、O157VT 不明が 2 件、O26VT1 が 37 件、O26VT2 が 2 件、O26VT1・VT2 が 4 件、O26VT 不明が 1 件、O103VT1 が 7 件、O145VT1 が 1 件、O145VT2 が 5 件、O145VT1・VT2 が 1 件、O111VT1 が 2 件、O111VT2 が 1 件、O111VT1・VT2 が 3 件、O91VT1 が 3 件、O165VT2 が 2 件、O165VT1 が 1 件、その他が 14 件であった。

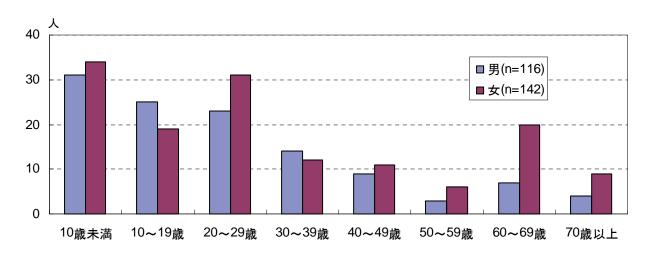
症状別では、患者 188人、無症状病原体保有者 70人であり、死亡は1人(70歳代の男性患者)が確認された。溶血性尿毒症症候群(HUS)と判明しているものは14人おり、年齢は10歳未満8人(うち、5歳未満4人)、20歳代1人、60歳代3人、70歳以上2人で、菌型はO157VT1が1件、O157VT2が2件、O157VT1・VT2が4件、O26VT1・VT2が1件、O111VT2が1件、O183VT1・VT2が1件、血清でのO抗原凝集抗体の検出が2件、便でのベロ毒素の検出が2件であった。

推定感染地は国内 239 人、国外 18 人(中国 4 人、インドネシア 3 人、トルコ 2 人、ハワイ 2 人、韓国 2 人、エジプト 1 人、グアム 1 人、フランス 1 人、ベトナム 1 人、ペルー 1 人)、国内または国外 1 人であった。

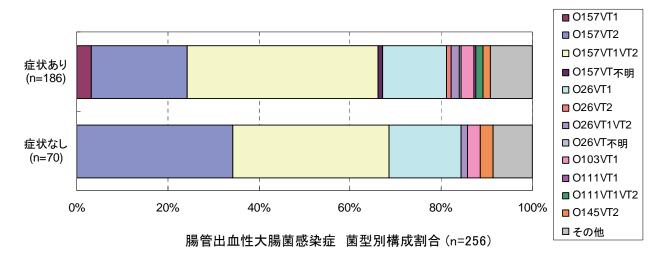
症例の集積は、17~19 週に都内焼き肉店による食中毒関連が 3 人 (O157VT1・VT2)、21 週に中国 ツアー関連が 2 人 (O111VT1、O145VT2、O157VT1・VT2)、27~28 週にも都内焼き肉店による食中 毒関連が 3 人 (O157VT1・VT2)、33 週に北海道における浅漬け食中毒関連が 2 人 (O157 O157VT1・VT2)、37~42 週及び 40~44 週には、都内保育園関連がそれぞれ 7 人 (O157VT1・VT2)と 19 人 (O26VT1) 認められた。

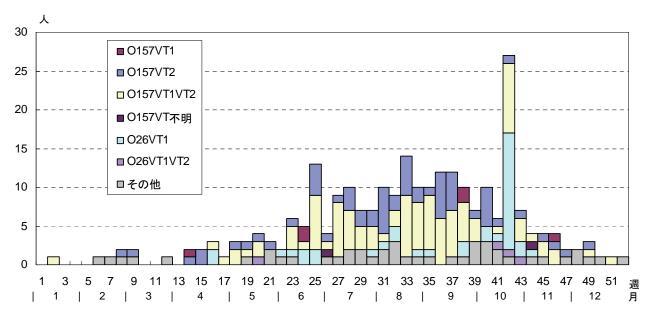


腸管出血性大腸菌感染症 週別届出数(n=258)



腸管出血性大腸菌感染症 性別·年齢階級別届出数(n=258)



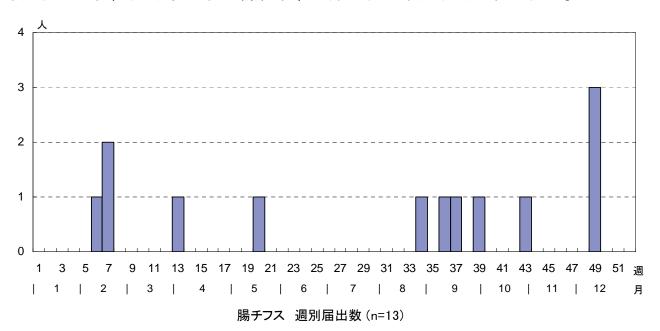


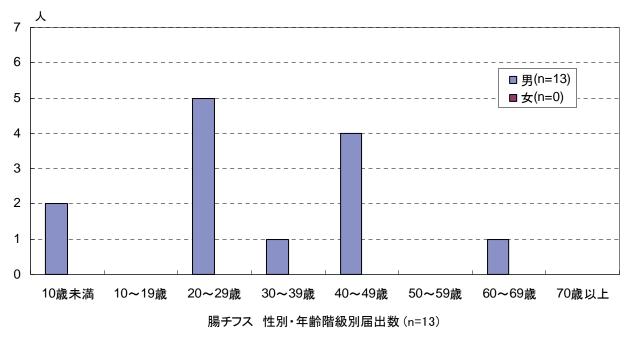
腸管出血性大腸菌感染症 菌型別·週別届出数 (n=258)

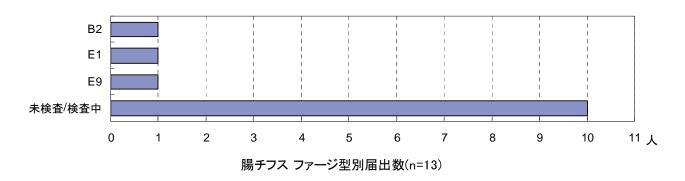
③ 腸チフス

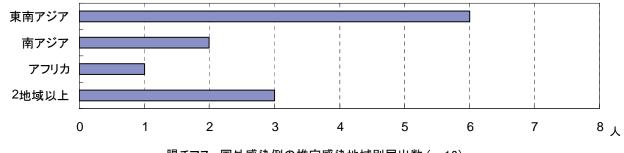
腸チフスは 13 人届出があり、すべて男性患者であった。年齢は 10 歳未満 2 人、20 歳代 5 人、30 歳代 1 人、40 歳代 4 人、60 歳代 1 人であった。

推定感染地は国内 1 人、国外 12 人であり、国外感染例 12 人の推定感染地域は、東南アジア 6 人、南アジア 2 人、アフリカ 1 人、2 地域以上 3 人であった。推定感染国別では、インド 4 人、インドネシア 1 人、ウガンダ 1 人、パキスタン 1 人、バングラデシュ 1 人、マレーシア 1 人、インド又はタイ又はラオス 1 人、インドネシア又は中国 1 人、タイ又はラオス又はインド 1 人であった。









腸チフス 国外感染例の推定感染地域別届出数 (n=12)

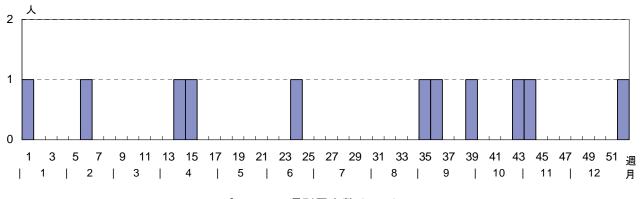
腸チフス 国内感染例 (n=1)

受理日	受理週	性別	年齢	ファージ型	症状	推定感染地
9/26	39	男	62	検査中	有	東京都

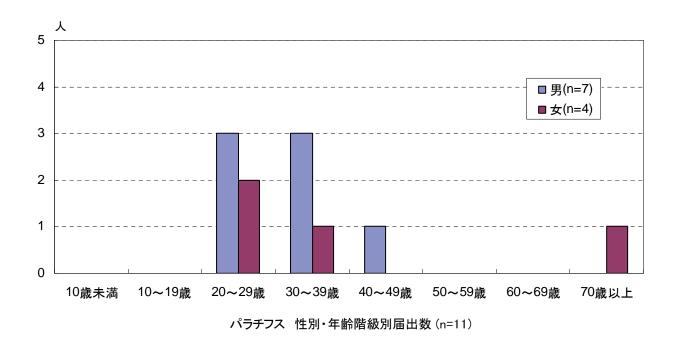
④ パラチフス

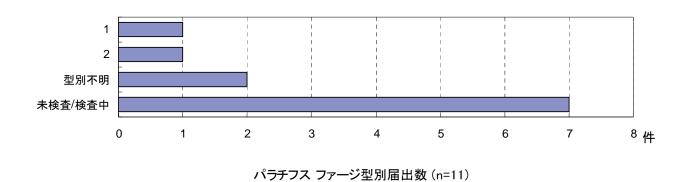
パラチフスは 11 人届出があった。性別は男性 7 人、女性 4 人で、年齢は 20 歳代 5 人、30 歳代 4 人、40 歳代 1 人、70 歳以上 1 人であった。

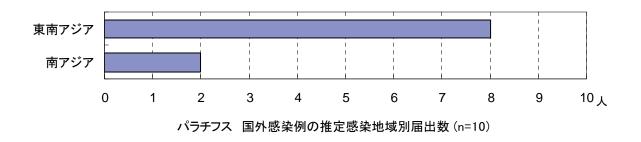
推定感染地は国内 1 人、国外 10 人であった。国外感染例 10 人を推定感染地域別でみると、南アジア 8 人、東南アジア 2 人であり、推定感染国はインド 7 人、インドネシア 1 人、タイ 1 人、パキスタン 1 人であった。



パラチフス 週別届出数 (n=11)







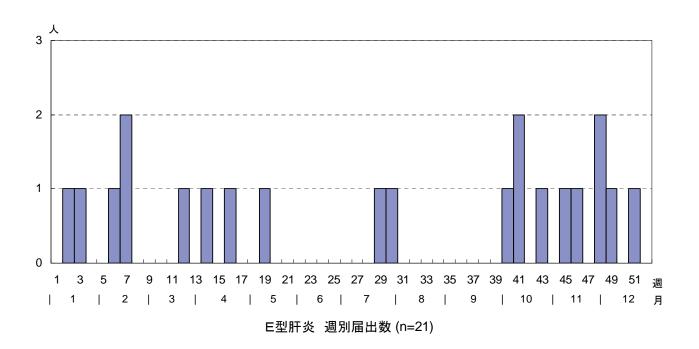
以下の疾患は届出がなかった。 コレラ

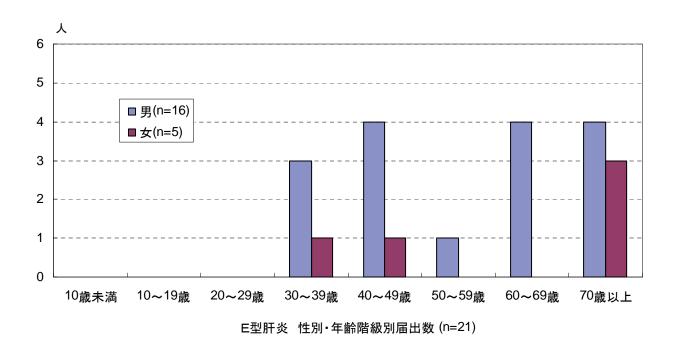
工 四類感染症

① E型肝炎

E型肝炎は 21 人届出があった。性別は男性 16 人、女性 5 人で、年齢は 30 歳代 4 人、40 歳代 5 人、50 歳代 1 人、60 歳代 4 人、70 歳以上 7 人であった。

推定感染地は国内 20 人、スペイン 1 人であった。推定感染経路では、4 人に豚肉の喫食が認められた。





E型肝炎届出例 (n=21)

	C至川 灰油山門 (III-21)										
受理日	受理週	性別	年齢	症 状	推定感染地	推定感染経路					
1/12	2	男	64	その他(胃部不快感)	国内	不明					
1/16	3	男	75	発熱、全身倦怠感、食欲不振、 肝機能異常	国内	飲食物による 経口感染(馬肉)					
2/8	6	女	74	肝機能異常	国内	飲食物による 経口感染(豚レバー)					
2/15	7	男	64	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、 肝機能異常、肝腫大	国内	飲食物による 経口感染					
2/17	7	男	37	食欲不振、肝機能異常	国内	飲食物による 経口感染					
3/19	12	男	44	全身倦怠感、黄疸、肝機能異常、肝腫大	国内	不明					
4/2	14	男	48	全身倦怠感、肝機能異常	国内	飲食物による 経口感染(豚生肉)					
4/16	16	女	71	発熱、全身倦怠感	国内	不明					
5/12	19	男	70	全身倦怠感、食欲不振、黄疸	国内	飲食物による 経口感染					
7/18	29	男	74	全身倦怠感、肝機能異常	スペイン	飲食物による 経口感染(生ハム)					
7/24	30	男	46	発熱、全身倦怠感、黄疸、 肝機能異常	国内	飲食物による 経口感染					
10/1	40	女	71	肝機能異常	国内	不明					
10/9	41	女	38	全身倦怠感、食欲不振、肝機能 異常	国内	飲食物による経口感染 (豚生レバー、羊肉)					
10/12	41	男	35	全身倦怠感、黄疸、肝機能異常	国内	飲食物による 経口感染					
10/22	43	男	85	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、 肝機能異常	国内	不明					
11/6	45	男	67	全身倦怠感、その他(尿濃染)	国内	飲食物による 経口感染(貝、焼肉)					
11/15	46	男	63	全身倦怠感、黄疸、肝機能異常	国内	飲食物による 経口感染					
11/26	48	男	49	全身倦怠感、肝機能異常	国内	飲食物による 経口感染(馬刺し)					
11/27	48	男	55	黄疸、肝機能異常、その他(ビリ ルビン尿、白色便、掻痒感)	国内	不明					
12/5	49	男	38	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、 肝機能異常	国内	飲食物による 経口感染(シカ肉)					
12/19	51	女	46	全身倦怠感、肝機能異常	国内	飲食物による 経口感染					

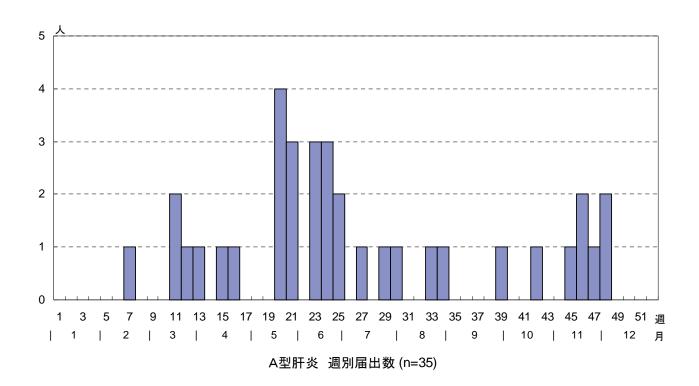
② A型肝炎

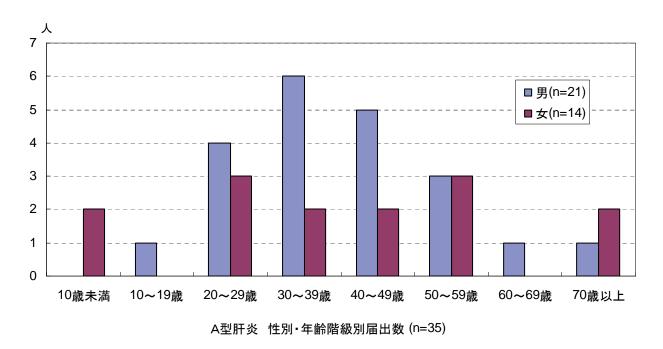
A型肝炎は35人届出があった。性別は男性21人、女性14人で、年齢は10歳未満2人(うち5歳未満1人)、10歳代1人、20歳代7人、30歳代8人、40歳代7人、50歳代6人、60歳代1人、70歳以上3人であった。

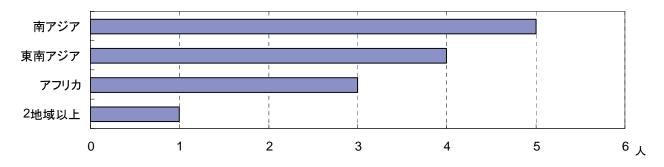
推定感染地は国内 22人、国外 13人であった。国外感染例の推定感染地域は、南アジア 5人、東南アジア 4人、アフリカ 3人、2地域以上 1人で、推定感染国別ではパキスタン 3人、タイ 2人、インドネシア 1人、エジプト 1人、ケニア 1人、スリランカ 1人、ネパール 1人、フィリピン 1人、インド又はケニア 1人、ギニア又はセネガル 1人であった。

推定感染経路は、飲食物による経口感染 27 人、経口感染又は異性間性的接触 1 人、経口感染又はその他 1 人、その他 6 人であった。飲食物による経口感染 27 人のうち推定原因食材は貝類が 4 人 (14.8%)、その他の魚介類が 3 人 (11.1%)、生ものが 4 人 (14.8%)、その他 4 人 (14.8%)、不明 12 人 (44.4%) であった。

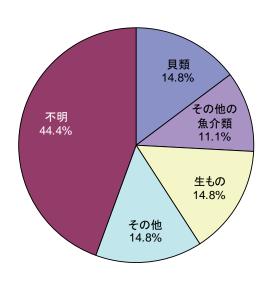
症例の集積は、45~48週にパキスタンへの渡航が関連したと推定される症例が3人認められた。







A型肝炎 国外感染例の推定感染地域別届出数 (n=13)



A型肝炎 感染原因として疑われた飲食物 (n=27)

③ エキノコックス症

エキノコックス症は1人届出があり、性別は女性、年齢は50歳代であった。原因は単包条虫の寄生によるもので、推定感染地はボリビアであった。

エキノコックス症届出例 (n=1)

受理日	受理週	性別	年齢	原因寄生虫種	症 状	推定感染地	推定感染経路
12/17	51	女	52	単包条虫	腹痛、肝臓の 画像異常所見	ボリビア	不明

④ 回帰熱

回帰熱は1人届出があり、性別は男性、年齢は20歳代であった。推定感染地はアルジェリアで、推定感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。東京都での回帰熱の届出は1999年以降初めての報告となった。

回帰熱届出例 (n=1)

受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染経路
12/17	51	男	28	発熱	アルジェリア	動物・蚊・昆虫等からの感染

⑤ コクシジオイデス症

コクシジオイデス症は1人届出があり、性別は女性、年齢は20歳代であった。推定感染地は米国、 推定感染経路は塵埃感染であった。

コクシジオイデス症届出例 (n=1)

受理日	受理週	性別	年齢	症 状	推定感染地	推定感染経路
9/10	37	女	22	胸部結節性病変	米国(アリゾナ州)	塵埃感染

⑥ チクングニア熱

チクングニア熱は 3 人届出があった。性別は男性 1 人、女性 2 人であり、年齢は 10 歳代 2 人、20 歳代 1 人であった。推定感染地はすべて国外で、推定感染地域はいずれも東南アジア、推定感染国はインドネシア 1 人、カンボジア 1 人、フィリピン 1 人であった。推定感染経路はすべて動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

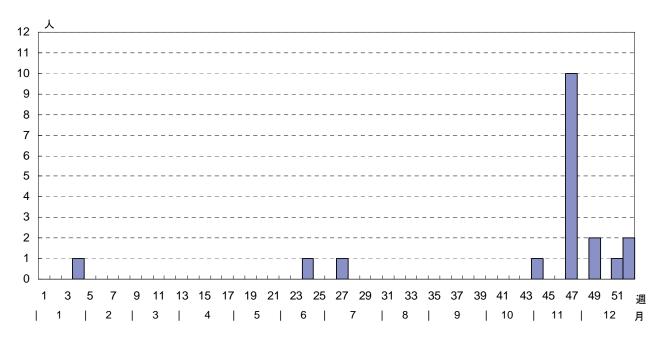
チクングニア熱届出例 (n=3)

受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染経路
10/4	40	女	19	発熱、関節痛、発しん	フィリピン	動物・蚊・昆虫等からの感染
10/9	41	女	19	発熱、関節痛、発しん、全身倦怠感、 頭痛、筋肉痛	カンボジア	動物・蚊・昆虫等からの感染
10/18	42	男	28	発熱、関節痛、発しん、全身倦怠感、 筋肉痛、血小板減少、白血球減少	インドネシア	動物・蚊・昆虫等からの感染

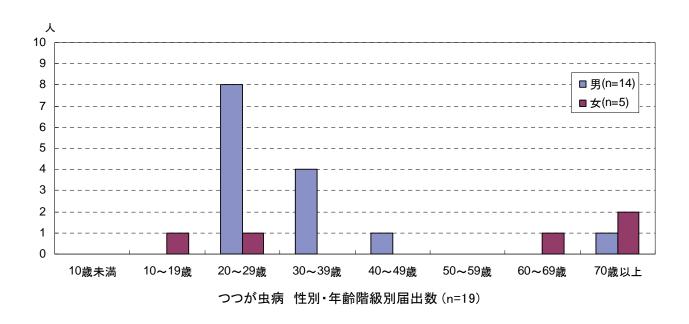
⑦ つつが虫病

つつが虫病は 19 人届出があり、性別は男性 14 人、女性 5 人であった。年齢は 10 歳代 1 人、20 歳代 9 人、30 歳代 4 人、40 歳代 1 人、60 歳代 1 人、70 歳以上 3 人であった。推定感染地は静岡県 10 人、東京都 7 人(うち島しょ地区 3 人)、不明(国内) 1 人、台湾 1 人であった。

症例の集積は、47週に野外訓練を行った自衛官の集団感染10人が認められた。



つつが虫病 週別届出数(n=19)



つつが虫病届出例 (n=19)

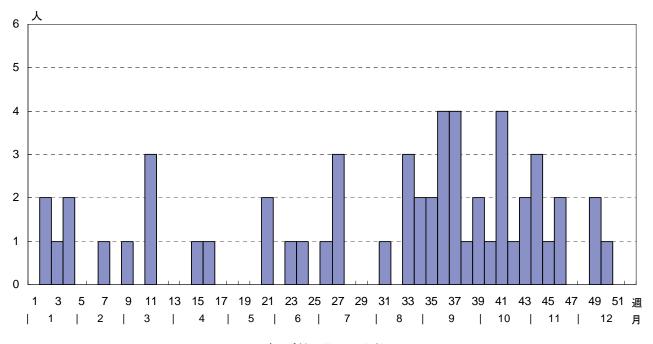
受理日	受理週	性別	年齢	症 状	推定感染地	職業
1/27	4	男	37	発熱、刺し口、発しん	国外	会社員
6/12	24	女	71	発熱、刺し口、発しん、肺炎	東京都	無職
7/2	27	女	16	頭痛、発熱、刺し口、発しん、その他 (眼球出血)	東京都	高校生
11/1	44	女	76	発熱、刺し口、発しん	東京都	無職
11/21	47	男	24	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発しん	静岡県	自衛官
11/21	47	男	42	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発しん	静岡県	自衛官
11/21	47	男	38	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発しん、 その他(関節痛)	静岡県	自衛官
11/21	47	男	20	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発しん、その他 (関節痛)	静岡県	自衛官
11/21	47	男	21	発熱、リンパ節腫脹、発しん	静岡県	自衛官
11/21	47	男	24	頭痛、発熱、発しん	静岡県	自衛官
11/21	47	男	20	発熱、リンパ節腫脹	静岡県	自衛官
11/21	47	男	23	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発しん、 その他(関節痛)	静岡県	自衛官
11/21	47	男	21	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発しん	静岡県	自衛官
11/21	47	男	22	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発しん、 その他(関節痛)	静岡県	自衛官
12/3	49	女	27	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発しん	東京都	不詳
12/4	49	男	38	発熱、発しん、肺炎	不明(国内)	ビルメンテナンス
12/19	51	男	79	刺し口、発しん	東京都	自営業
12/25	52	女	68	頭痛、発熱、刺し口	東京都	無職
12/27	52	男	31	発熱、刺し口、発しん	東京都	土木作業

⑧ デング熱

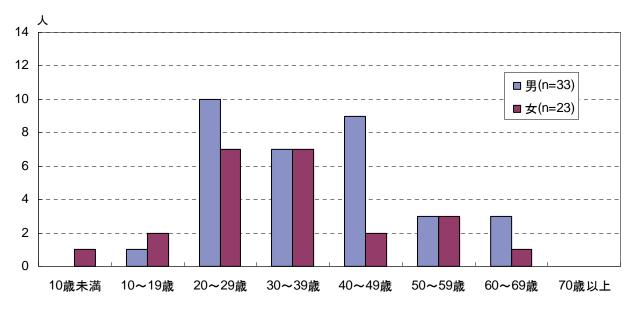
デング熱は 56 人届出があり、その中でデング出血熱は 1 人であった。性別は男性 33 人、女性 23 人であり、年齢は 10 歳未満 1 人、10 歳代 3 人、20 歳代 17 人、30 歳代 14 人、40 歳代 11 人、50 歳代 6 人、60 歳代 4 人であった。

推定感染地はすべて国外で、推定感染地域は東南アジア 40人、南アジア 13人、中央アメリカ 1人、2地域以上 2人であった。推定感染国は、インド 10人、インドネシア 10人、フィリピン 9人、タイ 8人、カンボジア 4人、ミャンマー 3人、バングラデシュ 2人などであった。

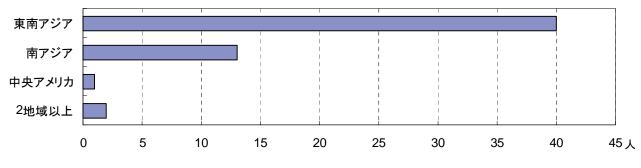
血清型は22件で報告されており、1型8件、2型8件、3型5件、4型1件であった。



デング熱 週別届出数 (n=56)



デング熱 性別・年齢階級別届出数 (n=56)



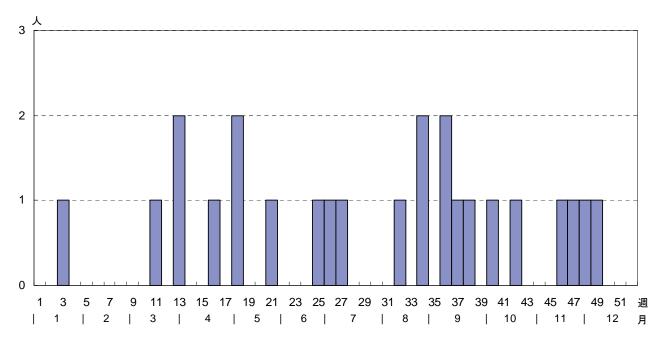
デング熱 国外感染例の推定感染地域別届出数(n=56)

⑨ マラリア

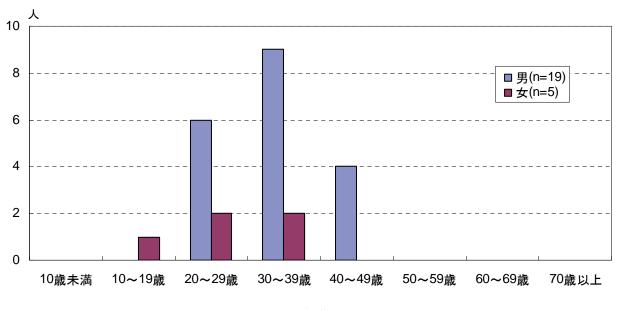
マラリアは 24 人届出があった。三日熱マラリア 5 人、熱帯熱マラリア 13 人、卵形マラリア 4 人、その他 (P. knowlesi) 1 人、型別不明 1 人であった。

性別は男性 19 人、女性 5 人で、年齢は 10 歳代 1 人、20 歳代 8 人、30 歳代 11 人、40 歳代 4 人であった。

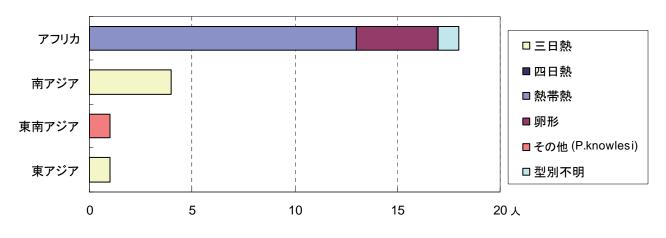
推定感染地はすべて国外で、推定感染地域はアフリカ18人、南アジア4人、東南アジア1人、東アジア1人であった。推定感染国はインド4人、ガーナ3人、ウガンダ3人、ザンビア2人、タンザニア2人、ナイジェリア2人、ブルキナファソ2人、中国1人、ウガンダ1人、南スーダン1人、ケニア1人、マレーシア1人、ルワンダ1人であった。



マラリア 週別届出数 (n=24)



マラリア 性別・年齢階級別届出数 (n=24)



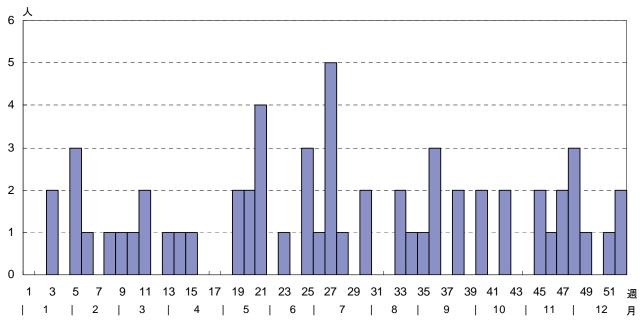
マラリア 推定感染地域別・原虫種別届出数 (n=24)

⑪ レジオネラ症

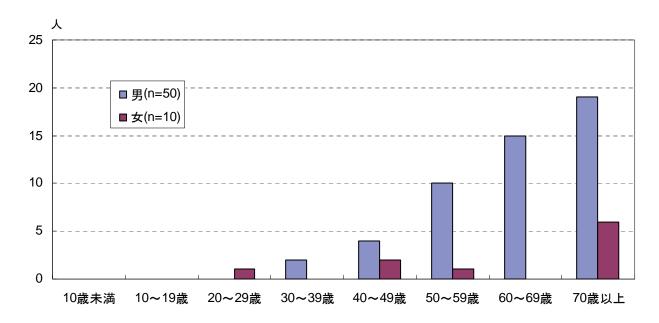
レジオネラ症は 60 人届出があった。病型はすべて肺炎型であり、死亡例は 3 例であった。 性別は男性 50 人、女性 10 人で、年齢は 20 歳代 1 人、30 歳代 2 人、40 歳代 6 人、50 歳代 11 人、60 歳代 15 人、70 歳代 12 人、80 歳代 10 人、90 歳以上 3 人であった。

推定感染地は国内 56 人、国外 4 人であった。国外感染例の推定感染地域は、東アジア 2 人、東南アジア 2 人であり、推定感染国は、中国 2 人、シンガポール 1 人、タイ 1 人であった。

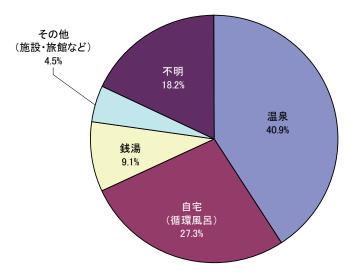
推定感染経路は水系感染 22 人、塵埃感染 3 人、水系感染または塵埃感染 1 人、その他 34 人であった。水系感染のうち、温泉入浴施設での感染が推定されているものは 9 人 (40.9%) だった。



レジオネラ症 週別届出数 (n=60)



レジオネラ症 性別・年齢階級別届出数 (n=60)



レジオネラ症 水系感染の内訳 (n=22)

⑪ レプトスピラ症

レプトスピラ症は 6 人届出があった。性別はすべて男性で、年齢は 20 歳代 1 人、30 歳代 1 人、40 歳代 3 人、60 歳代 1 人であった。

推定感染地は国内4人、国外2人(ベトナム1人、マレーシア1人)であった。主な感染経路は、 国内感染事例ではネズミ、国外感染事例では河川と推定されている。

受理日	受理週	性別	年齢	症 状	推定感染地	推定感染経路
1/10	2	男	64	発熱、筋肉痛、結膜充血、黄疸、腎不全	東京都	ネズミ
4/13	15	男	43	発熱、筋肉痛、結膜充血、黄疸、出血症状、 蛋白尿、腎不全、その他(下痢)	東京都	ネズミ
5/25	21	男	49	発熱、黄疸、出血症状、腎不全	東京都	その他
9/6	36	男	32	発熱、筋肉痛、結膜充血、黄疸、腎不全	ベトナム	河川・ネズミ
11/1	44	男	46	発熱、筋肉痛、黄疸、出血症状	東京都	ネズミ
11/28	48	男	20	発熱、結膜充血、蛋白尿、腎不全、その他 (関節痛)	マレーシア	河川

レプトスピラ症届出例 (n=6)

以下の疾患は届出がなかった。

ウエストナイル熱、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、サル痘、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(H5N1を除く)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、野兎病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、ロッキー山紅斑熱

才 五類感染症 (全数把握対象)

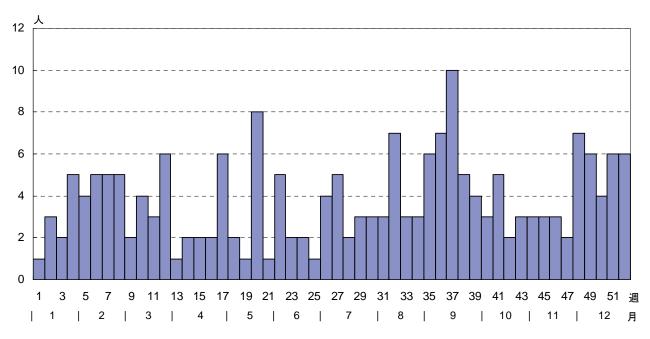
① アメーバ赤痢

アメーバ赤痢は 198 人届出があり、腸管アメーバ症 163 人、腸管外アメーバ症 23 人、腸管及び腸管外アメーバ症 12 人であった。死亡例は 1 人報告された。

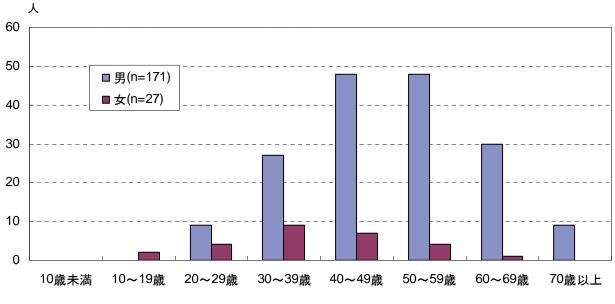
性別は男性 171 人、女性 27 人で、年齢は 10 歳代 2 人、20 歳代 13 人、30 歳代 36 人、40 歳代 55 人、50 歳代 52 人、60 歳代 31 人、70 歳以上 9 人であった。

推定感染地は国内 169 人、国外 25 人、国内または国外 4 人であった。国外感染例 25 人の推定感染地域は、東南アジア 13 人、東アジア 4 人、南アジア 2 人、ヨーロッパ 1 人、その他 1 人、渡航先不明 4 人であった。推定感染国はインドネシア 4 人、フィリピン 3 人、インド 2 人、タイ 2 人、韓国 2 人、中国 2 人、シンガポール 1 人、フランス 1 人、マレーシア 1 人、カンボジア又はベトナム 1 人、その他 1 人、渡航先不明 4 人であった。

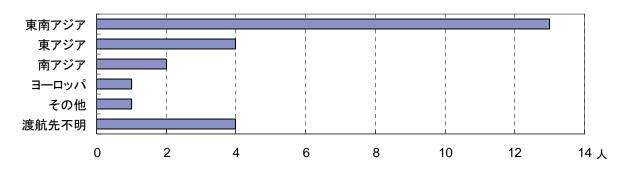
推定感染経路は、性的接触 84 人(異性間 38 人、同性間 26 人、両性間 2 人、性別不明 18 人)、飲食物による経口感染 36 人、2 経路以上 7 人、不明 71 人であった。



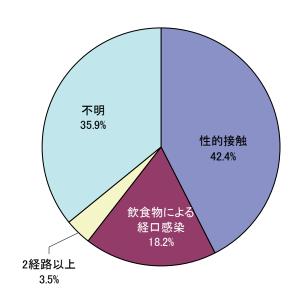
アメーバ赤痢 週別届出数 (n=198)



アメーバ赤痢 性別・年齢階級別届出数 (n=198)



アメーバ赤痢 国外感染例の推定感染地域別届出数 (n=25)



アメーバ赤痢 推定感染経路(n=198)

② ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)

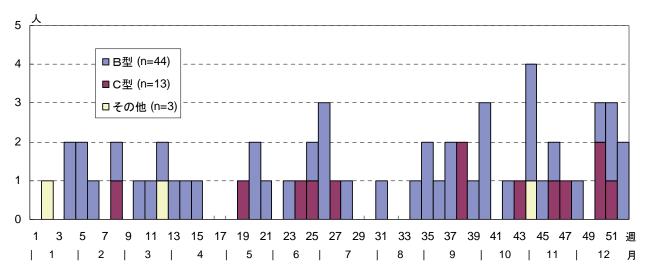
ウイルス性肝炎は 60 人届出があり、B 型 44 件、C 型 13 件、サイトメガロウイルス 2 件、EB ウイルス 1 件であった。

B型肝炎 44 人の届出のうち、男性は 37 人、女性は 7 人で、年齢は 20 歳代 12 人、30 歳代 20 人、40 歳代 8 人、50 歳代 3 人、60 歳代 1 人であった。推定感染地は国内 39 人、国外 5 人(タイ 2 人、ブラジル 1 人、韓国 1 人、中国 1 人)で、推定感染経路は性的接触 39 人(同性間 11 人、異性間 21 人、両性間 1 人、性別不明 6 人)不明 5 人であった。

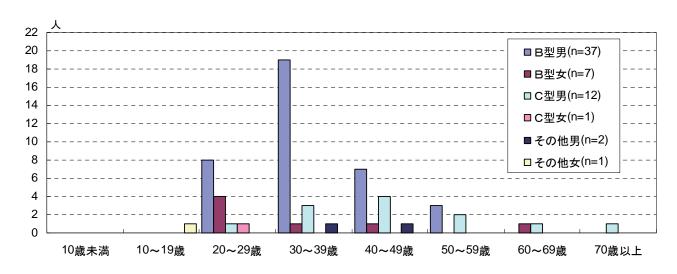
C型肝炎 13 人の性別は、男性 12 人、女性 1 人で、年齢は 20 歳代 2 人、30 歳代 3 人、40 歳代 4 人、50 歳代 2 人、60 歳代 1 人、70 歳代 1 人であった。推定感染地はすべて国内で、推定感染経路は性的接触 6 人(すべて同性間)、静注薬物常用 1 人、針等の鋭利なものの刺入による感染 2 人、不明 4 人であった。

サイトメガロウイルス肝炎 2 人は、いずれも男性で年齢は 30 歳代 1 人、40 歳代 1 人であり、推定 感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

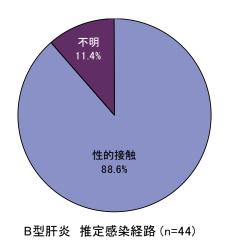
EB ウイルスの1人は10歳代の女性であり、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

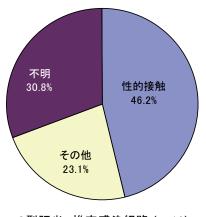


ウイルス性肝炎 週別届出数 (n=60)



ウイルス性肝炎 性別・年齢階級別届出数 (n=60)



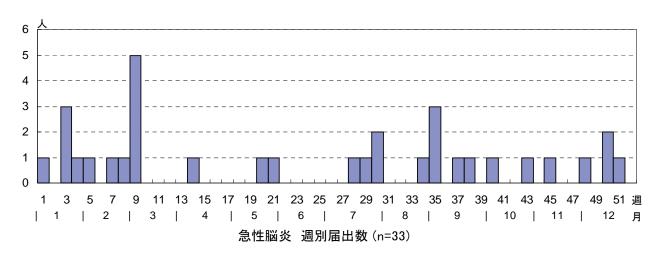


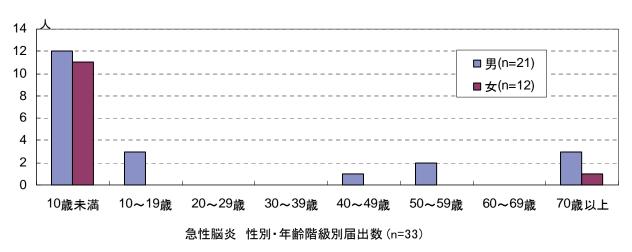
C型肝炎 推定感染経路 (n=13)

③ 急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)

急性脳炎は33人の届出があった。病原体はヒトヘルペスウイルス9件、インフルエンザウイルス4件、ロタウイルス2件、ムンプスウイルス1件、RSウイルス1件、エンテロウイルス1件、トキソプラズマ1件、水痘帯状疱しんウイルス疑い1件、不明13件であった。

性別は男性 21 人、女性 12 人で、年齢は 10 歳未満 23 人 (うち 5 歳未満 20 人)、10 歳代 3 人、40 歳代 1 人、50 歳代 2 人、70 歳以上 4 人であった。推定感染地はすべて国内であった。





急性脳炎届出例 (n=33)

受理日	受理週	性別	年齢	病原体	症状•所見	推定感染地
1/4	1	女	1	不明	発熱、意識障害	国内
1/16	3	男	2	RS ウイルス	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害、髄液 細胞数の増加	国内
1/18	3	男	1	ヒトヘルペスウイルス7型	発熱、痙攣、意識障害	国内
1/19	3	女	84	ヒトヘルペスウイルス (単純ヘルペスウイルス)	発熱、項部硬直、意識障害、髄液細 胞数の増加	国内
1/26	4	男	3	インフルエンザウイルス A 型	発熱、痙攣、意識障害	国内
2/2	5	女	1	ヒトヘルペスウイルス 6 型	発熱、痙攣、意識障害	国内
2/16	7	男	4	インフルエンザウイルス A 型	発熱、意識障害	国内
2/23	8	女	5	インフルエンザウイルス B 型	発熱、痙攣、意識障害	国内
2/27	9	男	76	不明	発熱、意識障害	国内
2/29	9	男	2	不明	発熱、痙攣、意識障害	国内
3/2	9	男	2	ムンプスウイルス疑い	発熱、痙攣、意識障害、その他(CT で脳浮腫 挿管して人工呼吸管理)	国内
3/2	9	男	8	インフルエンザウイルス B 型	発熱、嘔吐、意識障害	国内
3/2	9	男	1	ヒトヘルペスウイルス 6 型	発熱、痙攣、意識障害、その他(人工 呼吸管理中)	国内
4/6	14	女	3	ロタウイルス	痙攣、意識障害、髄液細胞数の増 加	国内
5/15	20	女	0	不明	発熱、痙攣、意識障害、髄液細胞数の増加、その他(無呼吸)	国内
5/25	21	女	1	ロタウイルス	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害	国内
7/11	28	女	2	水痘帯状疱しんウイルス疑い	意識障害、その他(歩行障害)	国内
7/20	29	男	45	不明	発熱、痙攣、意識障害、髄液細胞数 の増加	国内
7/26	30	男	0	ヒトヘルペスウイルス 6 型	発熱、痙攣、意識障害	国内
7/26	30	男	77	ヒトヘルペスウイルス (単純ヘルペスウイルス)	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害、髄液 細胞数の増加	国内
8/20	34	女	1	不明	発熱、痙攣、意識障害、その他(下 痢)	国内
8/28	35	女	2	不明	発熱、痙攣、意識障害、その他(両類 部痛)	国内
8/29	35	男	0	ヒトヘルペスウイルス 6 又は7型	発熱、痙攣、意識障害、その他(発し ん)	国内
8/29	35	男	1	不明	発熱、痙攣、意識障害	国内
9/12	37	女	7	エンテロウイルス	発熱、頭痛、嘔吐、痙攣、意識障害	国内
9/18	38	男	2	ヒトヘルペスウイルス7型	発熱、痙攣、意識障害	国内
10/4	40	男	53	トキソプラズマ	意識障害、髄液細胞数の増加、その 他(不随意運動、右不全マヒ)	国内
10/22	43	男	12	不明	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害、髄液 細胞数の増加	国内
11/7	45	女	3	不明	発熱、痙攣、意識障害、その他(片麻 痺)	国内
11/27	48	男	12	不明	発熱、頭痛、嘔吐、痙攣、意識障害	国内
12/11	50	男	13	不明	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害	国内
12/13	50	男	51	不明	発熱、頭痛、意識障害、髄液細胞数 の増加	国内
				ヒトヘルペスウイルス		国内

④ クリプトスポリジウム症

クリプトスポリジウム症は2人届出があり、いずれも男性で、年齢は20歳代であった。 推定感染地はケニア1人、台湾1人で、推定感染経路は、経口感染1人、不明1人であった。

クリプトスポリジウム症届出例 (n=2)

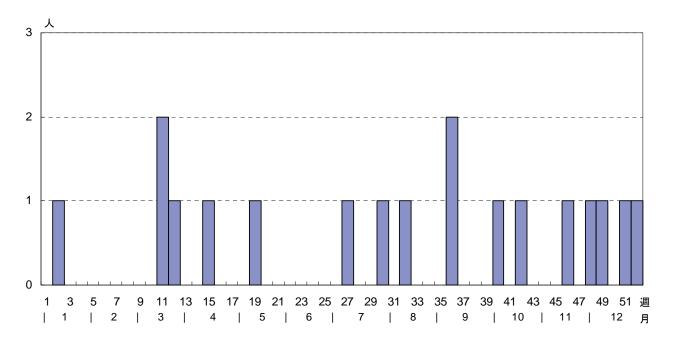
受理日	受理週	性別	年齢	症状	推定感染地	推定感染経路
1/24	4	男	25	下痢	台湾	経口感染
4/17	16	男	20	下痢	ケニア	不明

⑤ クロイツフェルト・ヤコブ病

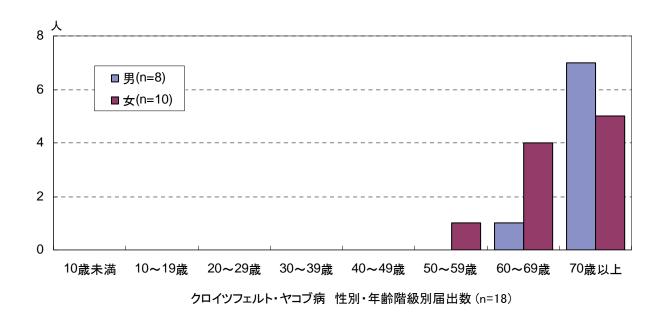
クロイツフェルト・ヤコブ病は 18 人届出があり、すべて孤発性プリオン病・古典型 CJD (ほぼ確実 10 人、疑い 8 人) であった。

性別は男性 8 人、女性 10 人で、年齢は 50 歳代 1 人、60 歳代 5 人、70 歳以上 12 人であった。

症状は、進行性認知症が 18 人全員に認められたほか、ミオクローヌス 15 人 (83.3%)、錐体外路症状 11 人 (61.1%)、錐体路症状 10 人 (55.6%)、無動性無言状態 10 人 (55.6%)、記憶障害 10 人 (55.66%)、筋強剛 10 人 (55.6%)、精神・知能障害 9 人 (50.0%)、小脳症状 6 人 (33.3%)、視覚異常 6 人 (33.3%)であった。



クロイツフェルト・ヤコブ病 週別届出数 (n=18)



クロイツフェルト・ヤコブ病届出例 (n=18)

	受理日	受理週	性別	年齢	病 型	確実度	推定感染地
1	1/11	2	女	87	弧発性-古典型 CJD	ほぼ確実	
2	3/14	11	女	70	弧発性-古典型 CJD	疑い	
3	3/15	11	男	73	弧発性-古典型 CJD	ほぼ確実	国内
4	3/23	12	男	77	弧発性-古典型 CJD	ほぼ確実	
5	4/10	15	男	77	弧発性-古典型 CJD	疑い	
6	5/10	19	女	62	弧発性-古典型 CJD	ほぼ確実	
7	7/5	27	男	81	弧発性-古典型 CJD	ほぼ確実	
8	7/27	30	女	59	弧発性-古典型 CJD	疑い	
9	8/8	32	男	68	弧発性−古典型 CJD	ほぼ確実	
10	9/3	36	女	60	弧発性−古典型 CJD	ほぼ確実	国内
11	9/7	36	男	71	弧発性-古典型 CJD	ほぼ確実	
12	10/1	40	女	62	弧発性-古典型 CJD	ほぼ確実	
13	10/15	42	男	86	弧発性−古典型 CJD	ほぼ確実	
14	11/15	46	女	83	弧発性-古典型 CJD	疑い	
15	11/28	48	女	85	弧発性-古典型 CJD	疑い	
16	12/7	49	女	85	弧発性-古典型 CJD	疑い	
17	12/20	51	女	67	弧発性-古典型 CJD	疑い	国内
18	12/28	52	男	78	弧発性-古典型 CJD	疑い	

クロイツフェルト・ヤコブ病届出例 (n=18) 別表

				症 状												診断方法				
	発病日	初診日	診断日	進行性認知症	ミオクローヌス	錐体路症状	錐体外路症状	小脳症状	視覚異常	無動性無言状態	記憶障害	精神·知能障害	臨床的に頑固な不眠	異常感覚	痙性対麻痺	筋強剛	その他	脳波 PSD	脳 MRI	14-3-3 蛋白
1	20110600	20111114	20120903	+	+			+			+							+	+	
2	20120600	20120907	20121012	+	+	+			+	+	•••••							+	+	
3	20111100	20111208	20120104	+	+	+	+			+	+	+						+	+	+
4	20111200	20120316	20121225	+	+	+	+			+	+					+			+	
5	20120900	20121015	20121122	+	+	+	+			+						+			+	
6	20110800	20120321	20120405	+	+	+	+			+	••••••					+			+	
7	20120629	20120506	20120927	+	+					+	+	+				+		+	+	
8	20120600	20120625	20120628	+	+	+		+	+		+	+				+		+	+	
9	20111000	20120307	20120323	+	+	+		+			•							+	+	
10	20120400	20120903	20120903	+	+		+	+	+		•	+				+		+	+	
11	20111100	20120131	20120314	+			+			+	+	+							+	
12	20111212	20120130	20120309	+	+			+		+	+	+						+	+	+
13	20120300	20120428	20120507	+	••••••		+		+		+	+						+	+	
14	20120507	20120705	20120726	+	+		+	+	+		+	+				+			+	•••••
15	20110700	20121016	20121114	+	+	+	+				•••••					+			+	
16	20120800	20121124	20121206	+		+			+			+							+	•••••
17	20120500	20120518	20120724	+	+	+	+			+	•••••					+		+	+	
18	20100600	20110805	20121218	+	+		+			+	+					+			+	+
計				18	15	10	11	6	6	10	10	9				10		10	18	3

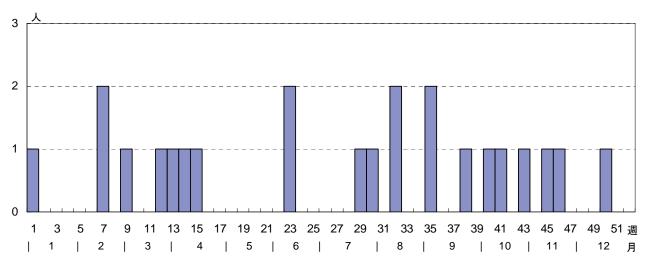
⑥ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は23人届出があり、血清型はA群15件、B群1件、G群6件、不明1件であった。

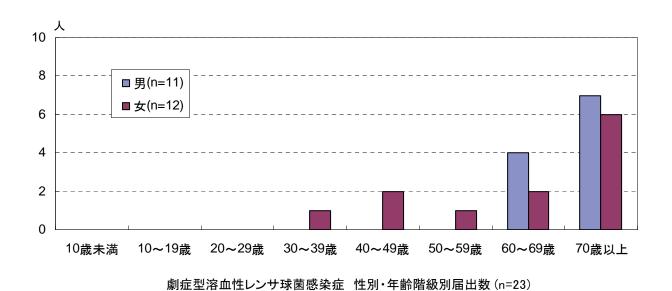
性別は男性 11 人、女性 12 人で、年齢は 30 歳代 1 人、40 歳代 2 人、50 歳代 1 人、60 歳代 6 人、70 歳以上 13 人であった。

推定感染地は国内 22 人、国外 1 人(中国)で、推定感染原因は創傷感染 11 人、接触感染 1 人、その他 11 人であった。

死亡は9人(60歳代3人、70歳代4人、80歳代2人)報告された。



劇症型溶血性レンサ球菌感染症 週別届出数 (n=23)



■A群 ■B群 □C群

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □G群 ■不明 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 血清群別割合 (n=23)

⑦ 後天性免疫不全症候群

後天性免疫不全症候群 (AIDS) は 461 人届出があり、AIDS 患者 92 人、HIV 感染者 309 人、その 他 60 人であった。

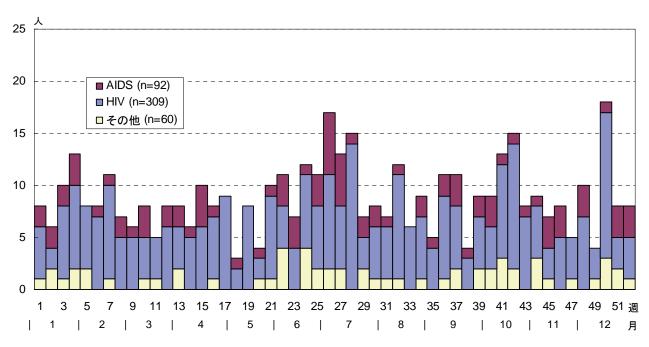
AIDS 患者 92 人の性別は男性 88 人、女性 4 人で、年齢は 10 歳代 1 人、20 歳代 5 人、30 歳代 28 人、40 歳代 34 人、50 歳代 20 人、60 歳代 2 人、70 歳以上 2 人であった。

HIV 感染者・その他の 369 人では、男性 358 人、女性 11 人で、年齢は 10 歳代 5 人、20 歳代 106 人、30 歳代 133 人、40 歳代 90 人、50 歳代 21 人、60 歳代 13 人、70 歳以上 1 人であった。

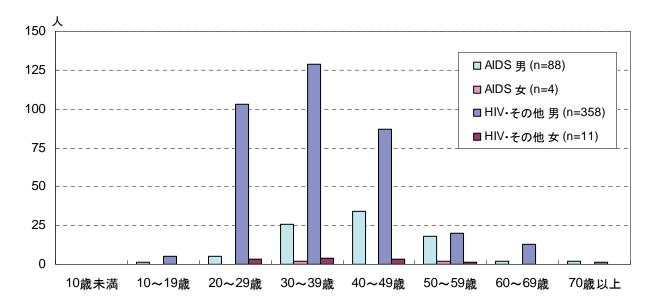
推定感染地は国内 384 人、国外 18 人、国内又は国外 2 人、不明 57 人であった。国外感染例 18 人を推定感染地域別にみると、東南アジア 5 人、東アジア 5 人、ヨーロッパ 2 人、北アメリカ 1 人、アフリカ 1 人、2 地域以上 1 人、その他 2 人、渡航先不明 1 人であった。推定感染国別では、タイ 4 人、中国 3 人、イギリス 1 人、インドネシア 1 人、ガーナ 1 人、ブルガリア 1 人、韓国 1 人、台湾 1 人、米国 1 人、タイ又は中国 1 人、その他 2 人、渡航先不明 1 人であった。

感染経路は性的接触 412 人 (同性間 327 人、異性間 69 人、両性間 16 人)、2 経路以上 3 人 (異性間性的接触又は静注薬物使用 2 人、同性間性的接触又は静注薬物使用 1 人)、その他 11 人、不明 35 人であった。

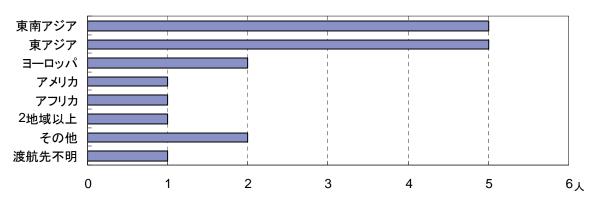
AIDS と診断した指標疾患は92人中、ニューモシスティス肺炎58人、カンジダ症17人、サイトメガロウイルス感染症10人、非ホジキンリンパ腫5人、カポジ肉腫5人、HIV消耗性症候群5人、活動性結核4人、HIV脳症4人、クリプトコッカス症3人、化膿性細菌感染症2人、トキソプラズマ脳症2人、原発性脳リンパ腫1人、進行性多巣性白質脳症1人、反復性肺炎1人、単純ヘルペスウイルス感染症1人であった。これらの中には複数疾患発症者の報告14人(2疾患7人、3疾患4人、4疾患1人、5疾患1人、6疾患1人)が含まれている。



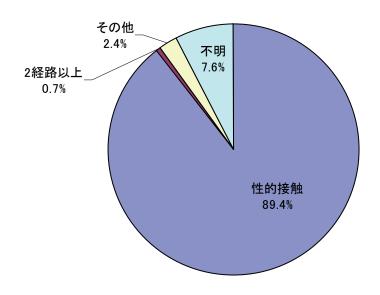
後天性免疫不全症候群 週別届出数(n=461)



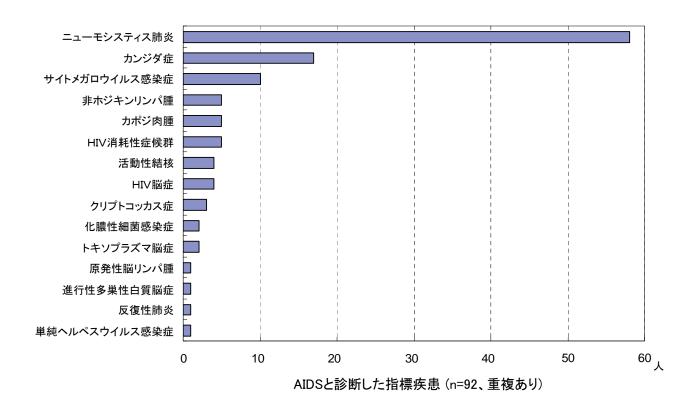
後天性免疫不全症候群 性別·年齡階級別届出数(n=461)



後天性免疫不全症候群 国外感染例の推定感染地域別届出数 (n=18)



後天性免疫不全症候群 推定感染経路 (n=461)

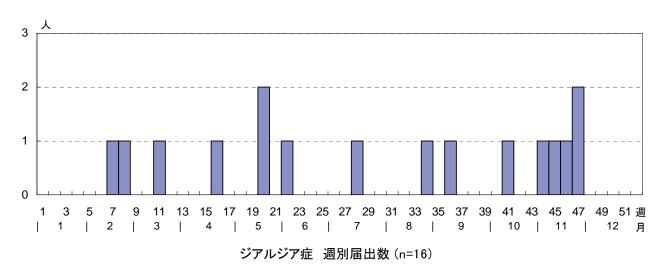


⑧ ジアルジア症

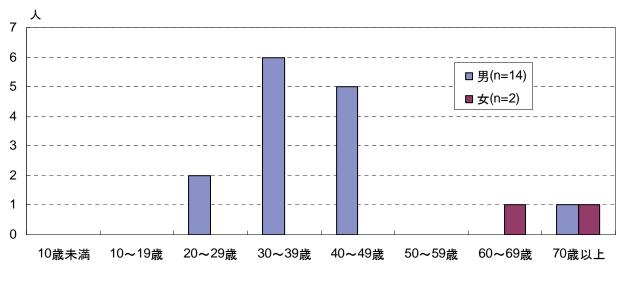
ジアルジア症は 16 人届出があった。性別は男性 14 人、女性 2 人で、年齢は 20 歳代 2 人、30 歳代 6 人、40 歳代 5 人、60 歳代 1 人、70 歳以上 2 人であった。

推定感染地は国内 10 人、国外 5 人、国内又は国外 1 人であった。国外感染例 5 人を推定感染地域別にみると、アフリカ 2 人、東南アジア 1 人、南アジア 1 人、2 地域以上 1 人で、推定感染国はインド 1 人、ナイジェリア 1 人、ベトナム 1 人、マラウイ 1 人、タイ又は中国 1 人あった。

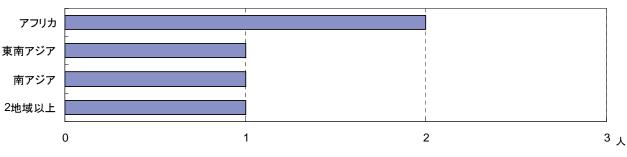
推定感染経路は、飲食物による経口感染 6人、性的接触 7人(同性間 5人、異性間 1人、性別不明 1人)、2経路以上 2人、その他 1人であった。



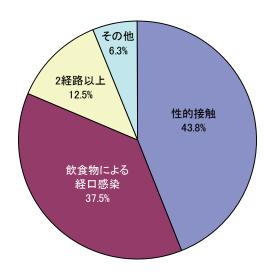
45



ジアルジア症 性別・年齢階級別届出数 (n=16)



ジアルジア症 国外感染例の推定感染地域別届出数 (n=5)



ジアルジア症 推定感染経路 (n=16)

ジアルジア症届出例 (n=16)

受理日	受理週	性別	年齢	症 状	推定感染地	推定感染経路
2/13	7	男	40	下痢	国内又はタイ	性的接触(性別不明)
2/23	8	男	44	下痢	国内	異性間性的接触
3/16	11	男	75	腹部不快感	国内	不明
4/16	16	男	31	腹部不快感、下痢	国内	同性間性的接触
5/18	20	男	32	腹部不快感、下痢	国内	同性間性的接触
5/18	20	女	65	腹部不快感、下痢	インド	—————————————————————————————————————
5/28	22	男	34	その他(胸の圧迫感、 倦怠感、腹痛)	マラウイ	経口感染 又は水系感染
7/12	28	男	41	腹部不快感、下痢	国内	同性間性的接触
8/21	34	男	37	下痢	ナイジェリア	経口感染
9/4	36	男	32	下痢	国内	同性間性的接触
10/12	41	男	40	下痢	ベトナム	経口感染
11/2	44	男	42	下痢	国内	経口感染
11/5	45	男	37	下痢	国内	同性間性的接触
11/16	46	男	28	下痢	タイ又は中国	—————————————————————————————————————
11/19	47	男	24	腹部不快感、下痢	国内	経口感染又は 同性間性的接触
11/22	47	女	79	腹部不快感、その他 (胆管狭窄)	国内	経口感染

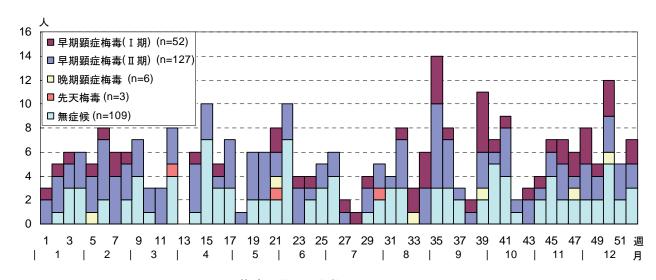
9 梅毒

梅毒は 297 人届出があった。早期顕症梅毒 I 期 52 人、早期顕症梅毒 II 期 127 人、晩期顕症梅毒 6 人、先天梅毒 3 人、無症候 109 人であった。

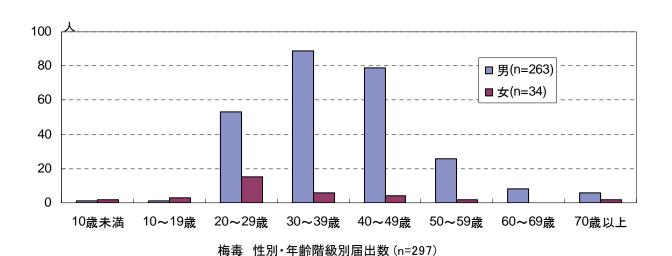
性別は男性 263 人、女性 34 人で、年齢は 5 歳未満 3 人、10 歳代 4 人、20 歳代 68 人、30 歳代 95 人、40 歳代 83 人、50 歳代 28 人、60 歳代 8 人、70 歳以上 8 人であった。

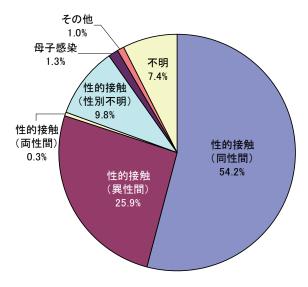
推定感染地は国内 289 人、国外 5 人、国内又は国外 3 人であった。国外感染例 5 人の推定感染国は、台湾 1 人、中国 1 人、渡航先不明 3 人であった。

推定感染経路は性的接触 268 人(同性間 161 人、異性間 77 人、両性間 1 人、性別不明 29 人)、母子感染 4 人、静注薬物常用 1 人、2 経路以上 2 人、不明 22 人であった。



梅毒 週別届出数(n=297)





梅毒 推定感染経路(n=297)

⑪ 破傷風

破傷風は 5 人届出があった。性別は男性 1 人、女性 4 人で、年齢は 70 歳代 2 人、80 歳代が 3 人であった。

推定感染地はすべて国内で、推定感染経路は創傷感染 2 人、針等の鋭利なものの刺入による感染 1 人、不明 2 人であった。

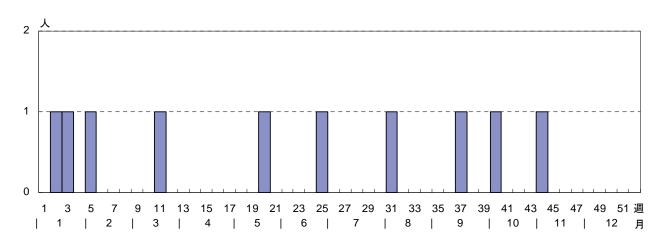
受理日	受理週	性別	年齢	診断方法	症 状	推定感染地	推定感染経路
3/26	13	男	82	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、 発語障害、呼吸困難(痙攣性)	国内	創傷感染 (第一足指)
6/5	23	女	81	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、 痙笑	国内	針等の鋭利なも のの刺入による 感染
6/8	23	女	79	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害	国内	不明
9/28	39	女	73	臨床決定	開口障害、嚥下障害、痙笑	国内	不明
11/20	47	女	87	臨床決定	筋肉のこわばり、開口障害、発語障害、 痙笑、強直性痙攣、呼吸困難(痙攣 性)、反弓緊張	国内	創傷感染 (転倒・後頭部)

破傷風届出例 (n=5)

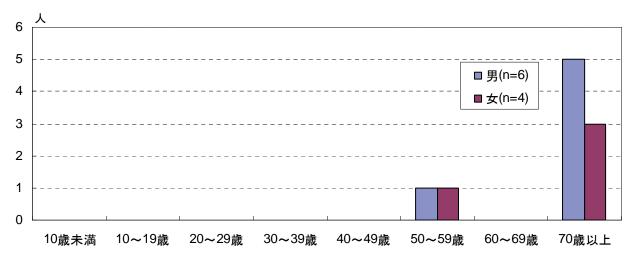
⑪ バンコマイシン耐性腸球菌感染症

バンコマイシン耐性腸球菌感染症は 10 人届出があった。菌種は Enterococcus gallinarum 2 件、E. casseliflavus 2 件、E. faecium 2 件、E. faecalis 2 件、E. rafinosus 1 件、不明 1 件であり、耐性遺伝子型は vanA 2 件、vanB 1 件、vanC 4 件、不明 3 件であった。

性別は男性 6 人、女性 4 人で、年齢は 50 歳代 2 人、70 歳以上 8 人であった。推定感染地は国内 8 人、国外 2 人(ブラジル 1 人、ペルー又は米国 1 人)であった。



バンコマイシン耐性腸球菌感染症 週別届出数 (n=10)



バンコマイシン耐性腸球菌感染症 性別·年齢階級別届出数 (n=10)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 菌種と耐性遺伝子型 (n=10)

菌種	vanA	vanB	vanC	不 明	計
E.rafinosus	1				1
E.faecalis	1	1			2
E.casseliflavus			2		2
E.gallinarum			2		2
E. faecium				2	2
不明				1	1
計	2	1	4	3	10

バンコマイシン耐性腸球菌感染症届出例 (n=10)

受理日	受理週	性別	年齢	検体	菌 種	遺伝子型		推定 感染地	推定 感染経路
1/13	2	男	51	腹水	H gallinariim van('		発熱、腹膜炎、 菌血症	国内	下部消化 管穿孔
1/17	3	女	82	血液	E.gallinarum	vanC	菌血症	国内	尿路感染
2/2	5	女	76	腹水	E.casseliflavus	vanC	発熱、腹膜炎、その 他(腹痛)	国内	不明
3/14	11	男	74	尿	E.faecium		尿路感染症	国内	不明
5/17	20	男	81	血液	E.casseliflavus	vanC	発熱、その他(胆嚢炎)	国内	経口感染
6/18	25	女	90	便	E.faecium		発熱、腸炎	国内	不明
8/2	31	男	73	褥瘡	E.faecalis	vanA	発熱、腸炎、菌血症、その他(褥瘡)	ブラジル	不明
9/12	37	男	74	便 胆汁	E.faecalis	vanB	その他(胆管炎)	国内	不明
10/2	40	女	58	血液			発熱、菌血症	国内	不明
11/2	44	男	70	便	E.rafinosus	vanA 腸炎		ペルー又は アメリカ	接触感染

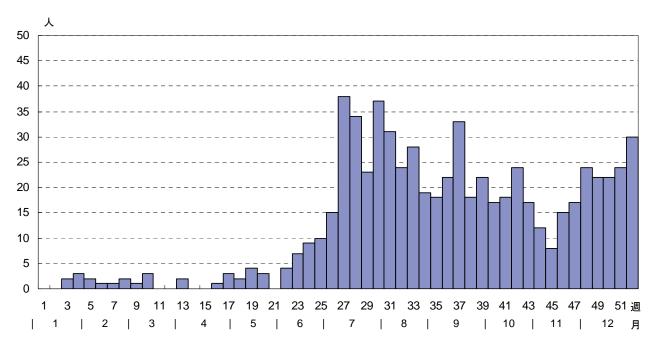
① 風しん

風しんは 672 人届出があり、検査診断例 528 人、臨床診断例 144 人であった。検査診断例のうち、PCR で陽性が確認された数は 128 件であった。

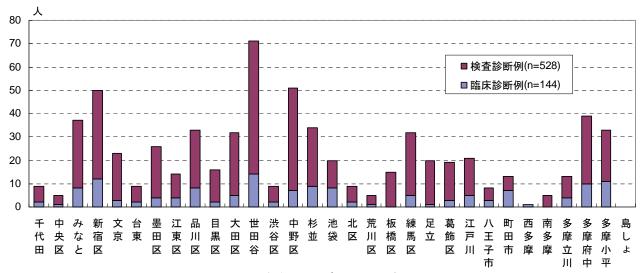
性別は男性 530 人、女性 142 人で、年齢は 10 歳未満 18 人 (うち 5 歳未満 14 人) 10 歳代 56 人、20 歳代 217 人、30 歳代 203 人、40 歳代 133 人、50 歳代 41 人、60 歳代 4 人であった。20 歳以上の症例 の占める割合は男性で 91.9%(487/530)、女性で 78.2%(111/142)であった。推定感染地は国内 661 人、国外 7 人、国内又は国外 4 人であった。国外感染例 7 人の推定感染地域は、東南アジア 4 人、東アジア 2 人、南アジア 1 人であり、推定感染国はタイ 2 人、中国 2 人、インド 1 人、インドネシア 1 人、ベトナム 1 人であった。

風しん含有ワクチン接種歴は、2回接種7人、1回接種44人、接種なし163人、不明458人であった。接種なし又は不明の割合は、男性では94.0%(498例)、女性では86.6%(123例)であった。女性のうち15~44歳を出産年齢とすると、この年齢群に含まれる女性は110人であり、女性全体の77.5%を占める。これらの例におけるワクチン接種歴は接種なし70例(63.6%)、1回接種11例(10.0%)、2回接種3例(2.7%)、不明26例(23.6%)であった。

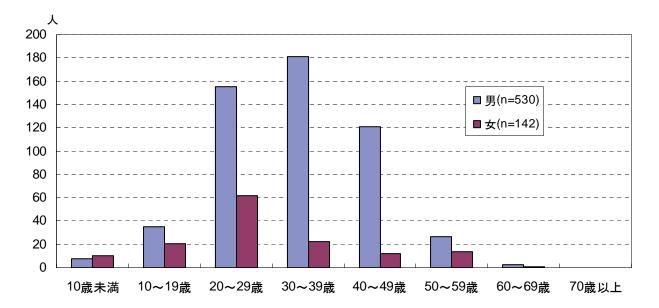
風しんは 2008 年から全数報告対象疾患となったが、2008 年から 2011 年までの年間報告数は、それぞれ 46 人、19 人、15 人、32 人であった。2012 年の 22 週から風しんの報告数は増加し、27 週には 38 人となった。その後増減を繰り返しながら推移し、年間では 672 人と過去最多の報告数を記録した。成人男性、とくに定期ワクチン接種機会のなかった 30 歳代以上の男性が多く報告された。



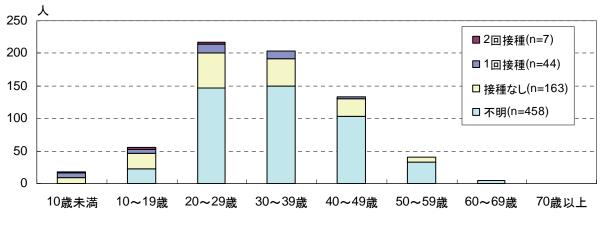
風しん 週別届出数 (n=672)



風しん 保健所別・病型別届出数 (n=672)



風しん 性別・年齢階級別届出数 (n=672)



風しん 年齢別・接種歴別届出数 (n=672)

風しん PCR 検査陽性数と推定感染地

風しん PCR 検査陽性数と推定感染地 PCR 推定感染地													
受理週	PCR												
	陽性数	国内	国外	国内·国外	推定感染国								
3		2											
4	1	2	1		ベトナム								
5	1(1)*	2											
6		1											
7		1											
8		2											
9	1	1											
10	1	3											
13		2											
16	1		1		中国								
17		3											
18		2											
19		3		1	フィリピン								
20	1	2		1	中国								
22		4											
23	3(1)*	7											
24	1	9											
25	2	10											
26	3	15											
27	16	38											
28	8	33	1		タイ								
29	6	23											
30	10	37											
31	9	31											
32	1	23	1		タイ								
33		28											
34	3	19											
35	6	18											
36	2	22											
37	<u>2</u>	33											
38	2	18											
39	2	21	1		インド								
40	<u>2</u>	17	1		121								
41	3	17	1		インドネシア								
42	3	23	1	1	フランス								
				1									
43	5	17											
44	<u>4</u> 2	<u>12</u>	1		 中国								
45		7	1										
46	6	15											
47	1	17											
48	1	24											
49	<u> </u>	22											
	5	22											
50													
50 51 52	5 5	24 30											

^{* ()}内は病原体定点からの検体数再掲

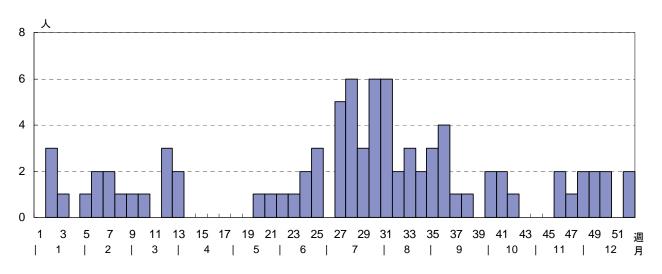
③ 麻しん

麻しんは84人届出があり、検査診断例33人、臨床診断例29人、修飾麻しん(検査診断例)22人であった。

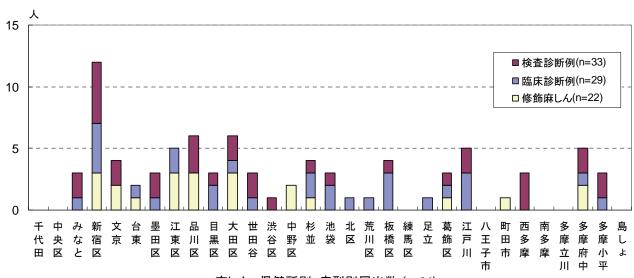
性別は男性 53 人、女性 31 人で、年齢は 10 歳未満 16 人 (うち 5 歳未満 13 人)、10 歳代 6 人、20 歳代 29 人、30 歳代 24 人、40 歳代 6 人、50 歳代 2 人、60 歳代 1 人であった。推定感染地は国内 77 人、国外 5 人 (タイ 2 人、インド 1 人、中国 1 人、タイ又はカンボジア 1 人)、国内又は国外 2 人であった。麻しん含有ワクチン接種歴は、2 回接種 2 人 (2.4%)、1 回接種 20 人 (23.8%)、接種なし 16 人 (19.0%)、不明 46 人 (54.8%) であった。

2012 年に PCR 検査での麻しん陽性は 11 例あり、その遺伝子型別の内訳は、D4 型 3 件、D8 型 2 件、D9 型 1 件、H1 型 1 件、型別不能 2 件、A 型(ワクチン株)2 件であった。2011 年同様、以前まで国内を循環していた D5 型の麻しんウイルスに替わり、ヨーロッパで循環している D4 型や、主に東南アジアを循環している D9 型の他、D8 型、H1 型などが検出された。

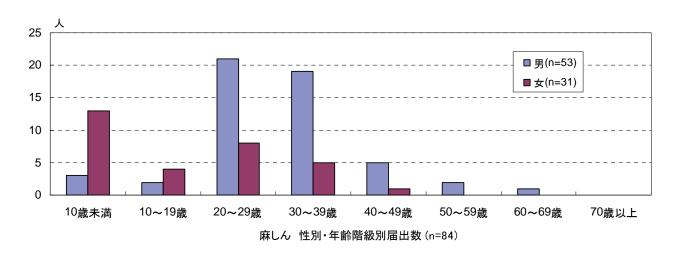
また肺炎合併の報告は1人で、年齢は1歳、麻しん含有ワクチン接種歴はなく、脳炎の併発はなかった。東京都内あるいはベトナムでの感染が推定され、遺伝子型はD4型であった。



麻しん 週別届出数 (n=84)



麻しん 保健所別・病型別届出数 (n=84)



35 ■2回接種(n=2) 30 25 ■1回接種(n=20) 20 □ 接種なし(n=17) 15 □ 不明(n=45) 10 5 0 10~19歳 20~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 10歳未満 70歳以上 麻しん 年齢別・接種歴別届出数 (n=84)

麻しんウイルス 遺伝子型別検出状況

受理週	D4 型	D8 型	D9 型	H1 型	型別不能	A 型	推定感染地
2 週		1					タイ
6週	2						国内又はベトナム、国内
7週			1				国内
20 週		1					タイ又はカンボジア
24 週					1		国内
29 週						2 (1)*	国内
31 週	1						国内
35 週					1 (1)*		国内
40 週				1			国内
計	3	2	1	1	2	2	

^{*()}内は病原体定点からの検体数再掲

注: A型はワクチン株であり、麻しん患者の届出基準に当てはまらないため患者届出数には含まれない。

以下の疾患は届出がなかった。

髄膜炎菌性髄膜炎、先天性風しん症候群、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症

表3-1(1) 一、二、三、四、五類(全数把握)感染症 週別患者報告数 2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

			- 類 二 類											三類					
			エ	ク	痘	南	~	マ	ラ	急	結	ジ	重	鳥へ	コ	細	腸	腸	パ
			ボ	IJ	そ	米	ス	1	ッ	性	核	フ	症	イH	レ	菌	管	チ	ラ
			ラ	11	う	出	7	ル	サ	灰		テ	急	ン 5	ラ	性	出	フ	チ
			出	ア		Ш́.		ブ	熱	白	*	IJ	性	フN		赤	<u>ш</u>	ス	フ
週	期	間	<u></u>	•		熱		ル		髄		ア	呼	ル1		痢	性		ス
2.5	791	IH1	熱	コ				グェ		炎			吸	エン			大		
				ンゴ				病					器	ンザ			腸菌		
				出出									症候	יי			感感		
				血									群				染		l
				熱									741				症		
1	1. 2~	1 8		7111							44								1
2	1. 9~										71						1		
3	1.16~	1. 22									97					2			
4	1.23∼										104					2			
5	1.30~										93								
6	2. 6~										89					2	1	1	1
7	2.13~										82					1	1	2	
8	2.20~										94					1	2		\vdash
10	2. 27∼ 3. 5∼										76 76					2	2		
10 11	3. 5∼ 3. 12∼										117					5			
12	3. 12~ 3. 19~										60					1	1		
13	3. 26~										104					2	1	1	
14	4. 2~										82						2	_	1
15	4. 9~										87						2		1
16	4. 16~	4. 22									83						3		
17	4. 23∼										105					2	1		
18	5.30~										61					2	3		<u> </u>
19	5. 7~										93					5	3	1	—
20 21	5. 14∼ 5. 21∼										86 75						3	1	
22	5. 21°° 5. 28°										96					1	2		
23	6. 4~										111					1	6		
24	6.11~										80						5		1
25	6. 18∼										105					1	13		
26	6.25∼										81						4		
27	7. 2~										99					1	9		
28	7. 9~										113					- 1	10		—
29 30	7. 16~ 7. 23~										100 85					1	7		
31	7. 30~										98					3	10		
32	8. 6~										96					4	9		
33	8. 13~										93					2	14		
34	8. 20~										83					3	10	1	
35	8. 27~	9. 2									75					1	10		1
36	9. 3∼	9. 9									93					1	12	1	1
37	9.10~										104					1	12	1	
38	9.17~										53					1	10		
39	9. 24~										87					0	7	1	1
40	10. 1~1 10. 8~1										85 67					2	10		—
41	10. 8~1 10. 15~1										84					3	27		
43	10. 13										90					1	7	1	1
44	10. 29~										103					1	4	1	1
45											78					1	4		
46	11. 12~1	11. 18									96					1	4		
47	11.19~										74					2	2		
48	11. 26~										66					3	2		
49											82					1	3	3	
	12. 10~1										98					4	1		-
	12. 17~1										88					2	1		1
52	12. 24~										94					75	259	19	1 11
Ь	合 計										4,536					75	258	13	11

^{* 2013}年5月1日現在の報告数

表3-1(2) 一、二、三、四、五類(全数把握)感染症 週別患者報告数 2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

		四類												
週	期間	E型肝炎	A 型肝炎	エキノコックス症	回帰熱	コクシジオイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症		
1	1. 2~ 1. 8													
2	1. 9~ 1.15	1							2			1		
3	1.16~ 1.22	1							1	1	2			
4	1. 23~ 1. 29							1	2		0			
<u>5</u>	1.30~ 2. 5	1									3			
7	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	1 2	1						1		1			
8	2.10° 2.13° 2.20° 2.26°								1		1			
9	2. 27~ 3. 4								1		1			
10	3. 5∼ 3.11										1			
11	3. 12~ 3. 18		2						3	1	2			
12	3. 19~ 3. 25	1	1							0	4			
13 14	$3.26 \sim 4.1$ $4.2 \sim 4.8$	1	1							2	1			
15	4. 2~ 4. 8 4. 9~ 4. 15	1	1						1		1	1		
16	4. 16~ 4. 22	1	1						1	1	1	1		
17	4. 23~ 4. 29	_							_	_				
18	5.30∼ 5. 6									2				
19	5. $7 \sim 5.13$	1									2			
20	5. 14~ 5. 20		4						0		2	-		
21 22	$5.21 \sim 5.27$ $5.28 \sim 6.3$		3						2	1	4	1		
23	$6. \ 4 \sim 6.10$		3						1		1			
24	$6.11 \sim 6.17$		3					1	1		-			
25	6. 18~ 6. 24		2							1	3			
26	6.25~ 7. 1								1	1	1			
27	7. 2~ 7. 8		1					1	3	1	5			
28 29	7. $9 \sim 7.15$ 7. $16 \sim 7.22$	1	1								1			
30	7.10° 7.22 $7.23 \sim 7.29$	1	1								2			
31	7. 30~ 8. 5								1					
32										1				
33	8.13~ 8.19		1						3		2			
34	8. 20~ 8. 26		1						2	2	1			
35 36	$8.27 \sim 9.2$ $9.3 \sim 9.9$								2 4	2	1 3	1		
37	$9.3 \sim 9.9$ $9.10 \sim 9.16$					1			4	1	3	1		
38	$9.17 \sim 9.23$					1			1	1	2			
39			1						2					
40		1					1		1	1	2			
41	10. 8~10.14	2					1		4					
42	10. 15~10. 21	1	1				1		1	1	2			
43	$10.22 \sim 10.28$ $10.29 \sim 11.4$	1						1	2 3			1		
45	10.29° 11. 4	1	1					1	1		2	1		
46	11. 12~11. 18	1	2						2	1	1			
47	11.19~11.25		1					10		1	2			
48	11. 26~12. 2	2	2							1	3	1		
49	12. 3~12. 9	1						2	2	1	1			
50	$12.10 \sim 12.16$ $12.17 \sim 12.23$	1		1	1			1	1		1			
51 52	$12.17 \sim 12.23$ $12.24 \sim 12.30$	1		1	1			1 2			1 2			
JZ	合計	21	35	1	1	1	3	19	56	24	60	6		
	н н	41	JJ	1	1	1	J	1.0	50	47	00	U		

表3-1(3) 一、二、三、四、五類(全数把握)感染症 週別患者報告数 2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

		五 類													
週	期間	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻 し ん	
1	1. 2~ 1. 8	1		1			1	8		3					
2	1. 9~ 1.15	3	1			1		6		5		1		3	
3	1.16~ 1.22	2		3				10		6		1	2	1	
4	1.23~ 1.29	5	2	1	1			13		6			3	<u> </u>	
5	1.30~ 2.5	4	2	1				8		5		1	2	1	
6	2. 6~ 2.12	5	1	-			0	8	1	8			1	2	
7 8	$2.13 \sim 2.19$ $2.20 \sim 2.26$	5 5	2	1 1			2	11 7	1	6		 	1 2	2	
9	$2.27 \sim 3.4$	2	4	5			1	6	1	7			1	$\frac{1}{1}$	
10	$\frac{2.27}{3.5} \sim 3.11$	4	1	U			1	8		3			3	1	
11	3. 12~ 3. 18	3	1			2		5	1	3		1			
12	3. 19∼ 3. 25	6	2			1	1	8		8				3	
13	3.26~ 4. 1	1	1				1	8			1		2	2	
14	4. 2~ 4. 8	2	1	1			1	6		6				<u> </u>	
15	4. 9~ 4.15	2	1		- 1	1	1	10	1	10			1	⊢—	
16 17	4. 16~ 4. 22 4. 23~ 4. 29	2 6			1			8	1	5 7			3	 	
18	$\frac{4.23}{5.30}$ $\frac{4.29}{5.6}$	2						3		1			2		
19	$5.7 \sim 5.13$	1	1			1		8		6			4		
20	5. 14~ 5. 20	8	2	1		1		4	2	6		1	3	1	
21	5. 21~ 5. 27	1	1	1				10	_	8				1	
22	5.28∼ 6. 3	5						11	1	10			4	1	
23	6. 4~ 6.10	2	1				2	7		4	2		7	1	
24	6.11~ 6.17	2	1					12		4		-	9	2	
25 26	$6.18 \sim 6.24$ $6.25 \sim 7.1$	1 4	2 3					11 17		5 6		1	10 15	3	
27	$\frac{0.23^{\circ}}{7.2^{\circ}}$ 7. 1	5	1			1		13		2			38	5	
28	7. $9 \sim 7.15$	2	1	1		1		15	1	1			34	6	
29	7.16~ 7.22	3	_	1			1	7	_	4			23	3	
30	$7.23 \sim 7.29$	3		2		1	1	8		5			37	6	
31	7.30~ 8. 5	3	1					7		4		1	31	6	
32	8. 6~ 8.12	7				1	2	12		8			24	2	
33	$8.13 \sim 8.19$ $8.20 \sim 8.26$	3	1	1				6 9	1	3 6			28 19	3 2	
35	$8.27 \sim 9.2$	6	2	3			2	5	1	14			18	3	
36	9. 3~ 9. 9	7	1			2		11	1	8			22	4	
37	9.10~ 9.16	10	2	1				11		3		1	33	1	
38	9.17~ 9.23	5	2	1			1	4		2	-		18	1	
39	9.24~ 9.30	4	1	4		-1	4	9		11	1	-	22		
40	$10. 1 \sim 10. 7$ $10. 8 \sim 10.14$	3 5	3	1		1	1	9	1	7		1	17 18	2 2	
42	$10.15 \sim 10.14$ $10.15 \sim 10.21$	2	1			1	1	15	1	2			24	1	
43	10. 22~10. 28	3	1	1		_	1	8		3			17		
44	10.29~11.4	3	4					9	1	4		1	12		
45	11. 5~11.11	3	1	1			1	7	1	7			8		
46	11. 12~11. 18	3	2			1	1	8	1	7	-		15	2	
47	$11.19 \sim 11.25$ $11.26 \sim 12.2$	7	1	1		1		5 10	2	6	1		17 24	1 2	
48	$11.26 \sim 12.2$ $12.3 \sim 12.9$	6	1	1		1		4		8 5			22	2	
50	$\frac{12. \ 3^{\circ} \cdot 12. \ 9}{12. \ 10^{\sim} 12. \ 16}$	4	3	2		1	1	18		12			22	2	
51	$12.17 \sim 12.23$	6	3	1		1		8		5			24		
52	12.24~12.30	6	2			1		8		7			30	2	
	合 計	198	60	33	2	18	23	461	16	297	5	10		84	

表3-2(1) 一、二、三、四、五類(全数把握)感染症 保健所別患者報告数 2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

			-	一 類	Į				=	二類	į		三類				
保健所	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核 *	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
千代田									91					1	2		
中央区									65					2	4		
みなと									100					5	7	1	
新宿区									242					11	7	1	6
文京									114					7	7	2	1
台東									168							1	
墨田区									98					6	7	2	
江東区									158					1	10		
品川区									130					2	3		
目黒区									61					1	6		
大田区									204					7	17	1	
世田谷									205					4	15		1
渋谷区									72					3	6		
中野区									90						5		
杉並									130					1	4		
池袋									104					1	2		
北区									141					3	6		
荒川区									102					1			
板橋区									237					1	12	1	
練馬区									173						7		1
足立									274					3	9		
葛飾区									167						8		2
江戸川									213						7		
八王子市									122					1	8		
町田市									90						31		
西多摩									155						1		
南多摩									80					1	7		
多摩立川									146					1	11		
多摩府中									282					9	33	2	
多摩小平									314					3	15	2	
島しょ									8						1		
合 計									4,536					75	258	13	11

^{* 2013}年5月1日現在の報告数

表3-2(2) - 、二、三、四、五類(全数把握)感染症 保健所別患者報告数 2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

	四類												
保健所	E 型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	回帰熱	コクシジオイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症		
千代田	3	2								2			
中央区		3				1		2	1	1			
みなと	1	4						6	8	4			
新宿区		10		1		2		20	7	4	4		
文京	1	4						8	3	5			
台東										2			
墨田区		3						3	1		2		
江東区										1			
品川区	1		1					1					
目黒区	1	1						1		2			
大田区	5						1	9	2	4			
世田谷	1						10			2			
渋谷区	1						1			2			
中野区		2											
杉並		2						1		1			
池袋													
北区	1									2			
荒川区													
板橋区										4			
練馬区									1	1			
足立	1							1		3			
葛飾区	1									2			
江戸川										1			
八王子市		1						1		2			
町田市										1			
西多摩	1						3			5			
南多摩										1			
多摩立川	1	2					1	1		4			
多摩府中	2	1			1			2	1	4			
多摩小平													
島しょ							3						
合 計	21	35	1	1	1	3	19	56	24	60	6		

表3-2(3) - 、二、三、四、五類(全数把握)感染症 保健所別患者報告数 2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

	五類													
保健所	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	梅毒	破傷風	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	
千代田	14	2					7	1	2			9		
中央区	12		2			1	6	1	2			5		
みなと	19	6	1		1	1	57	2	33			37	3	
新宿区	28	21	1	1	2	2	113	9	153			50	12	
文京	19	2	2			2	34	1	17		3	23	4	
台東	4						8		6			9	2	
墨田区	3		3	1			17		3			26	3	
江東区	8						3		2			14	5	
品川区	3	2				2	6		5			33	6	
目黒区	2	2			1	1			3		1	16	3	
大田区	3	6	1			1	8		1		1	32	6	
世田谷	6	1			1		5	1	4			71	3	
渋谷区	7		3				93		2			9	1	
中野区	5					1	14		12	1		51	2	
杉並	2	8				1	5		2			34	4	
池袋	4		1			1	7		7			20	3	
北区	3						3		1			9	1	
荒川区	1	2	2				2		7		2	5	1	
板橋区	10	1			2	1	12		8	1		15	4	
練馬区	4					2	3					32		
足立	3				1	1			3			20	1	
葛飾区	2						5		4			19	3	
江戸川	2				2		4		5			21	5	
八王子市	5	2					6					8		
町田市	3		1				3		1			13	1	
西多摩	4	3	2				3		1	1		1	3	
南多摩	1						3		1			5		
多摩立川	5				1		5		2	1		13		
多摩府中	11	1	13		6	3	20		8	1		39	5	
多摩小平	5	1	1		1	3	9	1	2		3	33	3	
島しょ														
合 計	198	60	33	2	18	23	461	16	297	5	10	672	84	

表3-3(1) 一、二、三、四、五類(全数把握)感染症 年齢階級別患者報告数 2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

			-	一 类	頁				_	_ 類	į		三類				
年齢階級	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎		ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	鳥インフルエンザ	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
0歳									38						1		
1~4歳									114					1	35		
5~9歳									56					2	29	2	
10~14歳									42						25		
15~19歳									82					2	19		
20~24歳									214					11	30	4	4
25~29歳									288					12	24	1	1
30~34歳									279					12	16		3
35~39歳									286					9	10	1	1
40~44歳									297					7	15	4	
45~49歳									253					7	5		1
50~54歳									258					3	5		
55~59歳									273					4	4		
60~64歳									367					1	17	1	
65~69歳									286					1	10		
70歳以上									1,403					3	13		1
合 計									4,536					75	258	13	11

^{* 2013}年5月1日現在の報告数

表3-3(2) 一、二、三、四、五類(全数把握)感染症 年齢階級別患者報告数 2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

	四 類												
年齢階級	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	回帰熱	コクシジオイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症		
0歳		1											
1~4歳													
5~9歳		1						1					
10~14歳		1											
15~19歳						2	1	3	1				
20~24歳		2			1		8	8	4		1		
25~29歳		5		1		1	1	9	4	1			
30~34歳		1					1	12	5	2	1		
35~39歳	4	7					3	2	6				
40~44歳	1	5					1	8	3	3	1		
45~49歳	4	2						3	1	3	2		
50~54歳		5	1					1		5			
55~59歳	1	1						5		6			
60~64歳	3							2		5	1		
65~69歳	1	1					1	2		10			
70歳以上	7	3					3			25			
合 計	21	35	1	1	1	3	19	56	24	60	6		

表3-3(3) 一、二、三、四、五類(全数把握)感染症 年齢階級別患者報告数 2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

							五類	į					
年齢階級	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん
0歳			3						3			3	5
1~4歳			17									11	8
5~9歳			3									4	3
10~14歳	1	1	3									7	1
15~19歳	1						6		4			49	5
20~24歳	6	6		1			45	1	32			107	17
25~29歳	7	8		1			66	1	36			110	12
30~34歳	10	15					70	4	46			96	7
35~39歳	26	9				1	91	2	49			107	17
40~44歳	29	8				2	80	5	48			84	3
45~49歳	26	5	1				44		35			49	3
50~54歳	29	4	2			1	23		21		1	28	
55~59歳	23	1			1		18		7		1	13	2
60~64歳	22	2			3	4	11		7			2	1
65~69歳	9				2	2	4	1	1			2	
70歳以上	9	1	4		12	13	3	2	8	5	8		
合 計	198	60	33	2	18	23	461	16	297	5	10	672	84

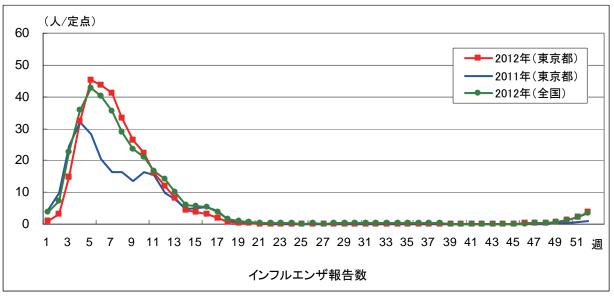
(2) 小児科·内科疾患

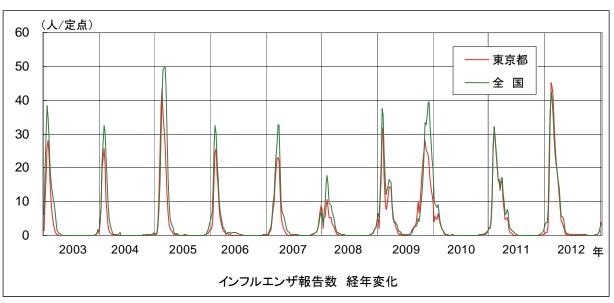
ア インフルエンザ

2012年の報告数は 135,064人、定点当たり 323.29人であった。ここ 10年の定点当たり報告数では、 2009年の495.53人に次いで2番目に多い報告数であった。

2011/12 シーズンの流行は 2012 年 2 週(1 月 9 日~1 月 15 日)に定点当たり 3.22 人と流行の目安となる 1.00 人を超えた。その後 4 週(1 月 23 日~1 月 29 日)から 8 週(2 月 20 日~2 月 26 日)までは定点当たり 30.00 人を超え、ピークは 5 週(1 月 30 日~2 月 5 日)の 45.20 人であった。その後 17 週(4 月 23 日~4 月 29 日)の定点当たり 1.99 人を最後に以降は 1.00 人を切り流行は終息した。

2012/13 シーズンは、2012 年 50 週(12 月 10 日~12 月 16 日)に定点当たり 1.12 人と流行期に入った。2012 年 1 週~52 週の 1 年間の保健所別定点当たり報告数では、最多は多摩小平の 504.83 人、最少は目黒区の 108.61 人であった。

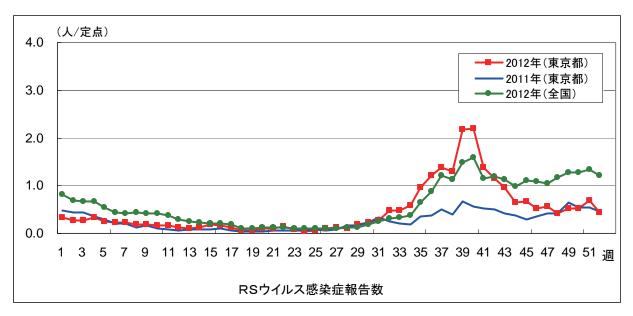


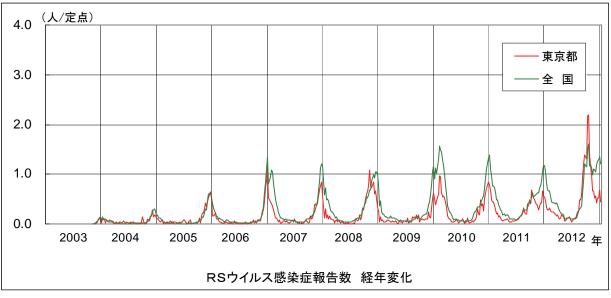


イ RS ウイルス感染症

2012 年の報告数は 6,349 人、定点当たり 24.51 人であった。RS ウイルス感染症は 2003 年 11 月より 五類定点把握対象疾患となったが、2012 年の定点当たり報告数はここ 10 年で最多であった。

週別報告数では 36 週 (9月3日~9月9日) から 42 週 (10月15日~10月21日) にかけて定点当たり 1.00 を超える山があり、ピークは 40 週 (10月1日~10月7日) の 2.19 人であった。保健所管内別の定点当たり報告数の多い地域は、荒川区が 92.00 人で前年と同様最多であった。年齢階級別で見ると、全報告数 6,349 人中、6 か月未満 898 人 (14.1%)、12 か月未満 1,581 人 (24.9%)、1 歳代 2,381人 (37.5%)であり、1 歳以下で 76.5%を占めている。

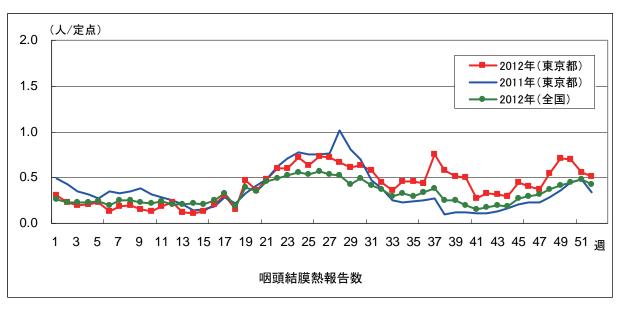




ウ 咽頭結膜熱

2012年の報告数は 5,510人で、定点当たり 21.20人であった。ここ 10年の定点当たり報告数では、2006年の 27.67人に次いで 2番目に多い報告数であった。

週別定点当たり報告数では、0.50人を超えたのは22週(5月28日~6月3日)から31週(7月30日~8月5日)で、ピークは26週(6月25日~7月1日)の0.73人、37週(9月10日~9月16日)から40週(10月1日~10月7日)でピークは37週(9月10日~9月16日)の0.75人、及び48週(11月26日~12月2日)から52週(12月24日~12月30日)でピークは49週(12月3日~12月9日)の0.71人であった。保健所別報告数では荒川区が106.58人と最多であった。年齢階級別報告数では、1歳代が1,026人(18.6%)と最も多く5歳代以下が4,245人(77.0%)となっている。

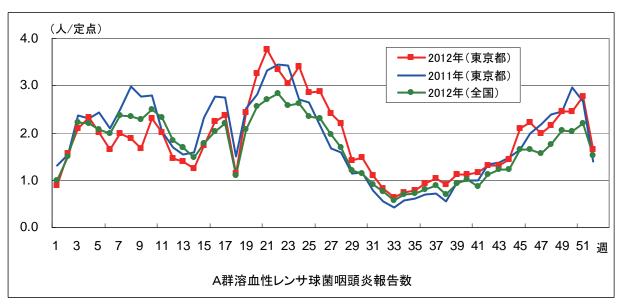


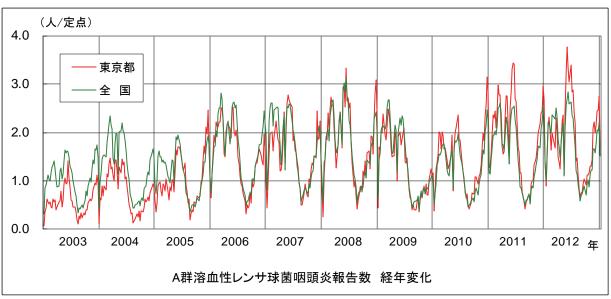


エ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2012 年の報告数は 25,224 人で定点当たり 96.60 人であった。ここ 10 年では、定点当たりの報告数で 2011 年の 97.66 人に次いで 2 番目に多い報告数であった。(10 年間の平均報告数は 71.68 人)

週別定点当たり報告数で 2.50 人を超えたのは、20 週(5 月 14 日~5 月 20 日)から 26 週(6 月 25 日~7 月 1 日)で、ピークは 21 週(5 月 21 日~5 月 27 日)の 3.76 人であった。また 51 週(12 月 17 日~12 月 23 日)に 2.76 人の山があった。保健所別定点当たり報告数は町田市が 225.52 人で最多であり前年と同様であった。年齢階級別報告数では 5 歳代で 3.782 人(15.0%)と最多となり、4 歳代から 7 歳代で全報告数の半数以上(52.4%)を占めるのは前年と同様である。

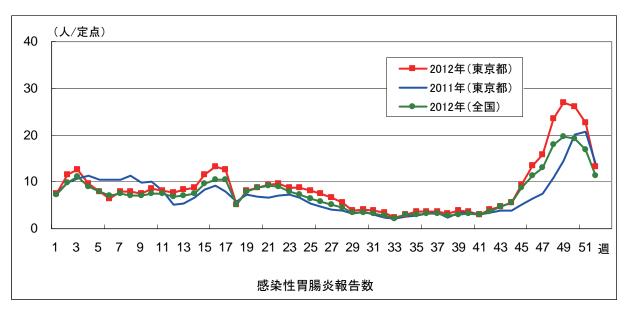


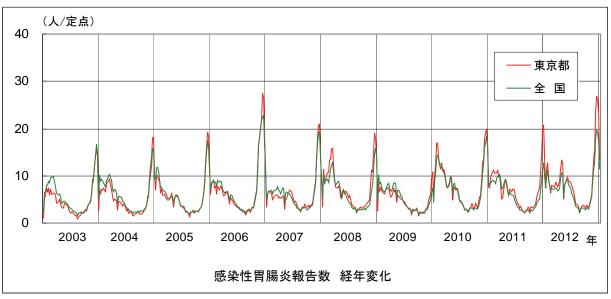


才 感染性胃腸炎

2012 年の報告数は 118,967 人で、定点当たり 455.28 人であった。ここ 10 年では定点当たりの報告数で最多であった。(10 年間の平均は 341.42 人)

週別定点当たり報告数では、20.00 人を超えたのは 48 週(11 月 26 日~12 月 2 日)から 51 週(12 月 17 日~12 月 23 日)でピークは 49 週(12 月 3 日~12 月 9 日)の 26.95 人であった。保健所別定点当たり報告数では、江東区が 755.44 人、町田市 729.66 人と多くなっている。年齢階級別報告数では 1 歳代が 17,889 人(15.0%)と最多であり前年と同様である。

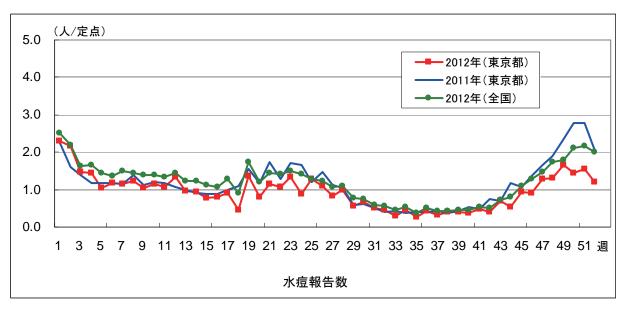


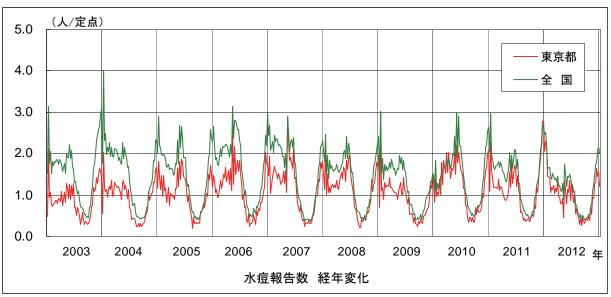


力 水痘

2012 年の報告数は 12,995 人で定点当たり 49.75 人であった。ここ 10 年の平均定点当たり報告数は 54.68 人であったので、やや少ない報告数であった。

週別定点当たり報告数では、1.40 人を超えたのは 1 週(1 月 2 日~1 月 8 日)から 4 週(1 月 23 日~1 月 29 日)で、ピークは 1 週(1 月 2 日~1 月 8 日)の 2.30 人、及び 49 週(12 月 3 日~12 月 9 日)から 51 週(12 月 17 日~12 月 23 日)で、ピークは 49 週(12 月 3 日~12 月 9 日)の 1.65 人であった。保健所別定点当たり報告数では、最多は八王子市の 93.16 人、最少は池袋の 12.23 人であった。年齢階級別報告数では、3 歳代が 2.267 人(17.4%)と最も多く、1 歳代から 5 歳代で 75.8% を占めている。

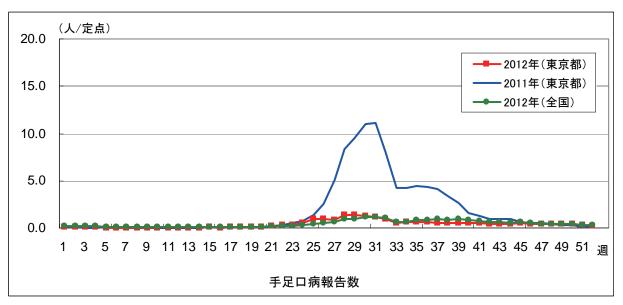


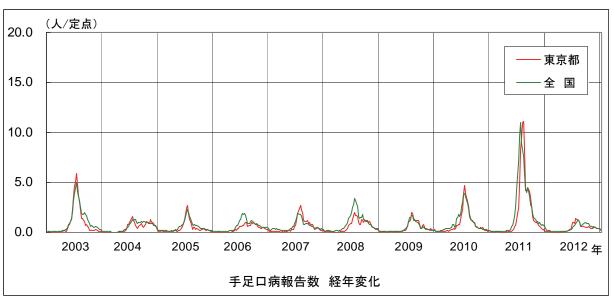


キ 手足口病

2012年の報告数は 5,411 人で定点当たり 20.90 人であった。2011年は定点当たり 95.84 人と大きな流行があったが、2012年はここ 10年では 2006年の 20.32人に次ぐ報告数の少ない年となった。

週別定点当たり報告数では、1.00 人を超えたのは 28 週 (7 月 9 日~7 月 15 日) から 32 週 (8 月 6 日~8 月 12 日) で、ピークは 28 週 (7 月 9 日~7 月 15 日) の 1.38 人であった。保健所別定点当たり報告数では、荒川区の 65.25 人、台東区の 62.75 人が多かった。前年多かった八王子市(190.73 人)、江東区(161.78 人)は、それぞれ 21.42 人、50.44 人となっている。年齢階級別報告数では、1 歳代が1.432 人 (26.5%) で最多であり、前年の報告数と同様であった。

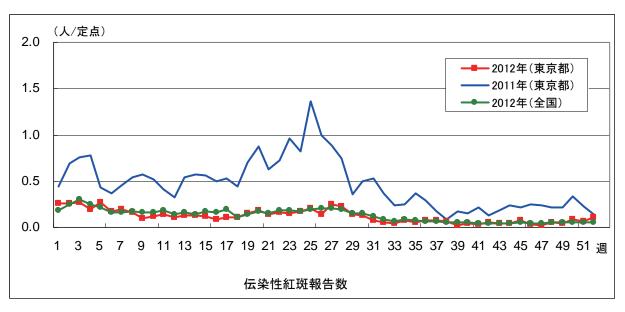


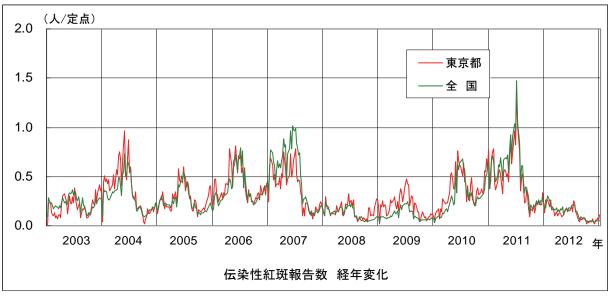


ク 伝染性紅斑

2012 年の報告数は 1,626 人、定点当たり 6.23 人であった。2011 年はここ 10 年で最多の報告があったが、一転して 2012 年は最少の報告数となっている。

週別定点当たり報告数では、0.25 人を超える週が、1 週(1 月 2 日~1 月 8 日)から 3 週(1 月 16 日~1 月 22 日)、5 週(1 月 30 日~2 月 5 日)、27 週(7 月 2 日~7 月 8 日)に散見されるが明らかな季節変動は見られなかった。保健所別定点当たり報告数では、前年 45.36 人と最多であった八王子市は 7.90 人とほぼ平均的な報告数となったが、島しょが 51.00 人と突出した報告数となっている。年齢階級別報告数では 5 歳代が 248 人(15.3%)、4 歳代が 245 人(15.1%)と多く 4~5 歳代にピークがあるのは前年と同様である。

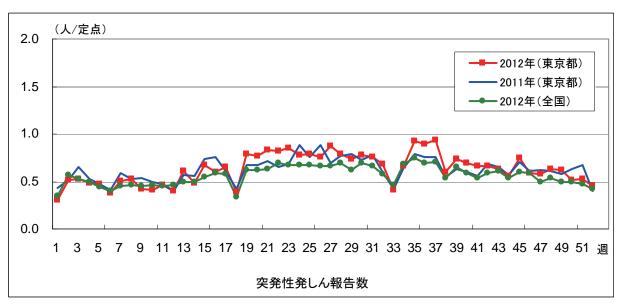


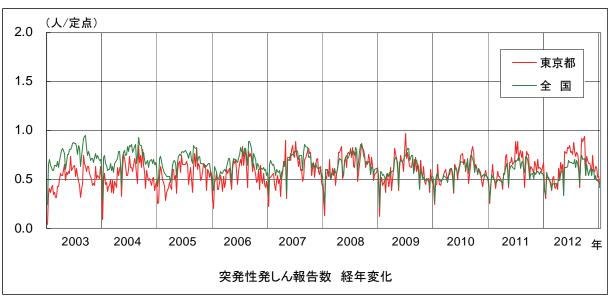


ケ 突発性発しん

2012 年の報告数は 8,547 人、定点当たり 32.85 人であった。ここ 10 年の定点当たり報告数では 2008 年の 33.49 人に次ぐ報告数であったが、10 年の平均は 30.33 人であり、最少の 2003 年の 26.60 人より 最多の 2008 年の 33.49 人までの変動は少ない。

週別定点当たりの報告数では、35 週(8月27日~9月2日)から37 週(9月10日~9月16日)にかけて増加の山が見られるが、例年どおり季節変動は少ない。保健所別定点当たり報告数では、荒川区が62.33人で最多、池袋が7.08人で最少であった。年齢階級別報告数では、1歳代が4,123人(48.2%)、1歳未満が3,482人(40.7%)であり、両者で88.9%を占めている。

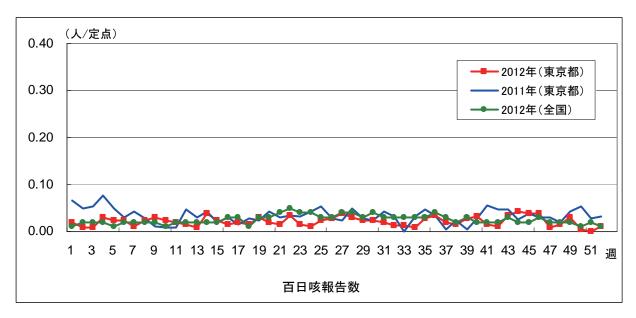


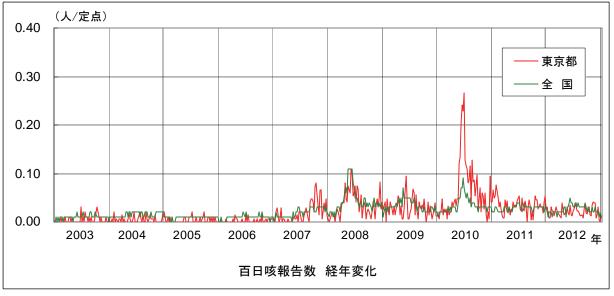


コ 百日咳

2012 年の報告数は 286 人、定点当たり 1.10 人であった。ここ 10 年の定点当たりの報告数の平均は 1.16 人であった。

週別定点当たり報告数は 0.00 人~0.04 人であり、季節変動ははっきりしない。保健所別定点当たり報告数では、前年に荒川区で 12.50 人と突出した報告数があったが、2012 年では、みなと 4.50 人、大田区 4.39 人、荒川区 4.25 人などが多い報告数であった。年齢階級別では、0~4 歳 76 人 (26.6%)、5~9 歳 27 人 (9.4%)、10~14 歳 15 人 (5.2%)、15~19 歳 10 人 (3.5%)、20 歳以上 158 人 (55.2%) となっている。

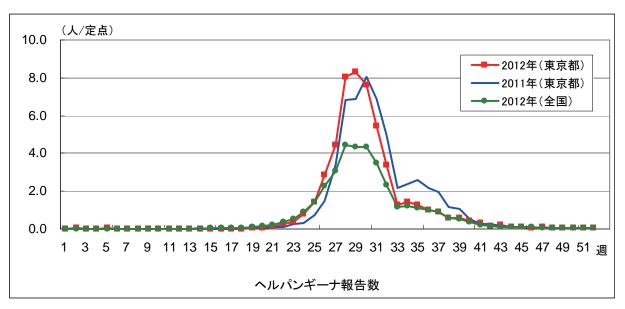


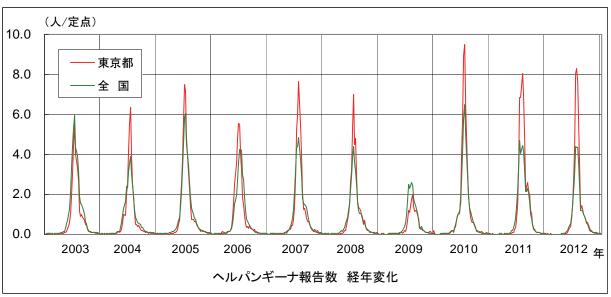


サ ヘルパンギーナ

2012 年の報告数は 13,548 人、定点当たり 52.28 人であった。ここ 10 年の定点当たり報告数の平均は 43.59 人であり、2012 年は 2010 年、2011 年に次いで 3 番目に多い報告数であった。

週別定点当たり報告数では、25 週 (6 月 18 日~6 月 24 日) に 1.45 人と 1.00 人を超え、36 週 (9 月 3 日~9 月 9 日) まで 1.00 人以上の報告数があった。ピークは 29 週 (7 月 16 日~7 月 22 日) の 8.30 人であった。保健所別定点当たり報告数では、町田市が 100.57 人と最多であり、目黒区が 11.60 人と最少であった。年齢階級別報告数では、1 歳代が 3,601 人 (26.6%) と最も多く、5 歳以下で 88.6%を占めている。

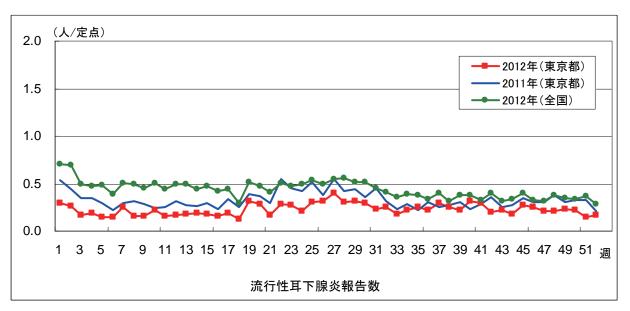


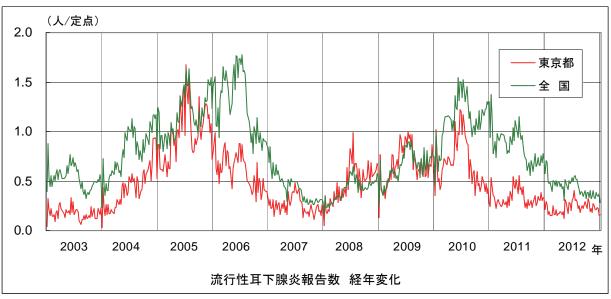


シ 流行性耳下腺炎

2012 年の報告数は 3,089 人、定点当たり 11.88 人であった。ここ 10 年の定点当たり報告数の平均は 25.22 人であり、2012 年は 2003 年の 9.08 人に次ぐ少ない報告数となった。

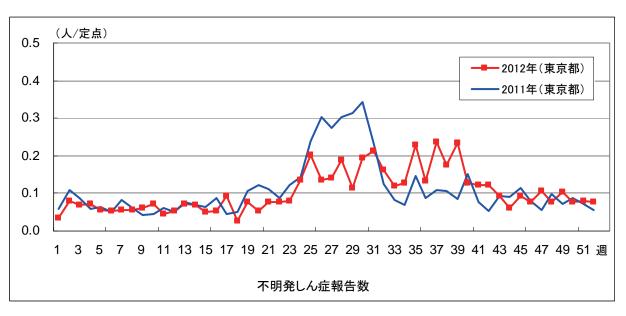
週別定点当たり報告数では、27週(7月2日~7月8日)に0.40 人とやや多いほかは $0.12\sim0.32$ 人であり、季節変動ははっきりしない。保健所別定点当たり報告数では、前年も多かった八王子市が41.70 人と最多であり、品川区が1.77 人と最少であった。年齢階級別報告数では、5 歳代が503 人(16.3%)と最も多く、6 歳以下で2,111 人と全体の68.3%を占めている。

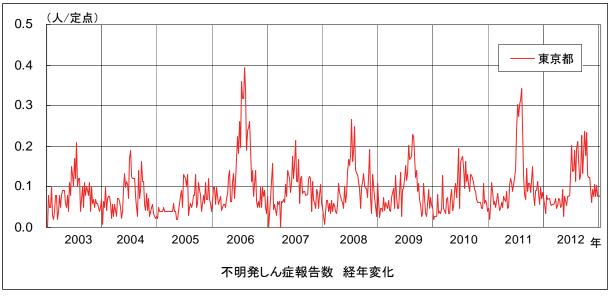




ス 不明発しん症

2012 年の報告数は 1,400 人、定点当たり 5.40 人であった。ここ 10 年の定点当たり報告数の平均は 4.73 人であり、2012 年は、2006 年の 6.80 人、2011 年の 5.78 人に次ぐ 3 番目に多い報告数であった。 週別定点当たり報告数では、24 週 (6 月 11 日~6 月 17 日) から 42 週 (10 月 15 日~10 月 21 日) にかけて 0.10 人を超え、ピークは 37 週 (9 月 10 日~9 月 16 日) の 0.24 人であった。保健所別定点当たり報告数では、町田市の 18.68 人、江東区 16.00 人、荒川区 15.00 人が多かった。年齢階級別報告数では、1 歳代が 425 人と最も多く、3 歳以下が 1,024 人と全報告数の 73.1%を占めており例年と同様の傾向である。

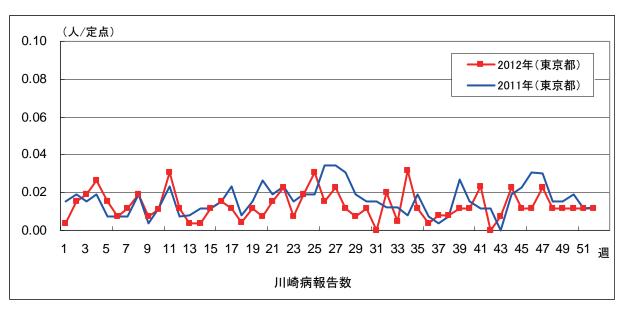


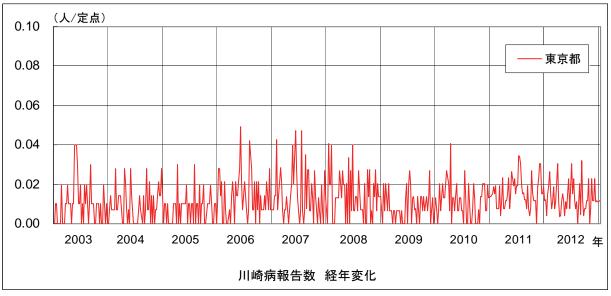


セ 川崎病

2012 年の報告数は 177 人で、定点当たり 0.68 人であった。ここ 10 年の定点当たり報告数の平均は 0.61 人であり、2012 年は平均的な報告数であった。

週別定点当たり報告数は 0~0.03 人であり、季節変動が不明であるのは前年と同様である。保健所別定点当たり報告数では、荒川区が 2.50 人と最多であった。年齢階級別報告数では、1 歳代が 59 人と最も多く、4 歳以下で 164 人と全体の 92.7% を占めている。



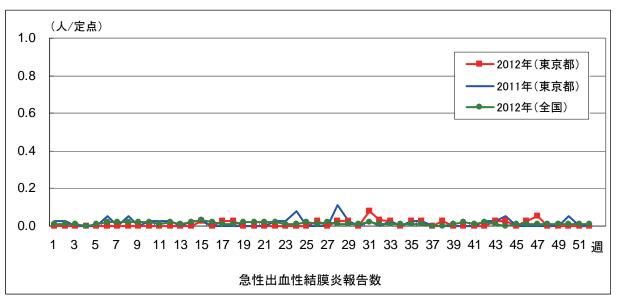


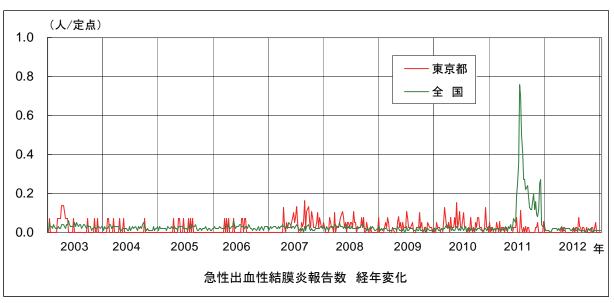
(3) 眼科疾患

ア 急性出血性結膜炎

2012年の報告数は 19 人、定点当たり 0.50 人であった。眼科定点数が増加した 2007 年以降で最少だった。患者発生数の推移にはあまり特徴がなく、31 週(7 月 30 日~8 月 5 日)に 3 人、47 週(11 月 19 日~25 日)に 2 人発生した以外は各週 1 人以下であり、年間 36 週は発生がみられず、定点当たりでは平均 0.01 人/週であった。全国的にも低いレベルで分散した発生が続いており、東京も同様であった。

保健所別定点当たり報告数では、世田谷 3.00 人、品川区 2.00 人、中野区 2.00 人、葛飾区 2.00 人が多かった。眼科定点のある 12 医療圏のうち、報告のあったのは 6 医療圏で、区東北部圏、区西南部圏、区西部圏が多かった。報告年齢は分散していたが、20 歳以上の成人が 14 人と全体の 73.7%を占めた。幼少児では 1 歳児に 3 人 (15.8%)、4 歳児に 1 人 (5.3%) みられた。

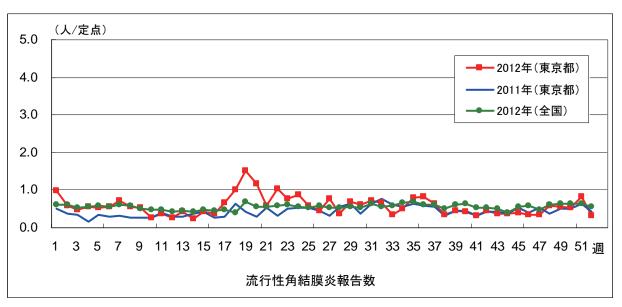


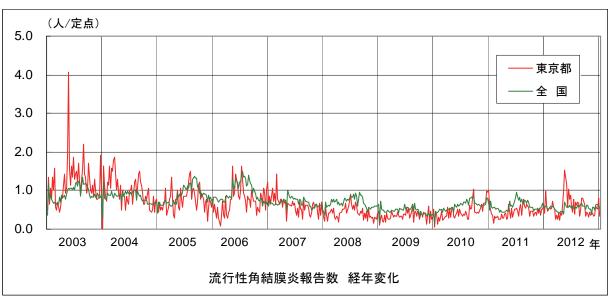


イ 流行性角結膜炎

2012年の報告数は 1,140人、定点当たり 30.01人であった。眼科定点数が増加した 2007年以降で最多だった。患者発生数は 4月から 6月にかけて緩やかなピークを認めるものの年間を通じて週 9~58人の発生であった。週別定点当たり報告数では 0.24人から 1.53人となり、平均 0.58人と通年にわたり散発していた。全国と比較すると若干高い水準であった。

保健所別定点当たり報告数では、多摩小平 118.00 人、渋谷区 97.00 人、中央区 75.00 人、目黒区 58.00 人、文京 56.00 人、江東区 50.00 人が多く、定点当たり年間 50 人を超えていた。医療圏別定点当たり報告数では、北多摩北部圏 118.00 人、区中央部圏 65.50 人が多かった。報告年齢は 20 歳から 49 歳が617 人と 54.1%を占め、20 歳以上の成人が851 人 (74.6%) であった。10 歳未満は 244 人 (21.4%)で、各年齢層に分散してみられた。



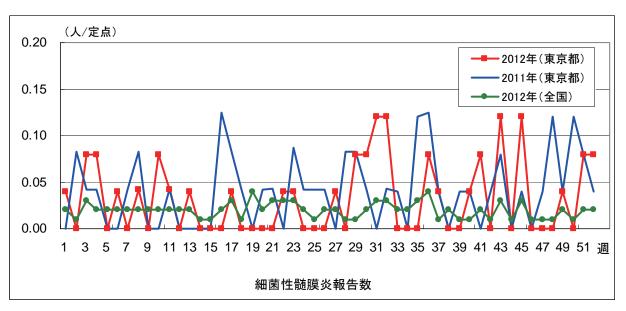


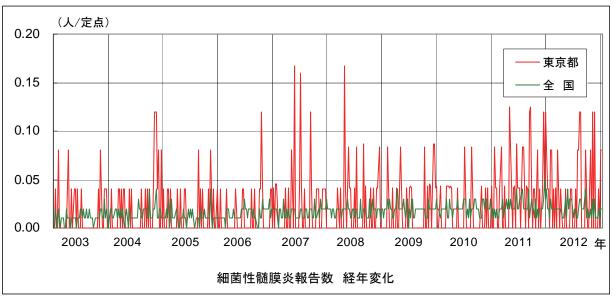
(4) 基幹定点における週報告疾病

ア 細菌性髄膜炎

2012 年の報告数は 42 人、定点当たり 1.68 人であった。ここ 10 年の定点当たり報告数の平均は 1.08 人であり、2012 年は 2011 年の 2.14 人に次いで多い報告数であった。

週別定点当たり報告数では、季節変動は明らかでない。保健所別定点当たり報告数では、墨田区 7.00 人、杉並 6.00 人、多摩府中 5.67 人が多い報告数であった。年齢階級別報告数では、1 歳未満が 11 人 (26.2%)、60 歳以上が 14 人 (33.3%) であった。

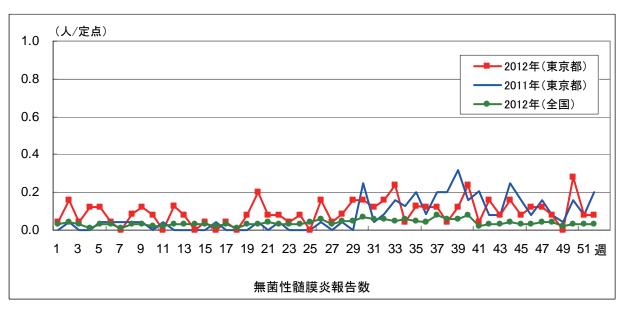


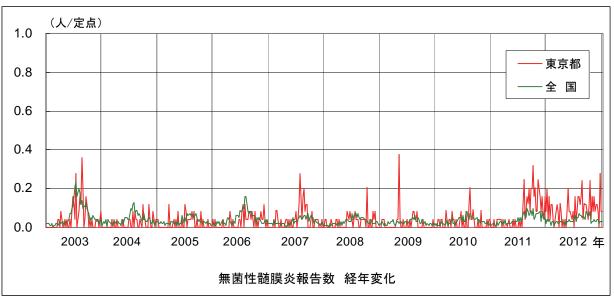


イ 無菌性髄膜炎

2012 年の報告数は 121 人、定点当たり 4.86 人であった。ここ 10 年の定点当たり報告数の平均は 2.14 人であり、2012 年の報告数は 10 年で最多であった。

週別定点当たり報告数は 50 週(12 月 10 日~12 月 16 日)が 0.28 人で最多であるが、季節変動は明らかでない。保健所別定点当たり報告数では、墨田区が 33.00 人と前年同様最多であった。年齢階級別報告数では、9 歳以下 55 人(45.5%)、10~19 歳 13 人(10.7%)、20~29 歳 19 人(15.7%)、30~39 歳 16 人(13.2%)、40 歳以上 18 人(14.9%)となっている。

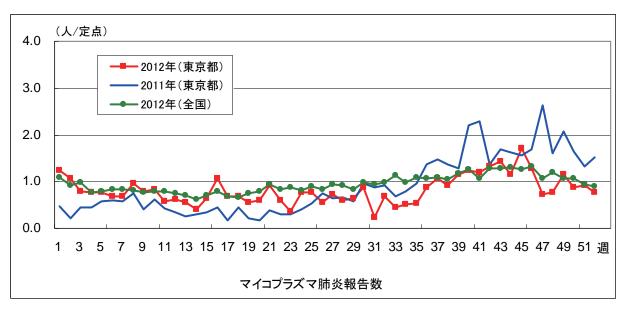


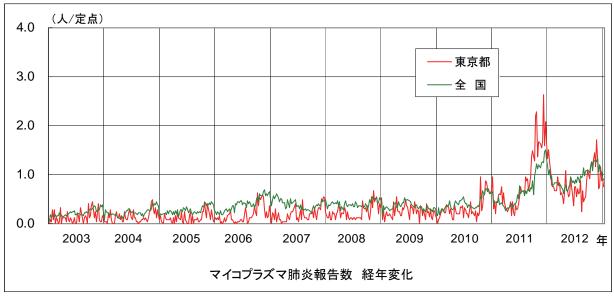


ウ マイコプラズマ肺炎

2012 年の報告数は 1,067 人、定点当たり 42.84 人であった。ここ 10 年の定点当たり報告数の平均は 17.25 人であり、2012 年の報告数は 2011 年の 46.78 人に次いで 2 番目に多かった。

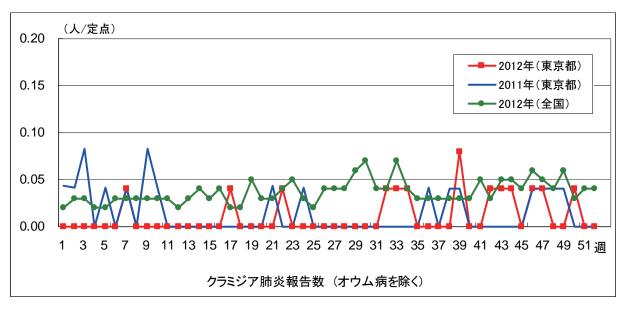
週別定点当たり報告数では、1週(1月2日~1月8日)から2週(1月9日~1月15日)にかけて前年の大きな流行の影響で1.00人を超していたが、その後報告数が減少した後39週(9月24日~9月30日)より46週(11月12日~11月18日)まで再び連続して1.00人を超えた。ピークは45週(11月5日~11月11日)の1.72人であった。保健所別定点当たり報告数では、葛飾区が349.00人と最多であった。年齢階級別報告数では、 $0\sim4$ 歳376人(35.2%)、 $5\sim9$ 歳302人(28.3%)、 $10\sim19$ 歳190人(17.8%)、20歳以上199人(18.7%)であった。

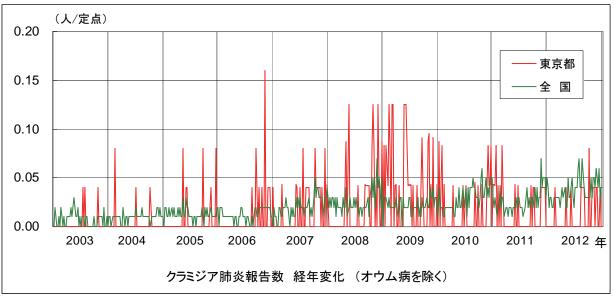




エ クラミジア肺炎(オウム病を除く)

2012 年は14 人報告された。定点当たり0.56 人であった。(ここ10 年の報告数の平均は0.71 人) 週別の報告数は例数が少なく、季節変動は不明である。保健所別報告数では、葛飾区の5人、渋谷区4人が多かった。年齢階級別では60歳以上が9人(64.3%)であった。



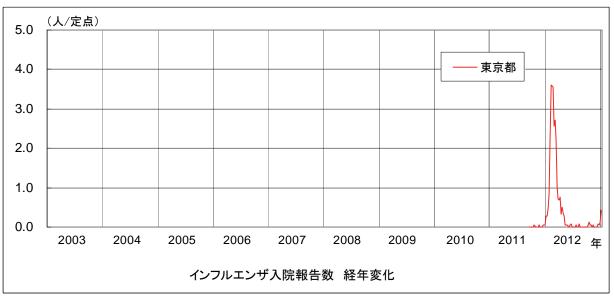


オ インフルエンザ入院

インフルエンザ入院は 2011 年 36 週より調査の対象となった。2012 年は 610 人報告され、定点当たり 24.40 人であった。

週別定点当たり報告数は、4週(1月23日~1月29日)から10週(3月5日~3月11日)まで1.00人を超えた。ピークは5週(1月30日~2月5日)の3.60人である。年齢階級別報告数では、0~9歳309人(50.7%)、10~19歳56人(9.2%)、20~59歳49人(8.0%)、60歳以上196人(32.1%)であった。



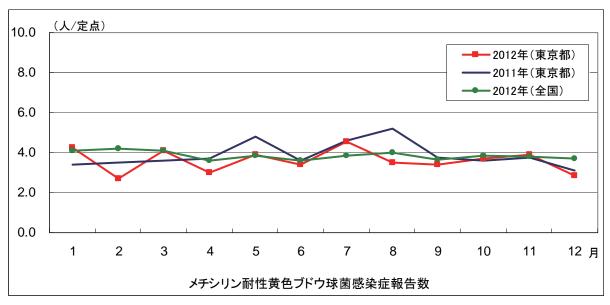


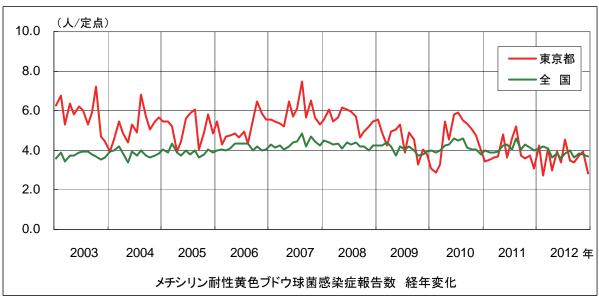
(5) 基幹定点における月報告疾病

ア メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

2012 年の報告数は 1,074 人、定点当たり 43.25 人であり、ここ 10 年で最も少ない報告数であった。 (ここ 10 年の平均は定点当たり 59.27 人)

月別定点当たり報告数は7月が最多の4.54人、2月が最少の2.71人であった。季節変動は明確でない。男女別では男性660人(61.5%)、女性414人(38.5%)で、例年と同様男性が多い。年齢階級別では、 $0\sim9$ 歳が280人(26.1%)、60歳以上が597人(55.6%)であった。

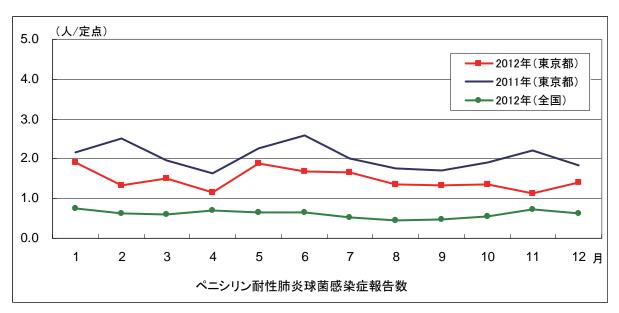


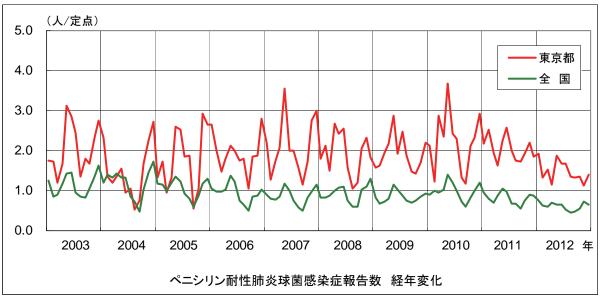


イ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2012年の報告数は440人、定点当たり17.72人であった。ここ10年で最も少ない報告数であった。 (ここ10年の平均は定点当たり22.75人)

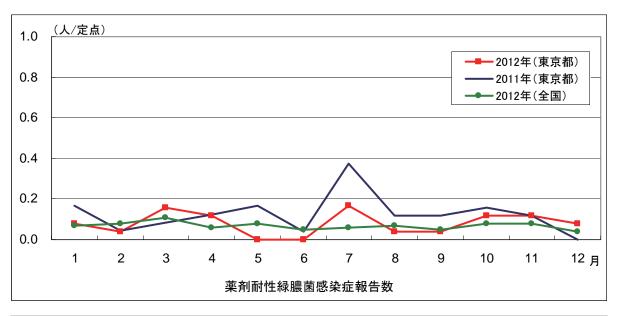
月別定点当たり報告数は1月が最多の1.92人、11月が最少の1.12人であるが、季節変動は不明である。男女別では、男性が254人(57.7%)、女性が186人(42.3%)で男性に多い。年齢階級別では、0~9歳が188人(42.7%)、60歳以上が198人(45.0%)であった。

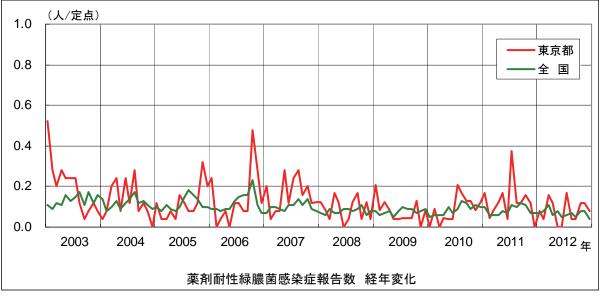




ウ 薬剤耐性緑膿菌感染症

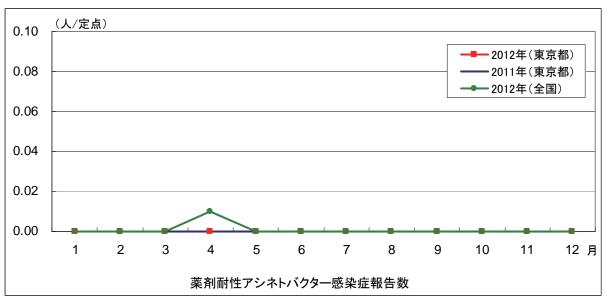
2012 年は 24 人報告され、定点当たり 0.97 人であった。(ここ 10 年の平均は定点当たり 1.46 人) 月別変動は例数が少なく不明である。男女別では、男性 18 人 (75.0%)、女性 6 人 (25.0%) であった。年齢階級別では 60 歳以上が 12 人 (50.0%) であった。

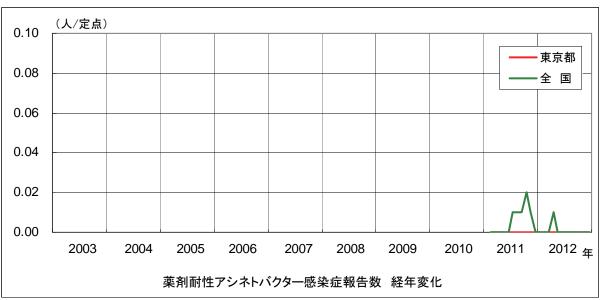




エ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

2011年2月より調査の対象となったが、2011年に引き続き2012年も報告例はなかった。



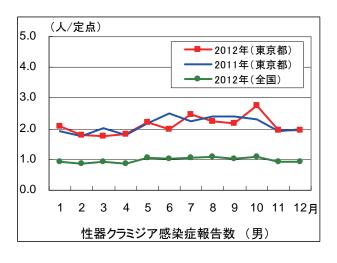


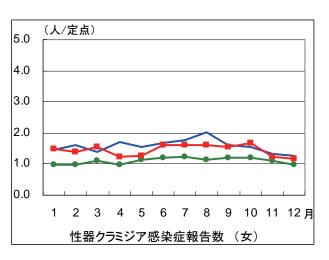
(6) 性感染症(STI)

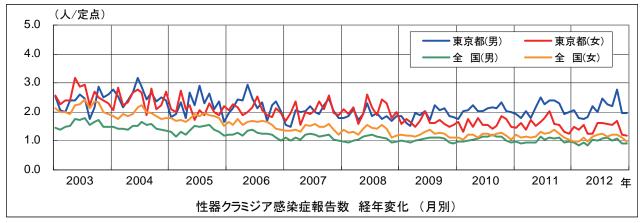
ア 性器クラミジア感染症

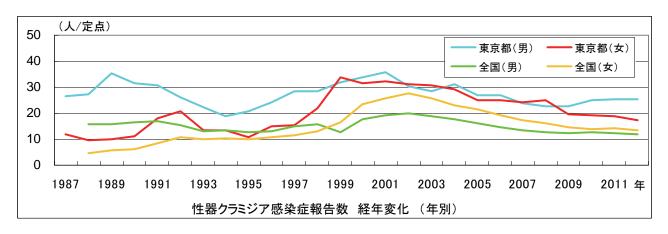
2012年の報告数は 2,315人、定点当たり 42.64人であった。

男女別では、男性の報告数は 1,370 人、定点当たり 25.24 人(前年比 0.99)、女性の報告数は 945 人、定点当たり 17.40 人(前年比 0.92) で男性に多い。月別定点当たり報告数は男性では 10 月が 2.76 人で最多、3 月が 1.76 人で最小、女性では 10 月が 1.67 人で最多、12 月が 1.17 人で最小であった。年齢階級別では、男性では 20~39 歳が 967 人で男性全体の 70.6%を占め、女性では 20~29 歳が 530 人で女性全体の 56.1%を占めている。保健所別定点当たり患者報告数では、男性は千代田 84.00 人、品川区 80.00 人、女性は多摩立川 76.50 人、大田区 43.50 人などが多くなっている。





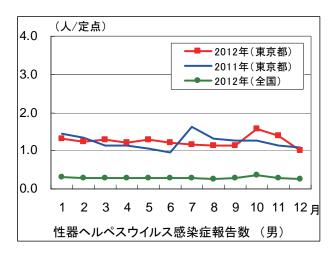


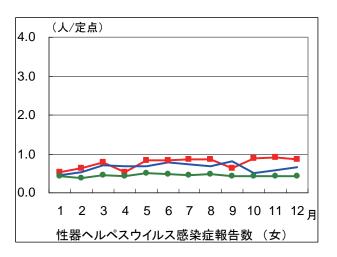


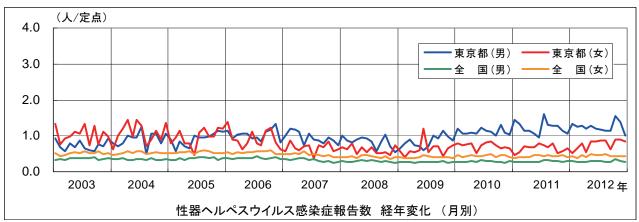
イ 性器ヘルペスウイルス感染症

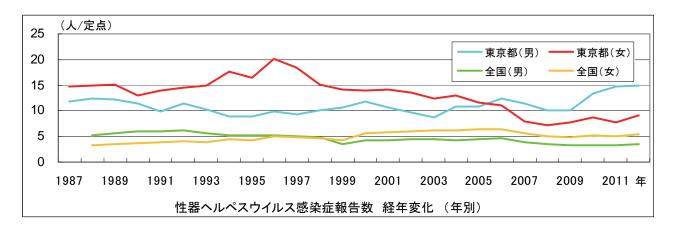
2012年の報告数は1,311人、定点当たり24.17人であった。

男女別では、男性の報告数は 813 人、定点当たり 14.98 人(前年比 1.01)、女性の報告数は 498 人、定点当たり 9.18 人(前年比 1.17)で男性に多い。月別定点当たり報告数は、男性では 10 月が 1.56 人で最多、12 月が 1.02 人で最小となり、女性では 11 月が 0.91 人で最多、1 月が 0.53 人で最小であった。年齢階級別では、男性では 30~49 歳が 495 人で男性全体の 60.9%を占め、女性では 20~39 歳が 332 人で女性全体の 66.7%を占めている。保健所別定点当たり患者報告数では、男性はみなとの 162.00 人が突出して多く、女性はみなと 40.50 人、町田市 21.00 人、池袋 20.67 人などが多くなっている。





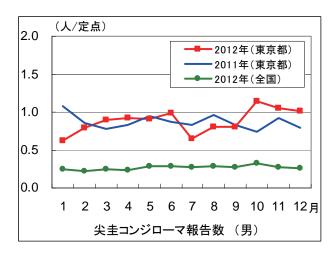


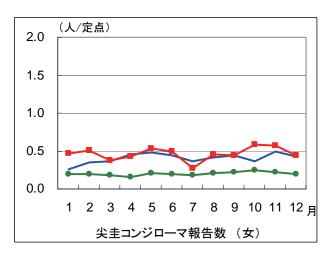


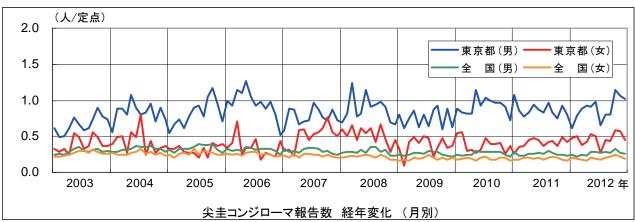
ウ 尖圭コンジローマ

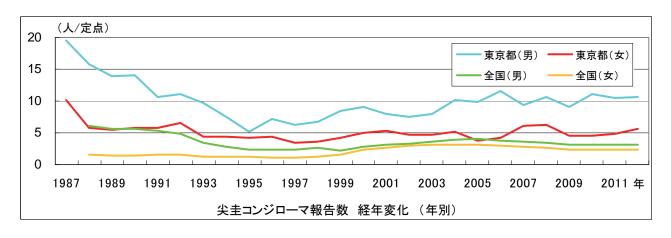
2012年の報告数は877人、定点当たり16.17人であった。

男女別では、男性の報告数は 574 人、定点当たり 10.59 人(前年比 1.01)、女性の報告数は 303 人、定点当たり 5.59 人(前年比 1.15)で男性に多い。月別定点当たり報告数は、男性では 10 月が 1.15 人で最多、1 月が 0.62 人で最小、女性では 10 月が 0.58 人で最多、7 月が 0.28 人で最小であった。年齢階級別では、男性では 25~44 歳が 374 人で男性全体の 65.2%を占め、女性では 20~39 歳が 252 人で女性全体の 83.2%を占めている。保健所別定点当たり患者報告数では、男性はみなと 48.50 人、千代田 32.00 人、女性はみなと 35.00 人、新宿区 14.17 人などが多くなっている。





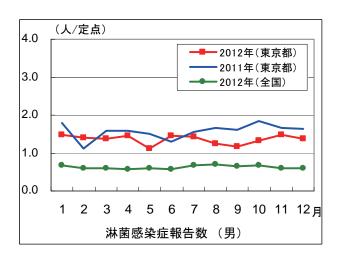


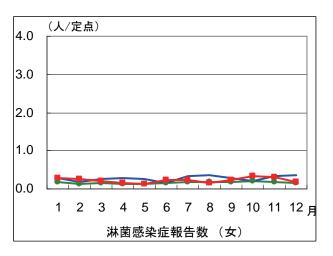


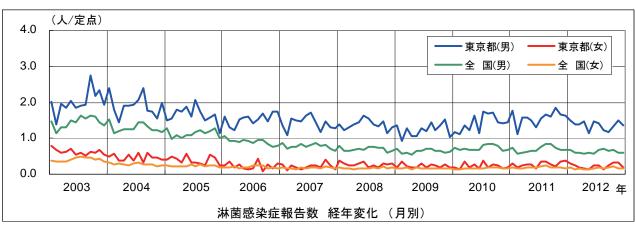
工 淋菌感染症

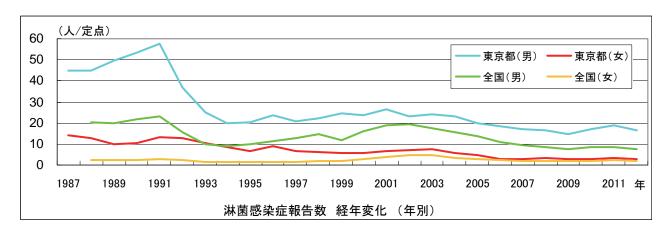
2012年の報告数は1,035人、定点当たり19.09人であった。

男女別では、男性の報告数は 887 人、定点当たり 16.36 人(前年比 0.87)、女性の報告数は 148 人、定点当たり 2.73 人(前年比 0.82)で男性に多い。月別定点当たり報告数は、男性では 1 月、11 月が 1.49 人で最多、5 月が 1.13 人で最小、女性では 10 月が 0.33 人で最多、5 月が 0.13 人で最小であった。年齢階級別では、男性では 20~39 歳が 650 人で男性全体の 73.3%を占め、女性では 20~29 歳が 97 人で女性全体の 65.5%を占めている。保健所別定点当たり患者報告数では、男性は千代田 72.50 人、新宿区 43.19 人、女性は多摩立川 12.00 人、池袋 9.33 人などが多くなっている。





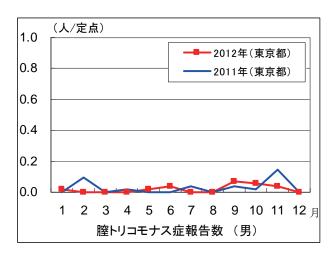


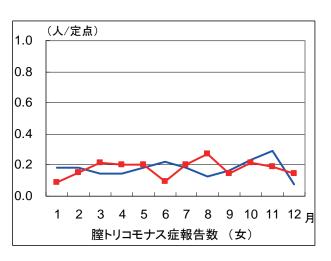


オ 膣トリコモナス症

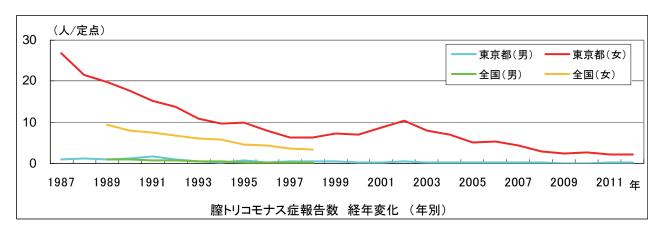
2012年の報告数は129人、定点当たり2.38人であった。

男女別では、男性の報告数は13人、定点当たり0.24人(前年比0.69)、女性の報告数は116人、定点当たり2.14人(前年比1.00)で女性に多い。月別定点当たり報告数のうち、男性では2月、3月、4月、7月、8月、12月の報告がなく、報告があった月では9月が0.07人で最大、1月、5月が0.02人で最小であった。女性では8月の0.27人が最多、1月と6月の0.09人が最小であった。年齢階級別では、男性は報告数が少ないため集中する年齢階級が見られなかったが、女性では20~39歳が65人で女性全体の56.0%を占めている。保健所別定点当たり患者報告数では、男性は池袋と足立の1.00人、女性は江戸川9.00人、中野区8.00人などが多くなっている。





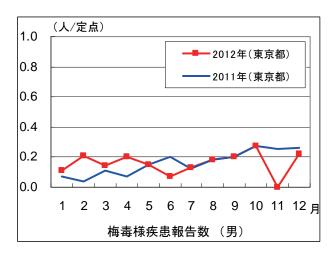


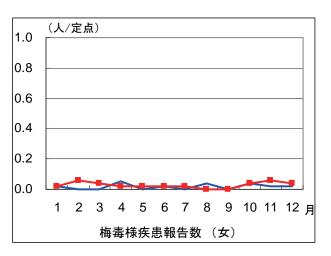


力 梅毒様疾患

2012年の報告数は120人、定点当たり2.21人であった。

男女別では、男性の報告数は 103 人、定点当たり 1.89 人(前年比 0.98)、女性の報告数は 17 人、定点当たり 0.32 人(前年比 1.57)で男性に多い。月別定点当たり報告数では、男性は 11 月、女性は 8 月、9 月に報告がなかった。報告があった月のうち、男性は 10 月が 0.27 人で最多、6 月が 0.07 人で最小、女性は 2 月、11 月が 0.06 人と最多、1 月、4 月、5 月、6 月、7 月が 0.02 人と最小であった。年齢階級別では、男性は 25~39 歳が 46 人で男性全体の 44.7%を占め、女性は 20~34 歳が 10 人で女性全体の 58.8%を占めている。保健所別定点当たり患者報告数では、男性は新宿区の 8.14 人が多く、女性はみなと、墨田区、足立、江戸川などが 1.00 人となっている。







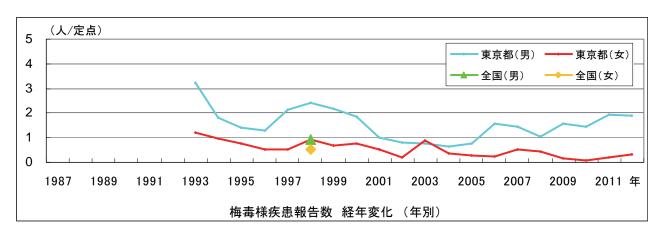


表4-1(1) 週別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2012 年第1週~2012 年第52週

			, ,	_	-tem		altt	. +N			-					\-
		報へ	イン		報告	R S	咽頭	A球 群菌	感染	水痘	手足	伝染	突 発	百日	ル	流行
		告イ	フ		定定	ウ	結	溶咽	性) . ₩.		性	性	咳	パ	性
		定ン	ル		点	1	膜	血頭			病	紅	発	7.	ン	耳下
週	期間	点フ	エ		数	ル	熱	性炎	胃腸			斑	し		ギ	下
旭	2À11b1	数ルー	ザ		$\widehat{}$	ス		レ	炎				ん		ナ	腺
		エン	-9		小児	感染		ンサ							7	炎
		ザ			科	症										
		Û			<u></u>	, —										
1	1. 2~ 1. 8	410	387	L	257	85	79	227	1,921	590	25	67	78	5	4	76
2	1. 9∼ 1.15	418	1,348	L	264	73	62	412	3,027	571	34	68	137	2	7	69
3	1.16~ 1.22	418	6,146	L	263	74	52	551	3,328	384	21	70	138	2	4	43
4	1.23~ 1.29	418	13,473	L	263	87	54	612	2,543	377	14	51	126	8	6	50
5	1.30~ 2. 5	419	18,939	L	264	68	60	529	2,062	278	12	71	124	6	7	39
6	2. 6∼ 2.12	418	18,224	L	263	62	34	432	1,679	309	13	46	101	6	5	39
7	2.13~ 2.19	418	17,200	L	263	63	50	522	2,089	301	9	50	133	3	1	66
8	$2.20 \sim 2.26$	419	13,963	L	264	51	52	498	2,066	324	5	44	140	6	5	43
9	$2.27\sim 3.4$	418	11,006	L	263	52	40	441	1,978	274	2	27	110	8	6	42
10	3. 5∼ 3.11	419	9,327		264	45	36	609	2,287	303	2	31	109	6	3	57
11	3.12~ 3.18	415	6,641		261	45	49	525	2,148	281	2	36	121	5	2	40
12	3.19∼ 3.25	417	4,952	Γ	263	31	59	386	2,020	351	9	28	105	4	3	44
13	3.26~ 4. 1	418	3,414	Γ	263	26	31	365	2,171	256	13	33	160	2	1	46
14	4. 2~ 4. 8	414	1,881		261	34	28	325	2,311	246	2	34	127	10	4	49
15	4. 9~ 4.15	416	1,585		262	47	34	457	3,003	206	14	31	177	6	4	48
16	4.16~ 4.22	417	1,284	Γ	262	43	55	585	3,487	212	11	24	158	4	5	42
17	4.23~ 4.29	406	809		259	35	78	613	3,279	235	22	27	169	5	4	50
18	4.30∼ 5. 6	401	197		251	17	39	285	1,290	114	28	28	97	4	4	31
19	5. 7∼ 5.13	418	147		263	18	123	641	2,135	358	31	41	207	8	10	82
20	5.14~ 5.20	416	91		261	26	93	848	2,281	209	29	47	200	5	16	75
21	5. 21~ 5. 27	414	57		261	30	125	982	2,438	298	62	37	217	4	26	44
22	5. 28~ 6. 3	415	42		261	37	158	872	2,537	280	81	43	213	9	69	75
23	6. 4~ 6.10	418	38		263	22	157	803	2,323	353	90	40	224	4	100	71
24	6.11~ 6.17	418	10	-	263	13	191	894	2,284	231	145	46	204	3	208	54
25	6. 18~ 6. 24	416	5	-	261	17	166	743	2,102	337	249	53	206	6	379	80
26	6. 25~ 7. 1	418	3	—	263	26	192	759	1,946	287	258	38	198	7	747	84
27	7. 2~ 7. 8	418	4		263	33	189	633	1,751	219	231	66	230	10	1,172	105
28	7. 9~ 7.15	412	21		260	28	172	572	1,434	257	358	60	204	8	2,090	79
29	7. 16~ 7. 22	416	9	-	262	49	160	369	1,031	147	347	36	192	6	2,175	82
30	7. 23~ 7. 29	416	6	-	263	61	167	388	1,052	175	333	33	205	6	2,010	77
31	7.30~ 8. 5	413	5	-	260	69	152	287	982	129	308	21	197	5	1,412	59
32	8. 6~ 8. 12	375	5		247	117	112	203	836	114	246	13	168	3	831	63
33	8. 13~ 8. 19	362	4	-	219	106	80	140	523	63	121	10	91	3	278	39
34	8. 20~ 8. 26	401	11	-	251	146	114	185	764	112	161	19	167	2	363	56
35	8. 27~ 9. 2	406	9	-	259	251	118	201	941	67	154	15	239	7	324	66
36	9. 3~ 9. 9	411	43	-	261	317	115	242	940	114	154	20	233	9	262	57
37	9. 3° 9. 9 9. 10~ 9. 16	409	43	-	258	358	194	270	963	82	132	20	243	5	202	75
38	9. 10 ~ 9. 10 9. 17~ 9. 23	409	27	-	255 255	333	148	232	796	104	140	16	153	4	155	65
39	9. 17~ 9. 23 9. 24~ 9. 30	415	15	-	261	569	133	292	998	104	134	5	191	7	156	58
40	10. 1~10. 7	409	11	-	259	567	129	288	947	99	148	10	181	8	115	83
41	10. 1 10. 7	409	17	-	260	359	72	300	770	128	128	9	172	4	79	76
42	10. 15~10. 14	414	19	-	259	297	84	339	1,073	103	103	13	172	3	46	51
43	10. 15~10. 21	414	16	-	261	254	82	342	1,073	180	103	12	164	9	58	59
43	10. 22~10. 28	416	20	-	261	171	77	373	1,473	141	103	10	146	11	25	48
45	10. $29 \sim 11. 4$ 11. $5 \sim 11. 11$		39	-	261 259	171	115	544		242	103	10	146	10	26	70
46	11. $5\sim11.11$ 11. $12\sim11.18$	414	72	-	259 261	173	106	579	2,463 3,508	239	118	9	193	10	17	67
46	$11.12 \sim 11.18$ $11.19 \sim 11.25$	413	100	-	263	150	99	521	4,178	336	118	6	155	2	21	56
48	$11.19 \sim 11.25$ $11.26 \sim 12.2$	417	128	-		110	144	566	6,210	343	100	15	167	4	20	56
\vdash				-	263											
49	12. $3\sim12$. 9 12. $10\sim12$. 16	417	261 467		262	138	186	641	7,061	431	110	12 22	162	8	16	61 50
50		418		-	263	135	184	646	6,873	381	107		136	1	16	59 40
51	12. 17~12. 23	417	966	-	263	181	148	727	5,989	407	85 55	16 28	139	3	15 9	40
52	12.24~12.30	410	1,577	┝	258	6 240	133	428	3,432	311	55 5.411		116		_	
L	合 計		135,064	L		6,349	5,510	45,224	118,967	12,995	5,411	1,626	8,547	286	13,548	3,089

表4-1(2) 週別患者報告数(小児科·眼科·基幹) 2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

週	期間	報告定点数(小児科)	不明発しん症	川崎病	報告定点数(眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎		報告定点数(基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		報告定点数(基幹)	インフルエンザ入院
1	1. 2~ 1. 8	257	9	1	36		35		25	1	1	31		. L	25	7
2	1. 9~ 1.15	264	21	4	39		23		25		4	27		.	25	12
3	1.16~ 1.22	263	18	5	38		18		25	2	1	20		.	25	21
4	$1.23 \sim 1.29$ $1.30 \sim 2.5$	263 264	19 15	7	39		22 20		25 25	2	3	19 19			25 25	55 90
5 6	$1.30 \sim 2.5$ $2.6 \sim 2.12$	263	13	2	38		21		25	1	1	17			25	89
7	2. 13~ 2. 19	263	15	3	39		28		25	1	1	17	1	·	25	64
8	2. 20~ 2. 26	264	15	5	39		22		24	1	2	23		·	25	68
9	2.27~ 3.4	263	16	2	38		20		25		3	20		ľ	25	54
10	3. 5∼ 3.11	264	19	3	38		10		25	2	2	21			25	26
11	3.12~ 3.18	261	12	8	38		14		24	1		14			25	18
12	3. 19∼ 3. 25	263	14	3	38		10		24		3	15		.	25	17
13	3.26~ 4. 1	263	19	1	38		16		25	1	2	14			25	19
14 15	4. 2~ 4. 8 4. 9~ 4.15	261 262	18 13	1 3	38	1	9		25 25		1	10 16			25 25	8
16	4. 16~ 4. 22	262	13	4	38	1	14		25		1	27			25	9
17	4. 23~ 4. 29	259	24	3	38	1	25		25	1	1	17	1		25	7
18	4.30~ 5. 6	251	7	1	37	1	37	İ	25			17			25	1
19	5. 7∼ 5.13	263	20	3	38		58		25		2	14			25	1
20	5. 14~ 5. 20	261	14	2	38		44		25		5	15			25	1
21	5. 21~ 5. 27	261	20	4	38		22		25		2	23		. L	25	
22	5. 28∼ 6. 3	261	20	6	38		39		25	1	2	15	1	.	25	1
23	6. 4~ 6.10	263	21	2	39		30		25	1	1	9			25	2
24 25	$6.11 \sim 6.17$ $6.18 \sim 6.24$	263 261	36 53	5 8	39		34 22		25 25		2	19 19			25 25	
26	$6.25 \sim 7.1$	263	36	4	38	1	17		25		4	14		· F	25	
27	7. 2~ 7. 8	263	37	6	39	1	30		25	1	1	18		·	25	
28	7. 9~ 7.15	260	49	3	37	1	14	1	23		2	14		†	25	1
29	7.16~ 7.22	262	30	2	39	1	27		25	2	4	16			25	
30	7.23~ 7.29	263	51	3	37		23		25	2	4	22		. L	25	
31	7.30~ 8. 5	260			38	3			25	3	3	6		.	25	2
32	8. 6~ 8.12	247	40	5	33	1	22		25	3	4	17	1		25	
33	8. 13~ 8. 19 8. 20~ 8. 26	219 251	26 32	1 8	36	1	12 19		25 25		6	11	1		25 25	
35	8. 27~ 9. 2	259	59	3	39	1	31		24		3	13	1		24	
36	9. 3~ 9. 9	261	35	1	38	1	31		25	2	3	22		† †	25	
37	9.10~ 9.16	258	61	2	37		24		25	1	3	27			25	
38	9.17∼ 9.23	255	45	2	38	1	13		25		1	23			25	
39	9.24~ 9.30	261	61	3	38		17		25		3	29	2	[25	1
40	10. 1~10. 7	259	33	3	38		16		25	1	6	31			25	3
41	10. 8~10.14	260	32	6	38		12		25	2	1	30		. -	25	1
42	10. $15 \sim 10.21$ 10. $22 \sim 10.28$	259 261	32 24	2	38	1	17 14		25 25	3	4	33 36	1	-	25 25	1
43	$10.22 \sim 10.28$ $10.29 \sim 11.4$	261	16	6	39	1	15		25 25	<u>ა</u>	4	29	1		25 25	1
45	11. 5~11.11	259	24	3	39	1	16		25	3	2	43	1		25	1
46	11. 12~11. 18	261	20	3	39	1	13	1	25		3	32	1		25	
47	11.19~11.25	263	28	6	39	2	14		25		3	18	1		25	
48	11.26~12. 2	263	20	3	39		23		25		2	19			25	
49	12. 3~12. 9	262	27	3	38		21		25	1		29		[25	2
50	12. 10~12. 16	263	20	3	38		20		25		7	22	1		25	1
51	12.17~12.23	263	21	3	38		31		25	2	2	23			25	3
52	12.24~12.30 合 計	258	20 1,400	3 177	37	19	1,140		25	42	2 121	19 1,067	14		25	610
	口前		1,400	111		19	1,140	I		42	141	1,007	14	l L		010

表4-2(1) 週別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2012 年第1週~2012 年第52週

11.	T 2 (1)	<i></i>	<i>是</i>		N H + K I	- <i>-</i>			, ,1,,)[,,,,	2012 -	+ 277 ' .	<u> </u>	12 + 3.	, UZ <u>JEI</u>
		報へ	イン	報告	R S	咽頭	A球 群菌	感染	水痘	手足	伝 染	突 発	百日	ヘル	流行
		報へ告イ	フフ	定	ゥ	結	容咽	性	7豆.	上口	性	性	咳	パ	1J 性
		定シ	Íν.	点	イ	膜	血頭	胃		病	紅	発		ン	軍
週	期間	点フ	エ	数	ル	熱	性炎	腸			斑	l		ギ	耳下
<u> </u>	\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	数ルー	ザ		ス		レ	炎				ん		1	腺
		エン	7	小児	感染		ンサ							ナ	炎
		ザ		科	症		9								
		Û		Ü											
1	1. 2~ 1. 8	410	0.94	257	0.33	0.31	0.88	7.47	2.30	0.10	0.26	0.30	0.02	0.02	0.30
2	1. 9~ 1.15	418	3.22	264	0.28	0.23	1.56	11.47	2.16	0.13	0.26	0.52	0.01	0.03	0.26
3	$1.16 \sim 1.22$ $1.23 \sim 1.29$	418	14.70 32.23	263 263	0.28	0.20	2.10	12.65 9.67	1.46	0.08	0.27	0.52	0.01	0.02	0.16
5	1. 25 ~ 1. 29 1. 30 ~ 2. 5	419	45.20	264	0.33	0.21	2.00	7.81	1.43	0.05	0.19	0.46	0.03	0.02	0.19
6	2. 6~ 2.12	418	43.60	263	0.24	0.23	1.64	6.38	1.17	0.05	0.27	0.38	0.02	0.03	0.15
7	2. 13~ 2. 19	418	41.15	263	0.24	0.13	1.98	7.94	1.14	0.03	0.17	0.51	0.02	0.02	0.15
8	2. 13 · 2. 13 2. 20 ~ 2. 26	419	33.32	264	0.19	0.19	1.89	7.83	1.14	0.03	0.13	0.53	0.01	0.00	0.25
9		418	26.33	263	0.13	0.20	1.68	7.52	1.04	0.02	0.17	0.42	0.02	0.02	0.16
10	$2.27 \sim 3.4$ $3.5 \sim 3.11$	419	22.26	264	0.20	0.13	2.31	8.66	1.15	0.01	0.10	0.42	0.03	0.02	0.10
11	3. 12~ 3. 11	415	16.00	261	0.17	0.14	2.01	8.23	1.13	0.01	0.12	0.41	0.02	0.01	0.22
12	3. 19~ 3. 25	417	11.88	263	0.12	0.13	1.47	7.68	1.33	0.03	0.11	0.40	0.02	0.01	0.17
13	3. 26~ 4. 1	418	8.17	263	0.12	0.22	1.39	8.25	0.97	0.05	0.11	0.40	0.02	0.00	0.17
14	4. 2~ 4. 8	416	4.54	261	0.10	0.12	1.39	8.85	0.94	0.03	0.13	0.61	0.01	0.00	0.17
15	4. 2 4. 8 4. 9~ 4.15	414	3.81	262	0.13	0.11	1.74	11.46	0.94	0.01	0.13	0.49	0.04	0.02	0.19
-															
16	4. 16~ 4. 22	417	3.08	262	0.16	0.21	2.23	13.31	0.81	0.04	0.09	0.60	0.02	0.02	0.16
17	4. 23~ 4. 29	406	1.99	259	0.14	0.30	2.37	12.66	0.91	0.08	0.10	0.65	0.02	0.02	0.19
18	4.30~ 5. 6	401	0.49	251	0.07	0.16	1.14	5.14	0.45	0.11	0.11	0.39	0.02	0.02	0.12
19	5. 7∼ 5.13	418	0.35	263	0.07	0.47	2.44	8.12	1.36	0.12	0.16	0.79	0.03	0.04	0.31
20	5. 14~ 5. 20	416	0.22	261	0.10	0.36	3.25	8.74	0.80	0.11	0.18	0.77	0.02	0.06	0.29
21	5. 21∼ 5. 27	414	0.14	261	0.11	0.48	3.76	9.34	1.14	0.24	0.14	0.83	0.02	0.10	0.17
22	5. 28∼ 6. 3	415	0.10	261	0.14	0.61	3.34	9.72	1.07	0.31	0.16	0.82	0.03	0.26	0.29
23	6. 4~ 6.10	418	0.09	263	0.08	0.60	3.05	8.83	1.34	0.34	0.15	0.85	0.02	0.38	0.27
24	6.11~ 6.17	418	0.02	263	0.05	0.73	3.40	8.68	0.88	0.55	0.17	0.78	0.01	0.79	0.21
25	6. 18~ 6. 24	416	0.01	261	0.07	0.64	2.85	8.05	1.29	0.95	0.20	0.79	0.02	1.45	0.31
26	6.25∼ 7. 1	418	0.01	263	0.10	0.73	2.89	7.40	1.09	0.98	0.14	0.75	0.03	2.84	0.32
27	7. 2∼ 7. 8	418	0.01	263	0.13	0.72	2.41	6.66	0.83	0.88	0.25	0.87	0.04	4.46	0.40
28	7. 9∼ 7.15	412	0.05	260	0.11	0.66	2.20	5.52	0.99	1.38	0.23	0.78	0.03	8.04	0.30
29	7.16~ 7.22	416	0.02	262	0.19	0.61	1.41	3.94	0.56	1.32	0.14	0.73	0.02	8.30	0.31
30	7. 23~ 7. 29	416	0.01	263	0.23	0.63	1.48	4.00	0.67	1.27	0.13	0.78	0.02	7.64	0.29
31	7.30∼ 8. 5	413	0.01	260	0.27	0.58	1.10	3.78	0.50	1.18	0.08	0.76	0.02	5.43	0.23
32	8. 6∼ 8.12	375	0.01	247	0.47	0.45	0.82	3.38	0.46	1.00	0.05	0.68	0.01	3.36	0.26
33	8. 13~ 8. 19	362	0.01	219	0.48	0.37	0.64	2.39	0.29	0.55	0.05	0.42	0.01	1.27	0.18
34	8. 20~ 8. 26	401	0.03	251	0.58	0.45	0.74	3.04	0.45	0.64	0.08	0.67	0.01	1.45	0.22
35	8.27~ 9. 2	406	0.02	259	0.97	0.46	0.78	3.63	0.26	0.59	0.06	0.92	0.03	1.25	0.25
36	9. 3~ 9. 9	411	0.10	261	1.21	0.44	0.93	3.60	0.44	0.59	0.08	0.89	0.03	1.00	0.22
37	9.10~ 9.16	409	0.11	258	1.39	0.75	1.05	3.73	0.32	0.51	0.08	0.94	0.02	0.88	0.29
38	9.17~ 9.23	406	0.07	255	1.31	0.58	0.91	3.12	0.41	0.55	0.06	0.60	0.02	0.61	0.25
39	9.24~ 9.30	415	0.04	261	2.18	0.51	1.12	3.82	0.41	0.51	0.02	0.73	0.03	0.60	0.22
40	10. 1~10. 7	409	0.03	259	2.19	0.50	1.11	3.66	0.38	0.57	0.04	0.70	0.03	0.44	0.32
41	10. 8~10.14	409	0.04	260	1.38	0.28	1.15	2.96	0.49	0.49	0.03	0.66	0.02	0.30	0.29
42	10. 15~10. 21	414	0.05	259	1.15	0.32	1.31	4.14	0.40	0.40	0.05	0.66	0.01	0.18	0.20
43	10. 22~10. 28	415	0.04	261	0.97	0.31	1.31	4.77	0.69	0.39	0.05	0.63	0.03	0.22	0.23
44	10.29~11. 4	416	0.05	261	0.66	0.30	1.43	5.64	0.54	0.39	0.04	0.56	0.04	0.10	0.18
45	11. 5~11.11	414	0.09	259	0.67	0.44	2.10	9.51	0.93	0.48	0.07	0.75	0.04	0.10	0.27
46	11.12~11.18	413	0.17	261	0.52	0.41	2.22	13.44	0.92	0.45	0.03	0.59	0.04	0.07	0.26
47	11.19~11.25	417	0.24	263	0.57	0.38	1.98	15.89	1.28	0.47	0.02	0.58	0.01	0.08	0.21
48	11.26~12. 2	418	0.31	263	0.42	0.55	2.15	23.61	1.30	0.38	0.06	0.63	0.02	0.08	0.21
49	12. 3~12. 9	417	0.63	262	0.53	0.71	2.45	26.95	1.65	0.42	0.05	0.62	0.03	0.06	0.23
50	12.10~12.16	418	1.12	263	0.51	0.70	2.46	26.13	1.45	0.41	0.08	0.52	0.00	0.06	0.22
51	12.17~12.23	417	2.32	263	0.69	0.56	2.76	22.77	1.55	0.32	0.06	0.53		0.06	0.15
52	12.24~12.30	410	3.85	258	0.45	0.52	1.66	13.30	1.21	0.21	0.11	0.45	0.01	0.03	0.17
	平 均		6.22		0.47	0.41	1.86	8.76	0.96	0.40	0.12	0.63	0.02	1.01	0.23
			· 												

表4-2(2) 週別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2012年第1週~2012年第52週

週	期間	報告定点数(小児科)	不明発しん症	川崎病		報告定点数(眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎		報告定点数(基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	報告定点数(基幹)	インフルエンザ入院
1	1. 2~ 1. 8	257	0.04	0.00		36		0.97		25	0.04	0.04	1.24		25	0.28
2	1. 9~ 1.15	264	0.08	0.02		39		0.59		25		0.16	1.08		25	0.48
3	1. 16~ 1. 22	263	0.07	0.02		38		0.47		25	0.08	0.04	0.80		25	0.84
4 5	$1.23 \sim 1.29$ $1.30 \sim 2.5$	263 264	0.07	0.03		39 38		0.56		25 25	0.08	0.12	0.76		25 25	2.20 3.60
6	2. 6~ 2. 12	263	0.05	0.02		38		0.55		25	0.04	0.12	0.78		25	3.56
7	2. 13~ 2. 19	263	0.06	0.01		39		0.72	1	25	0.01	0.01	0.68	0.04	25	2.56
8	2. 20~ 2. 26	264	0.06	0.02		39		0.56		24	0.04	0.08	0.96		25	2.72
9	2.27∼ 3. 4	263	0.06	0.01		38		0.53		25		0.12	0.80		25	2.16
10	3. 5∼ 3.11	264	0.07	0.01		38		0.26		25	0.08	0.08	0.84		25	1.04
11	3. 12∼ 3. 18	261	0.05	0.03		38		0.37		24	0.04		0.58		25	0.72
12	3. 19~ 3. 25	263	0.05	0.01		38		0.26		24		0.13	0.63		25	0.68
13	3. 26~ 4. 1	263	0.07	0.00		38		0.42		25	0.04	0.08	0.56		25	0.76
14 15	4. 2~ 4. 8 4. 9~ 4.15	261 262	0.07	0.00		38 38	0.03	0.24		25 25		0.04	0.40		25 25	0.32
16	4. 16~ 4. 22	262	0.05	0.01		38	0.03	0.42		25		0.04	1.08		25	0.32
17	4. 23~ 4. 29	259	0.09	0.02		38	0.03	0.66		25	0.04	0.04	0.68	0.04	25	0.28
18	4. 30~ 5. 6	251	0.03	0.00		37	0.03	1.00		25			0.68		25	0.04
19	5. 7∼ 5.13	263	0.08	0.01		38		1.53		25		0.08	0.56		25	0.04
20	5. 14~ 5. 20	261	0.05	0.01		38		1.16		25		0.20	0.60		25	0.04
21	$5.21 \sim 5.27$	261	0.08	0.02		38		0.58		25		0.08	0.92		25	
22	5. 28∼ 6. 3	261	0.08	0.02		38		1.03		25	0.04	0.08	0.60	0.04	25	0.04
23	6. 4~ 6.10	263	0.08	0.01		39		0.77		25	0.04	0.04	0.36		25	0.08
24 25	$6.11 \sim 6.17$ $6.18 \sim 6.24$	263 261	0.14	0.02		39 38		0.87		25 25		0.08	0.76		25 25	
26	$6.18^{\circ} \ 0.24$ $6.25 \sim 7.1$	263	0.20	0.03		38	0.03	0.38		25		0.16	0.76		25	
27	7. 2~ 7. 8	263	0.14	0.02		39	0.03	0.43		25	0.04	0.10	0.72		25	
28	7. 9~ 7.15	260	0.19	0.01		37	0.03	0.38	1	23	0.01	0.09	0.61		25	0.04
29	7.16~ 7.22	262	0.11	0.01		39	0.03	0.69		25	0.08	0.16	0.64		25	
30	7.23~ 7.29	263	0.19	0.01		37		0.62		25	0.08	0.16	0.88		25	
31	7.30∼ 8. 5	260	0.21			38	0.08	0.71		25	0.12	0.12	0.24		25	0.08
32	8. 6~ 8.12	247	0.16	0.02		33	0.03	0.67		25	0.12	0.16	0.68	0.04	25	
33	8. 13~ 8. 19	219	0.12	0.00		36 38	0.03	0.33		25 25		0.24	0.44	0.04	25 25	
35	$8.20 \sim 8.26$ $8.27 \sim 9.2$	251 259	0.13	0.03		39	0.03	0.50		24		0.04	0.52	0.04	24	
36	9. 3~ 9. 9	261	0.13	0.00		38	0.03	0.13		25	0.08	0.13	0.88		25	
37	9. 10~ 9. 16	258	0.24	0.01		37		0.65		25	0.04	0.12	1.08		25	
38	9.17∼ 9.23	255	0.18	0.01		38	0.03	0.34		25		0.04	0.92		25	
39	9.24~ 9.30	261	0.23	0.01		38		0.45		25		0.12	1.16	0.08	25	0.04
40	10. 1~10. 7	259	0.13	0.01		38		0.42		25	0.04	0.24	1.24		25	0.12
41	10. 8~10.14	260	0.12	0.02		38		0.32		25	0.08	0.04	1.20		25	0.04
42	10. 15~10. 21	259	0.12	0.01		38	0.00	0.45		25	0.10	0.16	1.32	0.04	25	0.04
43	10. 22~10. 28	261	0.09	0.01		38	0.03	0.37		25	0.12	0.08	1.44	0.04	25 25	0.04
44	$10.29 \sim 11.4$ $11.5 \sim 11.11$	261 259	0.06	0.02		39 39	0.03	0.38		25 25	0.12	0.16	1.16	0.04	25	0.04
46	11. 12~11. 18	261	0.03	0.01		39	0.03	0.41		25	0.12	0.12	1.72	0.04	25	
47	11. 19~11. 25	263	0.11	0.02		39	0.05	0.36	1	25		0.12	0.72	0.04	25	$\overline{}$
48	11. 26~12. 2	263	0.08	0.01	Ì	39		0.59	1	25		0.08	0.76		25	
49	12. 3~12. 9	262	0.10	0.01		38		0.55		25	0.04		1.16		25	0.08
50	12. 10~12. 16	263	0.08	0.01		38		0.53		25		0.28	0.88	0.04	25	0.04
51	12. 17~12. 23	263	0.08	0.01		38		0.82	1	25	0.08	0.08	0.92		25	0.12
52	12. 24~12. 30	258	0.08	0.01	ļ	37	0.5:	0.32	1	25	0.08	0.08	0.76		25	0.44
	平 均		0.10	0.01	Į		0.01	0.58	1		0.03	0.09	0.82	0.01		0.47

表5-1(1) 保健所別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2012 年第1週~2012 年第52週

保 健 所	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4	677	3	31	4	37	458	62	39	4	39		65	10
中央区	5	960	3	47	62	198	753	100	76	4	138		124	54
みなと	9	2,489	6	299	332	400	2,233	351	114	26	257	26	265	28
新宿区	12	2,497	8	411	81	832	2,095	147	104	16	156	4	228	58
文京	7	1,430	4	32	54	171	927	153	62	20	98	3	100	26
台東	7	1,579	4	91	39	296	2,347	128	251	49	144	1	125	44
墨田区	8	1,794	5	162	41	464	1,103	205	91	26	158		190	25
江東区	14	5,039	9	359	377	907	6,799	502	454	142	422	1	639	93
品川区	12	2,553	8	87	119	554	3,854	241	119	43	232	7	284	14
目黒区	8	853	5	24	20	92	1,235	73	33	29	79		58	27
大田区	21	6,789	13	613	944	1,647	8,276	657	217	57	483	56	758	337
世田谷	25	8,574	16	379	236	2,133	8,211	704	722	178	435	14	636	97
渋谷区	7	1,128	4	36	38	99	1,312	136	32	9	95	2	90	19
中野区	11	2,462	7	121	21	351	3,304	271	84	19	197	0	347	60
杉並	16	4,166	10	50	47	617	3,952	284	68	13	239	2	210	127
池袋	8	1,916	5	34	22	117	944	59	42	9	33	9	109	25
北区	11	2,798	7	44	64	252	2,417	355	166	17	258	1	339	138
荒川区 板橋区	7 16	2,800	10	366 24	425 55	510 189	2,636 2,466	282	259 87	48	249 273	17 7	353 177	38 85
練馬区	21	7,328	13	151	180	1,261	5,585	346 597	129	41 27	421	16	1,021	70
足立	20	6,203	13	241	216	1,064	6,705	572	233	85	415	7	742	229
<u></u> 葛飾区	13	5,199	8	62	69	611	4,307	427	180	43	270	2	472	74
江戸川	19	6,098	12	227	525	1,552	6,561	498	273	55	400	12	818	106
八王子市	18	8,654	11	405	365	2,053	7,753	1,021	235	86	406	7	779	456
町田市	13	5,390	8	94	129	1,801	5,827	713	359	90	330	2	797	125
西多摩	14	4,608	8	80	106	467	2,385	373	48	48	128	7	258	73
南多摩	14	5,999	9	344	125	788	4,217	755	203	74	316	5	809	152
多摩立川	21	7,695	14	449	111	1,496	5,034	655	170	43	386	7	518	195
多摩府中	33	12,341	21	307	214	2,021	8,357	1,106	300	224	757	45	945	190
多摩小平	23	11,599	15	766	480	2,174	6,818	1,157	225	50	717	26	1,270	111
島しょ	2	703	1	13	9	70	96	65	36	51	16		22	3
合 計	419	135,064	264	6,349	5,510	25,224	118,967	12,995	5,411	1,626	8,547	286	13,548	3,089
定点当たり報		323.29		24.51	21.20	96.60	455.28	49.75	20.90	6.23	32.85	1.10	52.28	11.88
前年定点当たり	報告数	240.03		13.94	18.95	97.66	367.56	60.11	95.84	24.23	32.44	1.73	55.78	17.23
当年/前年	F	1.35		1.76	1.12	0.99	1.24	0.83	0.22	0.26	1.01	0.64	0.94	0.69

表5-1(2) 保健所別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2012 年第1週~2012 年第52週

保 健 所	設置定点数(小児科)	不明発しん症	川崎病
千代田	3	13	5
中央区	3	3	
みなと	6	3	6
新宿区	8	14	13
文京	4	6	
台東	4	3	1
墨田区	5	34	3
江東区	9	144	8
品川区	8	16	1
目黒区	5	8	2
大田区	13	140	14
世田谷	16	129	9
渋谷区	4	2	3
中野区	7	33	4
杉並	10	7	3
池袋	5	1	
北区	7	15	5
荒川区	4	60	10
板橋区	10	68	
練馬区	13	33	7
足立	13	24	1
葛飾区	8	32	5
江戸川	12	32	6
八王子市	11	115	8
町田市	8	148	3
西多摩	8	6	3
南多摩	9	15	6
多摩立川	14	56	8
多摩府中	21	157	22
多摩小平	15	83	20
島しょ	1		1
合 計	264	1,400	177
定点当たり報	告数	5.40	0.68
前年定点当たり		5.78	0.83
当年/前年	Ē	0.93	0.82

	急	流
設置定点数(眼科)	性出血性結膜炎	行性角結膜炎
1		75
2	2	31
1		56
1		12
1		50
1	2	20
1		58
2		42
2	5	26
1		97
1	2	14
1		26
1	1	27
1		19
1	1	41
2		18
2		30
2	3	87
1	2	30
2		39
2	1	43
1		
1		7
1		6
2		7
3		43
2		236
39	19	1,140
	0.50	30.01
	0.84	22.73
	0.60	1.32

設置定点数(基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	インフルエンザ入院
2			43		11
1	2	4	11	1	16
2	2	7	160	3	23
1	1	3	4		25
1	7	33	44	1	47
1		4	12		1
2	4	29	25		78
1		1	58	4	60
1					12
1	6				
1		9	11		40
1			34		17
1			349	5	58
1	1	1			23
1	1		2		6
1		2	9		23
3	16	23	189		127
2	2	5	114		43
1			2		
25	42	121	1,067	14	610
	1.68	4.86	42.84	0.56	24.40
	2.14	3.91	46.78	0.74	0.48
	0.79	1.24	0.92	0.75	50.83

表5-2(1) 保健所別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

保健所	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4	169.25	3	10.33	1.33	12.33	152.67	20.67	13.00	1.33	13.00		21.67	3.33
中央区	5	192.00	3	15.67	20.67	66.00	251.00	33.33	25.33	1.33	46.00		41.33	18.00
みなと	9	276.60	6	50.25	56.18	66.88	374.00	58.73	19.00	4.33	43.40	4.50	44.50	4.83
新宿区	12	208.12	8	52.54	10.16	104.81	262.99	18.49	13.11	2.00	19.73	0.54	28.81	7.29
文京	7	205.74	4	8.00	13.50	42.75	231.75	38.25	15.50	5.00	24.50	0.75	25.00	6.50
台東	7	225.57	4	22.75	9.75	74.00	586.75	32.00	62.75	12.25	36.00	0.25	31.25	11.00
墨田区	8	224.25	5	32.65	8.30	92.90	220.75	41.05	18.70	5.20	31.75		38.85	5.00
江東区	14	359.93	9	39.89	41.89	100.78	755.44	55.78	50.44	15.78	46.89	0.11	71.00	10.33
品川区	12	213.29	8	11.04	14.91	69.50	483.09	30.27	15.02	5.50	29.23	0.88	35.80	1.77
目黒区	8	108.61	5	4.80	4.00	18.55	248.95	14.60	6.60	5.90	15.85		11.60	5.60
大田区	21	323.40	13	48.83	73.87	128.29	642.55	50.96	17.13	4.44	37.79	4.39	58.99	26.32
世田谷	25	343.30	16	24.36	14.92	134.77	517.54	44.47	45.94	11.31	27.73	0.88	40.92	6.23
渋谷区	7	163.07	4	9.00	10.00	24.83	329.67	34.50	8.00	2.33	23.83	0.50	23.00	4.75
中野区	11	223.82	7	17.29	3.00	50.14	472.00	38.71	12.00	2.71	28.14		49.57	8.57
杉並	16	260.55	10	5.18	5.01	62.01	398.71	28.52	6.92	1.30	24.63	0.20	21.81	12.84
池袋	8	239.79	5	7.00	4.82	24.97	196.63	12.23	9.08	1.85	7.08	1.85	23.93	5.28
北区	11	257.78	7	6.29	9.26	36.60	350.74	51.36	24.23	2.45	37.27	0.14	49.21	20.18
荒川区	7	400.05	4	92.00	106.58	127.58	659.42	70.67	65.25	12.00	62.33	4.25	88.42	9.50
板橋区	16	172.06	10	2.68	5.83	20.36	262.33	36.49	9.33	4.26	28.81	0.72	18.12	9.00
練馬区	21	348.99	13	12.25	14.26	97.99	434.19	46.33	10.50	2.11	33.39	1.24	80.88	5.60
足立	20	310.37	13	18.61	16.71	82.59	518.93	44.40	18.82	6.56	32.57	0.54	57.95	17.78
葛飾区	13	400.33	8	7.75	8.67	76.71	540.17	53.67	22.63	5.46	33.79	0.25	59.00	9.25
江戸川	19	323.51	12	19.37	44.32	130.54	552.94	41.85	23.00	4.62	33.79	1.02	68.80	8.96
八王子市	18	480.78	11	36.98	33.48	187.10	706.66	93.16	21.42	7.90	37.09	0.64	71.65	41.70
町田市	13	414.62	8	11.75	16.41	225.52	729.66	89.30	45.18	11.25	41.50	0.25	100.57	15.73
西多摩	14	329.14	8	10.00	13.25	58.38	298.13	46.63	6.00	6.00	16.00	0.88	32.25	9.13
南多摩	14	428.60	9	38.93	14.03	87.85	469.72	84.24	22.85	8.22	35.42	0.56	91.58	16.99
多摩立川	21	366.70	14	32.07	7.93	106.86	359.57	46.79	12.14	3.07	27.57	0.50	37.00	13.93
多摩府中	33	378.36	21	15.44	10.62	99.69	410.53	54.47	15.07	11.10	37.60	2.28	47.88	9.45
多摩小平	23	504.83	15	51.27	32.36	146.90	461.64	77.95	15.05	3.38	48.50	1.74	84.77	7.46
島しょ	2	351.50	1	13.00	9.00	70.00	96.00	65.00	36.00	51.00	16.00		22.00	3.00
定点当たり報		323.29		24.51	21.20	96.60	455.28	49.75	20.90	6.23	32.85	1.10	52.28	11.88
前年定点当たり		240.03		13.94	18.95	97.66	367.56	60.11	95.84	24.23	32.44	1.73	55.78	17.23
当年/前年	+	1.35		1.76	1.12	0.99	1.24	0.83	0.22	0.26	1.01	0.64	0.94	0.69

表5-2(2) 保健所別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

保 健 所	設置定点数(小児科)	不明発しん症	川崎病
千代田	3	4.33	1.67
中央区	3	1.00	
みなと	6	0.50	1.00
新宿区	8	1.75	1.73
文京	4	1.50	
台東	4	0.75	0.25
墨田区	5	6.85	0.60
江東区	9	16.00	0.89
品川区	8	2.02	0.13
目黒区	5	1.60	0.40
大田区	13	11.08	1.10
世田谷	16	8.23	0.57
渋谷区	4	0.50	0.75
中野区	7	4.71	0.57
杉並	10	0.70	0.30
池袋	5	0.20	
北区	7	2.14	0.71
荒川区	4	15.00	2.50
板橋区	10	7.33	
練馬区	13	2.65	0.57
足立	13	1.96	0.08
葛飾区	8	4.00	0.63
江戸川	12	2.77	0.51
八王子市	11	10.56	0.75
町田市	8	18.68	0.38
西多摩	8	0.75	0.38
南多摩	9	1.78	0.67
多摩立川	14	4.00	0.57
多摩府中	21	7.85	1.08
多摩小平	15	5.57	1.35
島しょ	1		1.00
定点当たり報		5.40	0.68
前年定点当たり	報告数	5.78	0.83
当年/前年	Ē	0.93	0.82

設置定点数(眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
1		75.00
2	1.50	20.00
1		56.00
1		12.00
1		50.00
1	2.00	20.00
1		58.00
2		21.00
2	3.00	13.50
1		97.00
1	2.00	14.00
1		26.00
1	1.00	27.00
1		19.00
1	1.00	41.00
2		9.00
2		15.00
2	1.50	45.50
1	2.00	30.00
2		19.50
2	0.50	21.50
1		
1		7.00
1		6.00
2		3.50
3		14.67
2		118.00
	0.50	30.01
	0.84	22.73
	0.60	1.32

	細	無	マ	h	1
設	菌	菌	イ	クへ ラオ	イン
置定	性	性	コープ	ミウジム	フ
点	髄 膜	性髄膜炎	イコプラズマ	ア病	ルエ
数	炎	炎	ズ	肺を	ン
基			マ 肺	炎除	ザ 入
幹			炎	<	院
2			21.50		5.50
1	2.00	4.00	11.00	1.00	16.00
2	1.00	3.50	80.00	1.50	11.50
1	1.00	3.00	4.00		25.00
1	7.00	33.00	44.00	1.00	47.00
1		4.00	12.00		1.00
2	2.00	14.50	12.50		39.00
1		1.00	58.00	4.00	60.00
1					12.00
1	6.00				
1		9.00	11.00		40.00
1			34.00		17.00
1			349.00	5.00	58.00
1	1.00	1.00			23.00
1	1.00		2.00		6.00
1		2.00	9.00		23.00
3	5.67	7.83	65.17		42.33
2	1.00	2.50	57.00		21.50
1			2.00		
	1.68	4.86	42.84	0.56	24.40
	2.14	3.91	46.78	0.74	0.48
	0.79	1.24	0.92	0.75	50.83

表6-1 年齢階級別患者報告数(インフルエンザ・小児科)

2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

年齢階級	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
6か月未満	239	898	26	18	1,101	165	26	2	169	22	104	
12 か月未満	1,033	1,581	264	107	8,084	563	384	37	3,313	16	1,153	15
1歳	4,097	2,381	1,026	659	17,889	1,838	1,432	131	4,123	16	3,601	145
2歳	5,140	886	737	1,175	12,198	2,017	1,016	162	682	4	2,656	223
3歳	7,216	325	799	2,351	11,287	2,267	800	184	158	10	1,904	343
4歳	10,455	175	784	3,323	10,899	2,178	620	245	51	8	1,575	485
5歳	11,880	46	609	3,782	8,920	1,548	385	248	22	8	1,016	503
6歳	11,502	20	379	3,344	6,847	938	240	176	8	5	508	397
7歳	10,928	7	208	2,774	5,796	535	150	127	7	5	315	298
8歳	8,884	8	159	2,076	4,990	314	113	101	7	2	206	215
9歳	7,607	1	99	1,392	3,994	192	76	79	1	7	156	149
10~14歳	23,072	11	191	2,712	10,604	322	80	108	4	15	180	219
15~19歳	5,167	3	23	194	2,545	24	4	3		10	26	20
20~29歳	5,530	7	206	1,317	13,813	94	85	23	2	158	148	77
30~39歳	9,121											
40~49歳	7,406											
50~59歳	2,640											
60~69歳	1,776											
70~79歳	961											
80歳以上	410											
合 計	135,064	6,349	5,510	25,224	118,967	12,995	5,411	1,626	8,547	286	13,548	3,089

注: 小児科定点把握対象疾病の「20~29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

表6-2 年齡階級別患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

年 齢 階 級	不明発しん症	川 崎 病
6か月未満	50	8
12 か月未満	206	35
1歳	425	59
2歳	220	24
3歳	123	19
4歳	106	19
5歳	89	6
6歳	52	2
7歳	33	3
8歳	16	
9歳	12	1
10~14歳	27	1
15~19歳	6	
20~29歳	35	
30~39歳		
40~49歳		
50~59歳		
60~69歳		
70~79歳		
80歳以上		
合 計	1,400	177

急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
	7
	16
3	38
	28
	37
1	32
	30
	23
	14
	11
	8
1	32
	13
2	130
3	302
2	185
3	84
4	91
	59
19	1,140

細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	インフルエンザ入院
8	20			24
3	2	2		21
1	8	86	1	49
	1	79		31
	1	118		34
1	2	91	1	30
	7	69	2	32
	5	62		38
1	7	64		16
1	1	60		18
	1	47		16
	10	146		40
2	3	44		16
3	19	56		13
3	16	52	1	12
5	11	34		8
	1	12		16
7	1	20	3	44
6	3	15	3	60
1	2	10	3	92
42	121	1,067	14	610

注:小児科定点把握対象疾病の「20~29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

注:眼科疾患の「70~79歳」は「70歳以上」と読みかえる。

表7-1(1) 二次医療圏別患者報告数(インフルエンザ・小児科)

2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

二次医療圈	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	7,135	20	500	491	1,102	6,718	794	542	103	676	30	679	162
2 区南部圏	33	9,342	21	700	1,063	2,201	12,130	898	336	100	715	63	1,042	351
3 区西南部圏	40	10,555	25	439	294	2,324	10,758	913	787	216	609	16	784	143
4 区西部圏	39	9,125	25	582	149	1,800	9,351	702	256	48	592	6	785	245
5 区西北部圏	56	14,785	35	253	321	1,819	11,412	1,357	424	94	985	33	1,646	318
6 区東北部圏	40	14,202	25	669	710	2,185	13,648	1,281	672	176	934	26	1,567	341
7 区東部圏	41	12,931	26	748	943	2,923	14,463	1,205	818	223	980	13	1,647	224
8 西多摩圏	14	4,608	8	80	106	467	2,385	373	48	48	128	7	258	73
9 南多摩圏	45	20,043	28	843	619	4,642	17,797	2,489	797	250	1,052	14	2,385	733
10 北多摩西部圏	21	7,695	14	449	111	1,496	5,034	655	170	43	386	7	518	195
11 北多摩南部圏	33	12,341	21	307	214	2,021	8,357	1,106	300	224	757	45	945	190
12 北多摩北部圏	23	11,599	15	766	480	2,174	6,818	1,157	225	50	717	26	1,270	111
13 島しょ圏	2	703	1	13	9	70	96	65	36	51	16	0	22	3
合 計	419	135,064	264	6,349	5,510	25,224	118,967	12,995	5,411	1,626	8,547	286	13,548	3,089

表7-1(2) 二次医療圏別患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

二次医療圏	設置定点数(小児科)	不明発しん症	川崎病
1 区中央部圏	20	28	12
2 区南部圏	21	156	15
3 区西南部圏	25	139	14
4 区西部圏	25	54	20
5 区西北部圏	35	117	12
6 区東北部圏	25	116	16
7 区東部圏	26	210	17
8 西多摩圏	8	6	3
9 南多摩圏	28	278	17
10 北多摩西部圏	14	56	8
11 北多摩南部圏	21	157	22
12 北多摩北部圏	15	83	20
13 島しょ圏	1		1
合 計	264	1,400	177

設置定点数(眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
2		131
3	2	62
4	5	181
4	4	71
6	1	94
4	6	158
4		101
1		7
4	1	49
2		7
3		43
2		236
39	19	1,140

設置定点数(基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	インフルエンザ入院
4	3	7	58	1	52
1		4	12		1
3	4	30	83	4	138
4	8	7	160	3	35
2		9	45		57
1			349	5	58
1	7	33	44	1	47
1	1		2		6
1	1	1			23
1		2	9		23
3	16	23	189		127
2	2	5	114		43
1			2		
25	42	121	1,067	14	610

表7-2(1) 二次医療圏別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科)

2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

二次医療圏	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	223.32	20	25.04	24.62	55.17	336.16	39.75	27.13	5.17	33.87	1.51	33.99	8.11
2 区南部圏	33	283.38	21	34.31	51.28	105.75	581.55	43.04	16.29	4.84	34.48	3.04	50.10	16.91
3 区西南部圏	40	265.56	25	17.87	11.90	93.98	433.69	36.88	32.06	8.77	24.71	0.64	32.17	5.84
4 区西部圏	39	234.08	25	23.83	6.04	72.54	376.14	28.26	10.41	1.93	23.96	0.25	32.05	9.85
5 区西北部圏	56	265.11	35	7.60	9.63	53.36	336.14	39.97	12.85	2.75	29.20	0.97	49.32	9.44
6 区東北部圏	40	355.24	25	26.90	28.51	87.71	548.01	51.61	27.37	7.06	37.61	1.04	63.15	13.71
7 区東部圏	41	316.62	26	29.10	36.62	112.91	559.40	46.52	31.81	8.61	37.99	0.50	63.77	8.68
8 西多摩圏	14	329.14	8	10.00	13.25	58.38	298.13	46.63	6.00	6.00	16.00	0.88	32.25	9.13
9 南多摩圏	45	445.46	28	30.37	22.38	166.28	637.38	89.20	28.75	8.97	37.85	0.50	86.28	26.40
10 北多摩西部圏	21	366.70	14	32.07	7.93	106.86	359.57	46.79	12.14	3.07	27.57	0.50	37.00	13.93
11 北多摩南部圏	33	378.36	21	15.44	10.62	99.69	410.53	54.47	15.07	11.10	37.60	2.28	47.88	9.45
12 北多摩北部圏	23	504.83	15	51.27	32.36	146.90	461.64	77.95	15.05	3.38	48.50	1.74	84.77	7.46
13 島しょ圏	2	351.50	1	13.00	9.00	70.00	96.00	65.00	36.00	51.00	16.00		22.00	3.00

表7-2(2) 二次医療圏別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2012 年第 1 週~2012 年第 52 週

設置定点数(眼科)	心性出血性結膜炎	紀行性角結膜炎
2		65.50
3	0.67	20.67
4	1.33	46.00
4	1.25	21.00
6	0.17	15.82
4	1.58	40.83
4		25.58
1		7.00
4	0.25	12.25
2		3.50
3		14.67
2		118.00

3 0.67 20.67 4 1.33 46.00 4 1.25 21.00 4 1.58 40.00 4 1.58 40.83 4 25.58 1 7.00 1 7.00 1 2.00 4 0.25 12.25 1 1.00 2.00 6.00 2 3.50 1 2.00 9.00 3 14.67 3 5.67 7.83 65.17 42.33	設置定点数(眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数(基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	インフルエンザ入院
4 1.33 46.00 3 1.33 10.00 27.67 1.33 46.00 4 1.25 21.00 4 2.00 1.75 40.00 0.75 8.75 6 0.17 15.82 2 4.50 22.50 28.50 4 1.58 40.83 1 349.00 5.00 58.00 4 25.58 1 7.00 33.00 44.00 1.00 47.00 1 7.00 1 1.00 2.00 6.00 4 0.25 12.25 1 1.00 1.00 23.00 2 3.50 1 2.00 9.00 23.00 3 14.67 3 5.67 7.83 65.17 42.33	2		65.50	4	0.75	1.75	14.50	0.25	13.00
4 1.25 21.00 4 2.00 1.75 40.00 0.75 8.75 6 0.17 15.82 2 4.50 22.50 28.50 4 1.58 40.83 1 349.00 5.00 58.00 4 25.58 1 7.00 33.00 44.00 1.00 47.00 1 7.00 1 1.00 2.00 6.00 4 0.25 12.25 1 1.00 1.00 23.00 2 3.50 1 2.00 9.00 23.00 3 14.67 3 5.67 7.83 65.17 42.33	3	0.67	20.67	1		4.00	12.00		1.00
6 0.17 15.82 2 4.50 22.50 28.50 4 1.58 40.83 1 349.00 5.00 58.00 4 25.58 1 7.00 33.00 44.00 1.00 47.00 1 7.00 1 1.00 2.00 6.00 4 0.25 12.25 1 1.00 1.00 23.00 2 3.50 1 2.00 9.00 23.00 3 14.67 3 5.67 7.83 65.17 42.33	4	1.33	46.00	3	1.33	10.00	27.67	1.33	46.00
4 1.58 40.83 1 349.00 5.00 58.00 4 25.58 1 7.00 33.00 44.00 1.00 47.00 1 7.00 1 1.00 2.00 6.00 4 0.25 12.25 1 1.00 1.00 23.00 2 3.50 1 2.00 9.00 23.00 3 14.67 3 5.67 7.83 65.17 42.33	4	1.25	21.00	4	2.00	1.75	40.00	0.75	8.75
4 25.58 1 7.00 33.00 44.00 1.00 47.00 1 7.00 1 1.00 2.00 6.00 4 0.25 12.25 1 1.00 1.00 23.00 2 3.50 1 2.00 9.00 23.00 3 14.67 3 5.67 7.83 65.17 42.33	6	0.17	15.82	2		4.50	22.50		28.50
1 7.00 1 1.00 2.00 6.00 4 0.25 12.25 1 1.00 1.00 23.00 2 3.50 1 2.00 9.00 23.00 3 14.67 3 5.67 7.83 65.17 42.33	4	1.58	40.83	1			349.00	5.00	58.00
4 0.25 12.25 1 1.00 1.00 23.00 2 3.50 1 2.00 9.00 23.00 3 14.67 3 5.67 7.83 65.17 42.33	4		25.58	1	7.00	33.00	44.00	1.00	47.00
2 3.50 1 2.00 9.00 23.00 3 14.67 3 5.67 7.83 65.17 42.33	1		7.00	1	1.00		2.00		6.00
3 14.67 3 5.67 7.83 65.17 42.33	4	0.25	12.25	1	1.00	1.00			23.00
	2		3.50	1		2.00	9.00		23.00
2 118.00 2 1.00 2.50 57.00 21.50	3		14.67	3	5.67	7.83	65.17		42.33
2 110.00 2 1.00 2.00 01.00 21.00	2		118.00	2	1.00	2.50	57.00		21.50
1 2.00				1			2.00		

表8-1 月別患者報告数(基幹)

2012年1月~2012年12月

ペ肺 薬ア チ色 二炎 剤 剤シ シ球 耐ネ 耐 リド リ菌 性 性ト 報 ン感 緑 バ 告 耐染 膿 1定点 耐球 ク ター 性菌 性症 菌 |感 感 感染 染 染 症 症 症 2 1月 25 106 48 2月 24 65 32 1 3月 25 102 38 4 4月 25 75 29 3 5月 25 98 47 6月 25 85 42 7月 24 109 40 4 8月 25 87 34 1 9月 25 85 33 1 10月 25 93 3 34 25 98 3 11月 28 12月 25 71 2 35 合 計 1,074 440 24 0

表8-2 月別定点当たり患者報告数(基幹)

2012年1月~2012年12月

	報告定点数	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	薬剤耐性アシネトバクター感染症
1月	25	4.24	1.92	0.08	
2月	24	2.71	1.33	0.04	
3月	25	4.08	1.52	0.16	
4月	25	3.00	1.16	0.12	
5月	25	3.92	1.88		
6月	25	3.40	1.68		
7月	24	4.54	1.67	0.17	
8月	25	3.48	1.36	0.04	
9月	25	3.40	1.32	0.04	
10月	25	3.72	1.36	0.12	
11月	25	3.92	1.12	0.12	
12月	25	2.84	1.40	0.08	
平	均	3.60	1.48	0.08	0.00

表8-3 月別・性別患者報告数(基幹) 2012年1月~2012年12月

	メチシリ 黄色ブドウ ፣		ペニシ! 肺炎球菌	リン耐性 菌感染症		耐性 感染症	薬剤耐性 アシネトバクター感染症		
	男	女	男	女	男	女	男	女	
1月	64	42	29	19	1	1			
2月	45	20	20	12	1				
3月	60	42	22	16	2	2			
4月	49	26	18	11	2	1			
5月	60	38	21	26					
6月	57	28	29	13					
7月	56	53	16	24	4				
8月	56	31	22	12	1				
9月	51	34	20	13	1				
10月	62	31	19	15	2	1			
11月	55	43	18	10	2	1			
12月	45	26	20	15	2				
合計	660	414	254	186	18	6	0	0	

表8-4 年齢階級別患者報告数(基幹) 2012年1月~2012年12月

年齢階級	メチシリ 黄色ブドウ ፤	ン耐性 球菌感染症	ペニシリ 肺炎球菌	リン耐性 菌感染症		耐性 感染症	薬剤耐性 アシネトバクター感染症		
	男	女	男	女	男	女	男	女	
0歳	72	63	20	14	1	0			
1~4歳	52	47	70	65	0	2			
5~9歳	26	20	10	9	0	1			
10~14歳	25	6	4	2	0	0			
15~19歳	9	16	3	2	0	0			
20~24歳	1	4	1	2	2	0			
25~29歳	6	8	2	2	0	0			
30~34歳	3	7	4	3	0	0			
35~39歳	9	11	4	5	0	0			
40~44歳	14	4	5	2	1	0			
45~49歳	12	6	1	1	0	0			
50~54歳	13	10	3	1	3	1			
55~59歳	22	11	4	3	0	1			
60~64歳	40	14	17	9	0	0			
65~69歳	48	25	16	11	1	0			
70歳以上	308	162	90	55	10	1			
合 計	660	414	254	186	18	6	0	0	
定点当たり報告数	26.57	16.68	10.22	7.50	0.73	0.24	0.00	0.00	
前年定点当たり報告数	30.76	15.91	14.78	9.76	0.99	0.53	_	-	
当年/前年	0.86	1.05	0.69	0.77	0.74	0.45	_	_	

表9-1 月別患者報告数(STI) 2012年1月~2012年12月

圭

コ

器

10月

11月

12月

合

2,315

1,311

1,035

器イ

ヘル

トリ

毒

様

菌

感染 クラミジア感 報告 ンジ ルス コ 疾 ぺ感 モ 定 ス染 ナ 口 点 ス 症 数 症 マ 染症 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月

表9-2 月別定点あたり患者報告数(STI) 2012年1月~2012年12月

	報告定点数	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
1月	55	3.56	1.85	1.09	1.78	0.11	0.13
2月	53	3.19	1.89	1.30	1.64	0.15	0.26
3月	55	3.33	2.07	1.27	1.58	0.22	0.18
4月	54	3.07	1.74	1.35	1.63	0.20	0.22
5月	54	3.46	2.11	1.44	1.26	0.22	0.17
6月	54	3.61	2.04	1.48	1.70	0.13	0.09
7月	54	4.11	2.04	0.93	1.67	0.20	0.15
8月	55	3.85	2.02	1.25	1.38	0.27	0.18
9月	55	3.73	1.78	1.24	1.42	0.22	0.20
10月	55	4.44	2.45	1.73	1.65	0.27	0.31
11月	53	3.17	2.30	1.62	1.81	0.23	0.06
12月	54	3.11	1.87	1.46	1.56	0.15	0.26
平	均	3.55	2.01	1.35	1.59	0.20	0.18

表9-3 月別·性別患者報告数(STI) 2012年1月~2012年12月

	報告定点	性器クラ		性器へウイルス			尖圭 コンジローマ 淋菌感		淋菌感染症 膣トリコモナス症		梅毒様疾患		
	数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	114	82	73	29	34	26	82	16	1	5	6	1
2月	53	95	74	66	34	42	27	74	13		8	11	3
3月	55	97	86	71	43	49	21	76	11		12	8	2
4月	54	99	67	65	29	50	23	79	9		11	11	1
5月	54	119	68	69	45	49	29	61	7	1	11	8	1
6月	54	108	87	65	45	53	27	79	13	2	5	4	1
7月	54	134	88	63	47	35	15	77	13		11	7	1
8月	55	124	88	63	48	44	25	68	8		15	10	
9月	55	120	85	63	35	44	24	65	13	4	8	11	
10月	55	152	92	86	49	63	32	73	18	3	12	15	2
11月	53	103	65	74	48	56	30	79	17	2	10		3
12月	54	105	63	55	46	55	24	74	10		8	12	2
合	計	1,370	945	813	498	574	303	887	148	13	116	103	17

表9-4 月別·性別定点当たり患者報告数(STI) 2012年1月~2012年12月

	報告定点	性器グ		性器へウイルス	ルペス	尖圭 コンジローマ		マ 淋菌感染症		膣トリコモナス症		梅毒様疾患	
	数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	2.07	1.49	1.33	0.53	0.62	0.47	1.49	0.29	0.02	0.09	0.11	0.02
2月	53	1.79	1.40	1.25	0.64	0.79	0.51	1.40	0.25		0.15	0.21	0.06
3月	55	1.76	1.56	1.29	0.78	0.89	0.38	1.38	0.20		0.22	0.15	0.04
4月	54	1.83	1.24	1.20	0.54	0.93	0.43	1.46	0.17		0.20	0.20	0.02
5月	54	2.20	1.26	1.28	0.83	0.91	0.54	1.13	0.13	0.02	0.20	0.15	0.02
6月	54	2.00	1.61	1.20	0.83	0.98	0.50	1.46	0.24	0.04	0.09	0.07	0.02
7月	54	2.48	1.63	1.17	0.87	0.65	0.28	1.43	0.24		0.20	0.13	0.02
8月	55	2.25	1.60	1.15	0.87	0.80	0.45	1.24	0.15		0.27	0.18	
9月	55	2.18	1.55	1.15	0.64	0.80	0.44	1.18	0.24	0.07	0.15	0.20	
10月	55	2.76	1.67	1.56	0.89	1.15	0.58	1.33	0.33	0.05	0.22	0.27	0.04
11月	53	1.94	1.23	1.40	0.91	1.06	0.57	1.49	0.32	0.04	0.19		0.06
12月	54	1.94	1.17	1.02	0.85	1.02	0.44	1.37	0.19		0.15	0.22	0.04

表9-5 保健所別、二次医療圏別患者報告数(STI)

2012年1月~2012年12月

保健所	設置定点	性器グ		性器へウイルス		尖 コンジ		淋菌原	感染症	膣トリコニ	モナス症	梅毒梅	 様疾患	合	計
	数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	168	6	27	1	64		145				9		413	7
中央区	3	118	19	56	5	16	1	41	1		3			231	29
みなと	2	87	68	324	81	97	70	45	7		7	5	2	558	235
新宿区	7	299	94	142	97	205	97	298	45	1	11	57	6	1,002	350
文京	1	57	1	17	5	24		29				3		130	6
台東	2		22		14				2	1	12			1	50
墨田区	2	20	15	11	7	4	5	4	3		5		2	39	37
江東区	2	114	10	69	10	32	1	80	3		3	5		300	27
品川区	1	80	6	48	5	23		32	2		1	1		184	14
大田区	2	30	87				4	20			1		1	50	93
渋谷区	5	106	64	30	86	14	35	30	2	4	4	6		190	191
中野区	2	32	9	9	1	2	11	32	4	1	16	6	1	82	42
杉並	2	38	10	2	2	4	3	15	1			1		60	16
池袋	3	124	95	52	62	57	29	57	28	3	9	8	1	301	224
北区	1	10				19	2	1						30	2
荒川区	1		23		11		1		1		1				37
板橋区	2	20	56	8	27	4	9	25	7		4			57	103
足立	2	22	32	10	5	5	4	15	5	2	4	1	2	55	52
江戸川	2	28	67	8	19	2	10	6	7		17	1	2	45	122
八王子市	4	1	73		12		6		5		6			1	102
町田市	1		32		21		2				1				56
多摩立川	2	7	153		25		7	4	24		8			11	217
多摩府中	3	9	1		2	2	6	8		1	2			20	11
多摩小平	1		2						1		1				4
合 計	55	1,370	945	813	498	574	303	887	148	13	116	103	17	3,760	2,027
定点当たり報行	告数	25.24	17.40	14.98	9.18	10.59	5.59	16.36	2.73	0.24	2.14	1.89	0.32	69.29	37.35
前年定点当たり	報告数	25.43	18.95	14.77	7.83	10.46	4.85	18.81	3.35	0.35	2.14	1.94	0.20	71.76	37.31
当年/前年	Ē.	0.99	0.92	1.01	1.17	1.01	1.15	0.87	0.82	0.69	1.00	0.98	1.57	0.97	1.00
区中央部圏	10	430	116	424	106	201	71	260	10	1	22	17	2	1,333	327
区南部圏	3	110	93	48	5	23	4	52	2		2	1	1	234	107
区西南部圏	5	106	64	30	86	14	35	30	2	4	4	6		190	191
区西部圏	11	369	113	153	100	211	111	345	50	2	27	64	7	1,144	408
区西北部圏	6	154	151	60	89	80	40	83	35	3	13	8	1	388	329
区東北部圏	3	22	55	10	16	5	5	15	6	2	5	1	2	55	89
区東部圏	6	162	92	88	36	38	16	90	13		25	6	4	384	186
南多摩圏	5	1	105		33		8		5		7			1	158
北多摩西部圏	2	7	153		25		7	4	24		8			11	217
北多摩南部圏	3	9	1		2	2	6	8		1	2			20	11
北多摩北部圏	1		2						1		1				4

表9-6 保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数(STI)

2012年1月~2012年12月

保健所	設置定点	性器グ		性器へ ウイルス	ルペス		圭 ローマ	淋菌原	感染症	膣トリコー	モナス症	梅毒梅	 養疾患	合	計
	数数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	84.00	3.00	13.50	0.50	32.00		72.50				4.50		206.50	3.50
中央区	3	39.33	6.33	18.67	1.67	5.33	0.33	13.67	0.33		1.00			77.00	9.67
みなと	2	43.50	34.00	162.00	40.50	48.50	35.00	22.50	3.50		3.50	2.50	1.00	279.00	117.50
新宿区	7	43.29	13.60	20.60	14.21	29.81	14.17	43.19	6.62	0.14	1.60	8.14	0.90	145.17	51.10
文京	1	57.00	1.00	17.00	5.00	24.00		29.00				3.00		130.00	6.00
台東	2		11.00		7.00				1.00	0.50	6.00			0.50	25.00
墨田区	2	10.00	7.50	5.50	3.50	2.00	2.50	2.00	1.50		2.50		1.00	19.50	18.50
江東区	2	57.00	5.00	34.50	5.00	16.00	0.50	40.00	1.50		1.50	2.50		150.00	13.50
品川区	1	80.00	6.00	48.00	5.00	23.00		32.00	2.00		1.00	1.00		184.00	14.00
大田区	2	15.00	43.50				2.00	10.00			0.50		0.50	25.00	46.50
渋谷区	5	21.65	13.45	6.25	17.95	2.95	7.30	6.05	0.40	0.90	0.80	1.30		39.10	39.90
中野区	2	16.00	4.50	4.50	0.50	1.00	5.50	16.00	2.00	0.50	8.00	3.00	0.50	41.00	21.00
杉並	2	19.00	5.00	1.00	1.00	2.00	1.50	7.50	0.50			0.50		30.00	8.00
池袋	3	41.33	31.67	17.33	20.67	19.00	9.67	19.00	9.33	1.00	3.00	2.67	0.33	100.33	74.67
北区	1	10.00				19.00	2.00	1.00						30.00	2.00
荒川区	1		23.00		11.00		1.00		1.00		1.00				37.00
板橋区	2	10.00	28.00	4.00	13.50	2.00	4.50	12.50	3.50		2.00			28.50	51.50
足立	2	11.50	16.00	5.00	2.50	3.00	2.00	7.50	2.50	1.00	2.00	0.50	1.00	28.50	26.00
江戸川	2	14.00	34.50	4.00	10.00	1.00	5.00	3.00	3.50		9.00	0.50	1.00	22.50	63.00
八王子市	4	0.25	18.25		3.00		1.50		1.25		1.50			0.25	25.50
町田市	1		32.00		21.00		2.00				1.00				56.00
多摩立川	2	3.50	76.50		12.50		3.50	2.00	12.00		4.00			5.50	108.50
多摩府中	3	3.50			0.83	0.67	1.33	3.00		0.33	0.67			7.50	2.83
多摩小平	1		2.00						1.00		1.00				4.00
合 計	55	1,370	945	813	498	574	303	887	148	13	116	103	17	3,760	2,027
定点当たり報	告数	25.24	17.40	14.98	9.18	10.59	5.59	16.36	2.73	0.24	2.14	1.89	0.32	69.29	37.35
区中央部圏	10	43.00	11.60	42.40	10.60	20.10	7.10	26.00	1.00	0.10	2.20	1.70	0.20	133.30	32.70
区南部圏	3	36.67	31.00	16.00	1.67	7.67	1.33	17.33	0.67		0.67	0.33	0.33	78.00	35.67
区西南部圏	5	21.65	13.45	6.25	17.95	2.95	7.30	6.05	0.40	0.90	0.80	1.30		38.00	38.20
区西部圏	11	33.82	10.34	14.03	9.23	19.40	10.22	31.62	4.62	0.18	2.47	5.82	0.65	104.00	37.09
区西北部圏	6	25.67	25.17	10.00	14.83	13.33	6.67	13.83	5.83	0.50	2.17	1.33	0.17	64.67	54.83
区東北部圏	3	7.50	18.33	3.33	5.33	1.83	1.67	5.00	2.00	0.67	1.67	0.33	0.67	18.33	29.67
区東部圏	6	27.40	15.47	14.80	6.10	6.53	2.70	15.37	2.17		4.20	1.00	0.67	64.00	31.00
南多摩圏	5	0.20	21.00		6.60		1.60		1.00		1.40			0.20	31.60
北多摩西部圏	2	3.50	76.50		12.50		3.50	2.00	12.00		4.00			5.50	108.50
北多摩南部圏	3	3.50	0.33		0.83	0.67	2.00	3.00		0.33	0.67			6.67	3.67
北多摩北部	1		2.00						1.00		1.00				4.00

表9-7 年齢階級別患者報告数(STI) 2012年1月~2012年12月

年齢階級	性器クラ		性器へウイルス	ルペス		圭 ローマ	淋菌原		膣トリコー	モナス症	梅毒梅	兼疾患	合	***
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳														
1~4歳														
5~9歳														
10~14歳		4												4
15~19歳	16	100	3	26	6	23	17	17		6		1	42	173
20~24歳	173	301	48	82	40	98	139	52	2	19	13	5	415	557
25~29歳	281	229	80	105	85	76	180	45	1	26	16	2	643	483
30~34歳	295	158	138	90	96	49	178	16	3	8	17	3	727	324
35~39歳	218	96	131	55	101	29	153	14	1	12	13	2	617	208
40~44歳	139	34	121	44	92	15	93	1		12	12		457	106
45~49歳	112	16	105	26	66	4	76	2	4	9	15	1	378	58
50~54歳	69	3	63	16	30	4	31	1	1	8	5		199	32
55~59歳	33	3	43	19	19	2	9			3	7		111	27
60~64歳	27	1	33	10	18	1	6		1	8	5		90	20
65~69歳	6		21	5	12		2					2	41	7
70歳以上	1		27	20	9	2	3			5		1	40	28
合 計	1,370	945	813	498	574	303	887	148	13	116	103	17	3,760	2,027

表10 検査結果別報告数(基幹) 2012年1月~2012年12月

病原体	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	合計
B群レンサ球菌	4				4
インフルエンザ菌	3				3
肺炎球菌	3				3
エンテロコッカス フェカリス	2				2
エンテロコッカス フェシウム	1				1
クエブシエラ ニュモニエ	1				1
リステリア モノサイトゲネス	1				1
その他の細菌	1				1
下痢原性大腸菌*	1				1
レンサ球菌(群不明)	1				1
エンテロウイルス(型不明)		10			10
ムンプスウイルス		4			4
肺炎マイコプラズマ		2	1,065		1,067
ヒトヘルペスウイルス 6型		2			2
クリプトコッカス ネオフォルマンス		1			1
エンテロウイルス 71型		1			1
単純ヘルペスウイルス(型不明)		1			1
梅毒トレポネーマ		1			1
肺炎クラミジア				14	14
陰性		4			4
記載なし	24	95	2		121
금 計	42	121	1,067	14	1,244

^{*}EHEC、ETEC、EIEC、EPEC、EAggECに該当しないが胃腸炎の原因菌と考えられるもの

表11 疑似症サーベイランス報告数 2012年第1週~2012年第52週

_				
週	期間	定点数	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱
1	1. 2~ 1. 8	443		
2	1. 9~ 1.15	443		1
3	1.16~ 1.22	443	1	
4	1.23~ 1.29	443		
5	1.30~ 2. 5	443	1	
6	2. 6~ 2.12	443		
7	2.13~ 2.19	443		
8	2.20~ 2.26	443		
9	2.27~ 3. 4	443		
10	3. 5∼ 3.11	443	2	
11	3.12~ 3.18	443	1	
12	3.19~ 3.25	443		
13	3.26~ 4. 1	443		
14	4. 2~ 4. 8	443		
15	4. 9∼ 4.15	443		
16	4.16~ 4.22	443	2	
17	4.23~ 4.29	443		
18	4.30∼ 5. 6	443	2	
19	5. 7∼ 5.13	443		
20	5.14~ 5.20	443		
21	5. 21~ 5. 27	443		
22	5.28∼ 6. 3	443		
23	6. 4~ 6.10	443		
24	6.11~ 6.17	443		
25	6.18~ 6.24	443		
26	6.25∼ 7. 1	443		1
27	7. 2~ 7. 8	443		1
28	7. 9~ 7.15	443		
29	7.16~ 7.22	443		
30	7.23~ 7.29	443		
31	7.30~ 8. 5	443		
32	8. 6~ 8.12	443		1
33	8. 13~ 8. 19	443		2
34	8. 20~ 8. 26			
35	8.27~ 9. 2	443		
36	9. 3~ 9. 9	443		
37	9. 10~ 9. 16	443		2
38	9. 17~ 9. 23	443		1
39	9. 24~ 9. 30	443		
40	10. $1 \sim 10$. 7 10. $8 \sim 10$. 14	443		
42				2
43	$10.15 \sim 10.21$ $10.22 \sim 10.28$	443		1
44	10. 22~10. 28	443		1
45	11. 5~11. 11	443		
46	11. 12~11. 18	443		
47	11. 12~11. 18	443		
48	11. 19~11. 23	443		1
49	12. 3~12. 9	443		1
50	12. 10~12. 16	443		1
51	$12.10^{\circ}12.10$ $12.17^{\circ}12.23$	443		1
52	12. 17 - 12. 23	443	1	
02	合計	110	10	15
Щ	ц п		10	10

保健所	定点数	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱
千代田	4		
中央区	5		
みなと	9		
新宿区	13		
文京	8		
台東	7		
墨田区	9		
江東区	14		
品川区	13		
目黒区	8		
大田区	22		
世田谷	28		1
渋谷区	9		
中野区	11		
杉並	16		
池袋	9		
北区	11		
荒川区	7		
板橋区	18	10	5
練馬区	21		
足立	21		
葛飾区	13		1
江戸川	19		
八王子市	19		
町田市	13		
西多摩	15		
南多摩	15		1
多摩立川	23		
多摩府中	36		
多摩小平	24		7
島しょ	3		
合 計	443	10	15

年齢階級	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱
0歳	1	1
1歳	2	5
2歳	2	1
3歳		1
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10~14歳		
15~19歳		2
20~29歳	1	1
30~39歳	1	
40~49歳	1	1
50~59歳		2
60~69歳		1
70~79歳	2	
80歳以上		
合 計	10	15